

【別冊】 笠岡市財政健全化プラン（素案）のご意見及び市の考え方について

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
1	0	見直しの視点	なぜ2分の1を原則としたのか。	<p>今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるための目安として1/2を設定しております。しかし、事業の見直しにあたっては一つ一つ内訳を確認しながら見直しましたので、単純に1/2に削減した事業は限られております。特に福祉、子育て、教育など、市民生活に大きな影響があるようなものは十分に議論をしたうえで継続としています。</p>
2	0	見直しの視点	<p>「財政の健全化に向けて」について  「財政の健全」とは何か？わからない。  「笠岡市健全化判断比率及び資金不足比率審査意見書」：笠岡市監査委員令和4年度(令和5年発表)  実質公社債比率:令和4年度イエローは25%ですが、笠岡は7.2%  将来負担比率:令和4年度イエローは350%ですが笠岡は51.3%  財政力指数も0.57岡山県下15市中4番目  前市長の時は財政は健全であると言っているのに急に健全でないと言うのは何故か。また、令和5年度の報告はまだありませんが、急に悪くなっているのでしょうか？またこれは議会にもかかり承認されている事だと思いますので前議員の市長はご存じでしょうし、今までは毎年認めてきていますよね。  国の財政の各指標は健全であるのに財政危機をうたうのは誤りではないですか？財政は健全であるが今上がっている事業を全て取り組むためには財源が足りませんというのが現実であり、そのために事業に優先順位を付け財源の確保できないものは先送りなり計画変更をするというのが本来の市政の在り方ではないでしょうか？それを財政危機を大げさにうたい市民活動や市職員のやる気をなくすような補助金や給与のカットなどはおかしいのではないのでしょうか？</p>	<p>今回の最大の問題点は、昨年からの急速な物価高騰や労務単価の上昇等に伴う費用の増加に歳入が追いつかず、大きな財源不足が発生し、現在の財政調整基金残高では補うことができないことにあります。</p> <p>実質公債費率と将来負担比率は、借金に関する指標であり、適正な範囲で推移をしております。この度、「財政再生団体」に陥るおそれがあるのは、同じく財政健全化判断比率である、実質赤字比率によるものです。財政調整基金等で財源不足を補うことができず、赤字が出てしまった場合に数値が出てくる比率で、全国的にもこの比率が出ている団体は殆どありません。笠岡市においても、これまでは補うべき財源不足の額が財政調整基金残高の範囲内であったため実質赤字比率は出ておらず、監査の意見書等でも言及されておりません。</p> <p>今回の健全化は、おっしゃるとおり財源不足が最大の課題であるため、優先順位や計画を変更をしながら、健全化していこうというものでございます。</p>
3	0	見直しの視点	<p>「事業内容を見直し事業費を削減し継続する」について  何を見直すのか、その費用がいくらなのか何も示されていない。1/2の削減した事業費分が本当に見直しできるのか？何をどうして、いくら削減し、このように継続するというような所が示されていないので、どう判断した良いのか判断材料が無いので判断のしようが無い。</p>	<p>詳細な見直し内容については、調整を進めているところであるため、お示しできておりません。事業の目的が達成できるような形にしたいと考えておりますので、新年度の予算概要の中でお示しいたします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
4	0	見直しの視点	<p>「一定の成果が得られたことから廃止する」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中には継続が必要と思われる事業が、一定の成果の大義名分の為に廃止されているのではないか。</li> <li>・一定の成果が得られた事業は有効な事業であったことの証明</li> <li>・一定の成果があった事業は一定額の予算をつけておき費用の発生が無かったら一般財源より基金に戻すとかの制度をつくったらどうか？予算は単年度で使わなければならない事に執着しすぎで融通が利かないように思う。</li> </ul> <p>一般家庭でも予算が余れば貯金する、これは当たり前である。</p>	<p>当初の目的を概ね達成した事業で、予算がなくても事業目的が達成できたり、その啓発効果などが持続する事業や事業開始当時と状況が変わったことで、あり方を見直す必要がある事業について廃止することとしております。</p> <p>予算に余りが出た場合には、最終の補正予算で減額して補正予算の財源としたり、不用残として処理することを基本としています。余った予算は地方財政法に基づきその半分以上を基金に積み立て、残りは次年度に繰り越し、補正予算のための財源としております。</p>
5	0	見直しの視点	<p>「他団体との統合を視野に」とか「他事業と統合し廃止する」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他とはどれか不明</li> <li>・他と統合すれば統合された方は少しでも負担が増えるのではないかと？そんな配慮がされているのか、いないのかわからない</li> </ul> <p>一方的に削減だけに目が行き増減するコストは無視していないか？</p>	<p>性質や目的が同じ団体や事業への統合を意味しております。業務の共通化やマンパワー等の面でメリットがあると考えておりますので、関連団体と協議をしながら丁寧に進めてまいります。</p>
6	0	見直しの視点	<p>「(3)2分の一を原則とします」</p> <p>「原則のとおり、補助額を1/2に削減し、継続する」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/2に何の意味があるのか？</li> <li>・どこから出てきた数字なのか？説明があってしかるべきだと思います。</li> <li>・削減理由を楽にしたいだけの為方便として1/2の数字を出しているのなら市民の為に本当に検討したことにはならない、市側が作業を楽に進めたいためにだけ設定しているのなら「原則1/2」はやめてもらいたい。</li> <li>・1/3とか1/4とかもあるべきではないでしょうか？</li> <li>・「対話」と「調和」と「連携」で築く、笑顔が広がるまちづくりとうたっていますが「対話は無し」「調和もしない」「どこと連携するのでしょうか」こんなにスポーツや文化事業、イベント、福祉サービス事業などを1/2カットして「笑顔が広がるまちづくりはどのようにできるのでしょうか？</li> </ul> <p>笠岡市民は家の中に閉じこもって冬眠しなさいと言わんばかりの政策ではないですか！</p>	<p>今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため、目安として1/2を設定しております。しかし、事業の見直しにあたっては一つ一つ内訳を確認しながら見直しましたので、単純に1/2に削減した事業は限られております。特に福祉、子育て、教育など、市民生活に大きな影響があるようなものは十分に議論をしたうえで継続としています。</p> <p>市民の皆様にご心配とご懸念を抱かせてしまったことは大変申し訳なく思っておりますが、財政を健全化することで、皆様の御期待に応えるまちづくりを進めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
7	0	見直しの視点	<p>各種補助金について、「廃止または対象経費の1/2を原則」とありますが、補助金の削減等により、事業が立ち行かなくなる、あるいは、縮小を余儀なくされるものもあるのではないのでしょうか。特に福祉施策等においてはその影響が大きいと思います。事業の実態等に応じて、当該事業の関係者とも綿密に協議して決定すべきです。当該事業者にとっては、とても受け入れがたいものではないのでしょうか。</p>	<p>関係団体と協議を行いながら、必要な事業については継続に向けて見直し案を変更し、引き続き協力しながら福祉等の向上に努めてまいります。</p>
8	0	見直しの視点	<p>「笠岡市単独の判断で廃止することが極めて困難な事業」は継続するとありますが、「聖域化」するのではなく、「凍結」も含めて検討すべきです。少なくとも関係機関と協議することは可能なはずで。力の弱い市民に負担を押しつけることになります。</p>	<p>国や県、他市町村との共同で実施している事業の多くは、コストの削減や事業の効果的な進捗を図るために連携しながら実施していますので、その見直しは広域に影響することになるため、簡単に凍結などの対応ができません。しかし、今後も各事業の必要性を検討しながら、関係団体と協議し、コスト削減、事業見直しの提言等を行ってまいります。</p>
9	0	見直しの視点	<p>○事業見直しの視点  「(4)対象者が少数に限定される事業は、原則として廃止します。」  「(5)長年実施しているものも含め、費用対効果などの観点から厳しく精査します。」  この2点に関しては、圧倒的少数である障がい者が切り捨てられたと思わざるを得ません。それにより、社会的弱者である障がい者がこの社会から排除されることになりかねません。</p>	<p>(4)の少数というのは社会的弱者を意味するものではありません。命や生活に影響がないもので、利用者が固定化しているなど広がりや効果が限定的なものを廃止や一部見直すこととしました。  (5)については、長年継続したことで一定の支援や啓発が進んだものや社会情勢やニーズの変化、現時点での必要性や効果などの観点から、見直しを図る必要がある事業について見直すこととしました。</p>
10	0	見直しの視点	<p>「(7)福祉分野においては、事業内容の見直しにより国の進める重層的支援体制整備事業として財源を確保して実施します。」  この点に関しては、国からの財源がなければ実施できない事業と考えられますが、笠岡市が今まで独自で実施してきた事業を廃止すると、笠岡市障がい者計画の基本理念「障がいのある全ての人々が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる福祉のまちづくり」とはかけ離れたものとなっていくのではないのでしょうか。</p>	<p>笠岡市においては国の重層的支援体制整備事業について令和4年度から準備移行期間とし、令和7年度から事業を運用・実施することから当該内容を視点として記載しました。  御懸念の点については、本市独自で実施している施策全てを廃止するものではなく、施策が後退することがないように努めてまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
11	0	見直しの視点	<p>・市の財政は市民の福祉の向上のための手段であり、目的ではありません。主役は市民であることを忘れず、広い視野を持って、市民との「対話」、「調和」、「連携」により、笑顔が広がるまちづくりに向けた見直しをお願いします。</p> <p>・一律に補助金額を削減すると、実施できなくなる事業もあります。</p> <p>市として必要と考えている事業については、引き続き事業が実施できるよう、必要な補助金額について、それぞれ精査すべきと考えます。</p>	<p>この度は、全てのソフト事業について見直しの対象としましたが、一律に削減をするようなことはせず、一つ一つ効果や必要性を検証して事業毎に判断しました。特に福祉、子育て、教育など、市民生活に大きな影響があるようなものは十分に議論をしたうえで継続としています。</p> <p>市民の皆様の御意見に耳を傾け、対話を大事にしながら施策を進めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。</p>
12	1	広聴広報活動	<p>『広報かさおか』の発行について、毎月みているが、内容の精査も必要だと思われる。（ページ数の削減）</p> <p>また、毎月楽しみにしている高齢者の方もいるかもしれないが、発行頻度の精査も視野に検討をお願いしたい。（2ヶ月や3ヶ月に1回等の発行回数の削減）</p> <p>発行頻度低下によるページ数の増加にともない、予算が増えれば元も子もないが、積極的な検討をお願いします。</p>	<p>今年度は32ページから24ページへ削減しましたが、ご意見のとおり内容の精査を行いページ数の削減を検討し、デジタル配信も含め更なる経費削減に努めます。</p>
13	1	広聴広報活動	<p>広報誌に民間等チラシを折り込み料金を収入に。チラシ折込は広報誌作成業者へタダで頼み配布の行政委員の報酬は笠岡市の商品券を渡すのはどうか。（額は半額カット）</p>	<p>広報紙の紙面内に広告を入れて収入としているところですが、更なる経費削減に努めます。</p>
14	1	行政広報番組制作委託料	<p>見直しの内容が示されていないので判断できない。見直しでなくなってしまうのは反対。形を変えてこうなります、このように広報してゆきますと言う事を知らせた段階で次の姿と合わせし悪しが判断できると思います。反対します。</p>	<p>行政広報番組は対象者が限定されるため、公式LINE、広報紙の紙面を読みやすくすることで必要な情報を発信していきます。</p>
15	1	行政広報番組制作委託料	<p>事業内容の文面、脱字と思われます。適正文面に修正されたい</p>	<p>脱字を修正いたしました。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
16	1	交流活性化事業委託料	島展とあるが実際に回覧したのは年に数回のみ。待合所に貼るのみ。なぜ住吉で開催したのか(豊浦, 金風呂地区)高齢者が住吉港に行くことは、まず不可能。告知や周知不足である。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
17	1	交流活性化事業委託料	見直しの内容が示されていないので判断できない。見直しでなくなってしまうのは反対。 “効果が限定的”というのも納得できない。効果が限定的と言ってしまうとすべてのイベント事業はこれに該当すると思うので、すべてのイベント事業は無くなってしまいます。福祉関連事業だって一部の障がい者のみに支援することだってあるはず。これを効果が限定的と言ってしまうと何もできなくなる。 見直しの内容を示し、こうしますのでこれは廃止しますとかこちらに統合しますと言ったものを示してもらわないと“効果が限定的”だけでは判断できない。	離島の活性化に関しては意義のある事業でございりますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。
18	1	井原線鉄道基盤設備維持補助金	現行のとおり「継続する」について反対です。本補助金は廃止すべきと考えます。これだけの財政危機ですから近隣自治体も説得しやすいのではないかと。市長の交渉次第で廃止できるものと思う。 (理由説明) 現在の井原線は昔の井笠線とは違って笠岡市を通過していないし利用者がどれくらいいるのか？これこそ無駄な出費。効果は限定的？近隣への配慮で支出しているのなら、今回の大変な財政危機"を大義名分として廃止すべきと思う。3,132千円あればイベントのいくつか復活できるのではないかと。	近隣市町村との調整が必要な事項ですので、早急な判断は難しいものではありませんが、いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
19	2	地方バス路線維持補助金	井笠バスカンパニーへの助成金額が他の同規模人口自治体と比べても高額なのは市民として問題。適正価格にしてもらいたい。路線バスを縮小し、総社市の雪舟くんや浅口市のふれあい号など日常生活の移動手段として、市民の足として検討してはどうか。	バス路線の運営につきましては事業者と協議を進めながら、経費削減や利用者増に努めております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
20	2	地方バス路線維持補助金	<p>バス路線の維持に86,744千円も使っているなら、これの廃止を目標に総社市で行っているコミュニティタクシー“雪舟君”のようなものの運用を考えた方が良い。</p> <p>バス路線ほど路線に近い人への限定的サービスとなっているのではないかと。自宅の前まで来てくれるコミュニティタクシーの方が便利。</p> <p>今は配車等はAIで行えるシステムもあるので以前よりは人件費など含めて運用がしやすくなっていると思う。</p> <p>初期投資が必要になるかもしれないがタクシー会社などに協力を仰ぎ極力支出を抑える努力をすれば実現不可能な案ではないと思う。</p>	<p>バス路線の運営につきましては事業者と協議を進めながら、経費削減や利用者増に努めております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
21	2	地方バス路線維持補助金	<p>本補助金について、一日に何度も路線バスの回送車を見ているものとしては予算額を見て驚いた。更に3年後も削減額ゼロを見て2度びっくりした。市長の公約の1丁目1番地に掲げているにも拘らずなぜ削減額が3年後（1期目最終年）にも入っていないのか残念。事業者との対話だけでなく広くアイデアを集め、早急に具体的計画を示して頂き、遅くとも2年後には実行して頂きたい。</p>	<p>バス路線の運営につきましては事業者と協議を進めながら、経費削減や利用者増に努めております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
22	2	地方バス路線維持補助金	<p>バスを利用したくても、バス停まで遠いために自家用車を利用している方が大半だと思う。</p> <p>一つのアイデアとして、バス停近くの耕作放棄地を駐車場として利用させていただき、バス利用者が活用できるようにし、バス利用を促す。高齢者による運転距離が短くなり、交通安全につながるし、民生部門のカーボンニュートラル実現にもつながることに加え、バスの便数増にもつながるのではないかと。</p>	<p>バス路線の運営につきましては事業者と協議を進めながら、経費削減や利用者増に努めております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
23	2	交通空白地有償運送維持補助金	<p>費用は人件費だと思いますが、2名の運転手が毎日7,000円の金額である。毎月一人が7,000×4日×4週間＝約120,000円、7,000円×3日×4＝84,000円。年間144万/1名。二人分を計算しても差額が244万円の経費とは？高額な給油をしても不可能でしょう。さらに乗車した人からの徴収金額を笠岡市がどれくらい把握しているのか。委託＝外注なので明確にすべき。委託費が高額、ヒヤリングはどんなものなのか。</p>	<p>引き続き事業費の精査を進めていきながら、島民の移動になくてはならない移動支援施策としての役割を果たして参りたいと考えます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
24	2	地方バス路線維持補助金 高齢者タクシーチケット助成事業補助金	<p>地方バス路線維持補助金，タクシーチケット助成事業で9千万以上の予算を継続することに反対である。市長は公共交通について見直しプランをどの程度検討し考えているのか。私の住む吉浜は日に2～3本，土日運休のバスは交通の邪魔になるだけで使用価値がほとんどない。利用数の多いバス路線は補助金を使っても維持すべきだが，すでに少ない路線はバス以外の交通手段を早急に考えるべきである。私は現在，社協が行う買い物支援のボランティアを行っている。条件付きのライドシェアである。これを交通弱者一般に広げる笠岡版ライドシェアを構築する以外に解決策はないと考えている。運営主体は笠岡市で，ライドシェアのためのプラットフォームを市の責任で構築してほしい。営利を追求する民間はダメ。これまでのタクシーチケットやバスへの補助金を笠岡版ライドシェアの運営にあてる。ただし，このライドシェアの対象は交通弱者（学生や自家用車のない人など）に限定する（タクシーとの両立）。</p> <p>買い物支援を実際に試してみているのは，「買い物難民」の多さである。私が担当しているのは4人だが，4人とも我が家から100mくらいの範囲。市は「買い物難民」の実態を一度，調査してみたいかだろうか。社協に任せず，市が早急に「買い物難民」対策を行うべきだ。</p>	<p>バス路線の運営につきましては事業者と協議を進めながら，経費削減や利用者増に努めております。いただいた制度内容に関してのご意見につきましては，今後公共交通全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
25	2	高齢者タクシーチケット助成事業補助金	<p>課税者の発行を無くし，非課税者のみの発行にする。</p>	<p>制度の内容につきましては，公共交通全体の見直しの中で検討していきたいと考えております。いただいた御意見につきましても，今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
26	2	高齢者タクシーチケット助成事業補助金	<p>本事業は，非常に好評だと聞いているが，その分路線バス・デマンドタクシーの利用が減るのでは？又，チケットの利用が地域別にアンバランス（市街地に近いほど利用が多い）になっているのではないかと。地域別利用状況を公表してほしい。</p>	<p>バスの補助金との整合性も図りながら，いただいた制度内容に関してのご意見につきましては公共交通全体の見直しの中で検討して参ります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
27	2	高齢者タクシーチケット助成事業補助金	<p>75歳以上の高齢者が買い物や通院などを目的としてタクシーを利用する場合に片道500円分のチケットを交付するということだが、昨年1年間で何枚の利用があったのか、どのくらいの移動距離に何枚のチケットが使われたのかを教えてください。片道500円のタクシーチケットの補助では恩恵を受ける人が少ないのではと感じている。</p> <p>10人ほど乗れるワゴン車を使い、事前予約制の乗り合いで、高齢者をそれぞれの自宅まで順番に迎えに行き、買い物や通院先に送る。帰りもそれぞれ所まで順番に迎えに行き、それぞれの自宅に届けるのはどうか。これを1人1日1,000円で利用できるようにする。</p> <p>高齢者タクシーチケット使用の予実を検証し、恩恵が特定の人に限られている場合は、タクシーチケットは廃止し、その事業費を上記のような事業に使用するのもありかと思う。高齢者を乗り合いで送迎することで、移動中に高齢者間の交流が生まれることも期待できる。</p>	<p>バス、タクシーに変わる新たなモードについては、国の推し進めるライドシェアなどこれまでにないモードの検討が全国的に始まっております。国や県の動向も注視しながら、いただいた制度内容に関してのご意見につきましては、今後公共交通全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
28	2	高齢者タクシーチケット助成事業補助金	<p>片道500円分しか使用できず、48枚もらっても使い切れないとの声も聴く。1回の利用額の半分を補助するなど、使用する側の視点に立った補助に改善されたい。また、タクシーを使う人は市内中心部の方が多いと感じる。大島、新吉など中心部から離れた方の交通手段の確保も検討されたい。</p>	<p>いただいた制度内容に関してのご意見につきましては、今後公共交通全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
29	2	離島交流促進事業	<p>今まで、離島交流促進事業で企画運営と事務で1,461,000円、離島魅力発信事業で2,775,000円もお金が動いていたことに驚きです、島民としてはあまり恩恵を感じないので廃止でよかったです。</p>	<p>御意見として承ります。</p>
30	2	離島交流促進事業	<p>運動会に参加する島民がほぼいない。島民の交流になっていない。</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
31	2	離島交流促進事業	<p>何の事業がよくわからないが、一定の成果があったと言いながら人口減少で廃止の方向で考えるのはいかがなものか。</p> <p>あり方を見直すと言うなら代案を示してくれなければ判断のしようが無い。本当に事業をなくすのなら、今後の離島の活性化をどう考えてゆくのか示して欲しい。</p> <p>離島は少数の為見放すのか？何か離島対策を考えているのか？</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
32	2	離島交流促進事業	<p>来年の6月に金風呂のツルタストアが店を閉めます。エーキ店、ツルタストアさんが豊浦に毎週2回笠岡で買い物をしたものをわざわざ車で運んで来て販売してくださっています。</p> <p>来年の7月以降からどのようにして衣食住の食をすればいいのか（水曜日に生協がきてくれますが、すぐに食べられるものがやはりあった方がお年寄りには喜んでくれるので、行政と島の地区の方が集まって決めていく方向をしていただきたい。</p> <p>空き家を利用して、年寄りが月に一度集まって会話ができる場所がほしい。ふれあい会館では限りがある。（豊浦の年寄りが少なくなっている）</p>	<p>島しょ部の買い物環境につきましては、引き続き地元の状況把握に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
33	2	離島交流促進事業 離島魅力発信事業	<p>今一度原点に戻って、必要であれば、新たな事業を行えばよい。</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
34	2	離島魅力発信事業	<p>何の費用がよくわからないが、一定の成果があったと言いながら人口減少で廃止の方向で考えるのはいかがなものか。</p> <p>あり方を見直すと言うなら代案を示してくれなければ判断のしようが無い。本当に事業をなくすのなら、今後の離島の魅力発信をどう考えてゆくのか示して欲しい。</p> <p>長期にわたって継続したことにより一定の成果があったのなら成果の出る事業を考えられるのか？</p> <p>“継続は力なり”という言葉もあるぐらい継続していることで得られるものもある。廃止するかどうかは、離島振興の在り方が示されて初めて判断できること。</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
35	2,3	離島交流促進事業 離島魅力発信事業 離島生活支援事業	<p>「離島振興事業」については、離島で生活する者の日常生活に欠かすことのできない分野を幅広くカバーしております。</p> <p>これまで長きにわたり離島振興事業に取り組んできたことが、笠岡諸島における人口減少や高齢化の進行に対して一定程度歯止めをかけているものであると考えております。</p> <p>持続可能な笠岡諸島の振興には、移住相談や離島を体験してもらう事業、笠岡諸島への移住を見据えた利活用可能な空き家の情報管理、特産品の開発・販売や情報発信など、離島の魅力発信や地域おこしに資する取り組みを引き続き継続して実施していく必要があると感じております。</p> <p>離島振興に資する事業を一体的に継続していくことが今後も欠かせないと考えておりますので、本事業に必要な人件費や事業費の確保についての適正な予算計上や担保についてご理解をお願いいたします。</p> <p>P2「交通空白地有償運送維持補助金」</p> <p>本事業は交通空白地となっている離島において、とりわけ島民にとっては買い物や通院等、日常生活に欠かすことのできない移動支援事業となっております。また、島民のみならず、観光客等島外からの来島者にとっても、本事業なくしては離島を訪れた際の島内の移動は不可能であると考えられます。</p> <p>これらのことから、本事業は長期的かつ安定的に島内を移動する住民等の移動手段の確保に欠かせない事業であると考えておりますが、島民や担い手の高齢化により従事する人材の確保にも苦慮しているところであります。</p> <p>引き続き本事業を継続していけるよう、ドライバーや受付等を行う事務員の人件費を適正に計上、担保していただけるようお願いいたします。</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
36	3	離島小中学生交通費支援事業補助金	<p>廃止。島々の学生も少なくなり陸地部の学生の通学時間でも時間をかけて通学している人がいる。</p>	<p>対象となる学生は少なくなっていますが、島しょ部の条件不利を補うために制度を設けております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
37	3	飛島集落維持対策事業	<p>廃止。なぜ飛島だけに集落支援員を配置するのか。集落支援員制度ができた折から何度もお願いしているのに何も対応してくれない。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
38	3	飛島集落維持対策事業	<p>飛島への集落支援員の配置が記載されていますが、うらやましい限りです。真鍋島にも「真鍋島集落維持対策事業」を入れてほしいです。以前公表された真鍋島・北木島・六島の4名の集落支援員は現在どうなっているのでしょうか。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、個別の案件につきましては、回答を差し控させていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
39	3	飛島集落維持対策事業	<p>支援員の活動は、それなりに評価され感謝しているが、結構な経費と知り驚きです。</p> <p>ある日突然に配置されたことを知り、何も考えず今日に至る。</p> <p>金額からみて複数の人員配置かと思うが1人配置でよいのではないか。</p> <p>現状が一人配置であれば廃止として、以下の2及び3項（飛島地区健康維持支援事業、食の支えあい見守り事業委託料）を継続して頂きたい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
40	3	飛島集落維持対策事業	<p>北部も過疎化、島しょ部のあとを追っている・・・支援だけでなく持ち主も負担するべきではないか。</p> <p>北部では、残された住民で休日を返上し草刈等を頑張っている現状を理解してほしい。出て行った子ども達から耕作放棄地や空き家の草刈代を振り込んでもらっている。不公平さを感じた。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
41	3	離島生活支援事業	<p>全体見直し。このような事業があったことすら知らず。誰が何をしているのか</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
42	3	離島生活支援事業	<p>笠岡諸島を一つの集落とみなすことに違和感を感じます。市としては受け皿の窓口が一つというのは便利なんだろうと思いますが、事業団体が大きくなると独裁的になります。考えてほしいことです。離島の生活・文化・福祉向上に資する人材育成とは具体的にどんな事業をしているのかと思います。一部見直しですが、委託金に変わりはないですね。</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
43	3	飛島地区健康維持支援事業	<p>地域団体に委ねる。</p> <p>地域団体にしても送迎等の輸送費はかかるだろう。</p> <p>市が辞めて地元を送迎輸送を押し付けるのか？</p> <p>誰がやってもかかる費用を地元負担させたから市の財源からは削減できる理屈はおかしいだろう。すべての項目を地元負担、受益者負担にするのなら市はどんな事業をし、市政を行うのか訳が分かりません。</p> <p>事業として廃止しても地域団体に負担が残る為、廃止は再検討して欲しい。</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
44	3	飛鳥地区健康維持支援事業	<p>飛鳥地区は、大飛鳥と小飛鳥の海を隔てた二つの島から成り立っている。飛鳥地区健康維持支援事業は、主に小飛鳥住民が大飛鳥の飛鳥診療所を受診するために必要な事業であり、離島で暮らす島民にとって欠くことのできない事業となっている。この度の笠岡市財政健全化プランにおいて事業の廃止が計画されているが、笠岡市内で最も高齢化が顕著な飛鳥地域住民の健康維持のために事業の存続を要望する。</p> <p>また、やむを得ず事業が廃止となる場合においても、集落支援活動の充実等による飛鳥島民全員が公平な医療サービスおよび健康維持に係る事業を受ける権利を守るための対策を要望する。</p> <p>1. 飛鳥地区健康維持支援事業の継続 飛鳥地区健康維持支援事業の廃止の場合の代替案</p> <p>2. 飛鳥地区の集落支援活動の充実</p> <p>①小飛鳥島民の大飛鳥への移動における支援 必要経費：島民の送迎における船舶の操船にかかる経費および燃料代</p> <p>②大飛鳥島民の見回り、生活支援のための巡回 必要経費：定期的な巡回における車両の燃料代</p>	<p>島しょ部の高齢化や人口減少など、時代や環境の変化に応じて、効果的な手法を検討していく必要があると考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
45	3	飛鳥地区健康維持支援事業	<p>集落維持対策を自分たちで知恵を出し合い、話し合って取り組む。</p> <p>財政健全化が大きく掲げられている以上、老いたりと言え我々も一致協力頑張るが老々の年金生活者ばかり、助成の協力を願います。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後離島振興全体の見直しの中で検討して参ります。</p>
46	3	離島高校生修学支援補助金	<p>廃止。島々の学生も少なくなり陸地部の学生の通学時間でも時間をかけて通学している人がいる。</p>	<p>対象となる学生は少なくなっていますが、島しょ部の条件不利を補うために制度を設けております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
47	3	思民の集い事業	<p>この活動が“ふるさと納税”へ寄与している部分は無いか？ そう言った直接はこの事業への見返りは無いかもしれないが間接的な寄与、効果は評価した上での結論か？</p> <p>そう言ったことが分らないのでこの廃止をこのまま認められない。</p>	<p>参加者によるふるさと納税の効果額を検証したところ、費用対効果が低いため廃止案としております。</p> <p>今後は岡山県が実施する類似事業へ参加し、より広く市のPRを行っていきたくと考えております。</p>
48	3	市長交際費	<p>見直し。50%カットするべき。トップが身を切る削減を市内と市民は納得いかない。</p>	<p>必要最小限度の支出に努めるよう支出内容を見直し、50%以上カットすることとしています。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
49	3	市長交際費	市長交際費の使途のうち、百歳以上の高齢者に対する弔慰金は廃止すべき。	支出内容の見直しにより、百歳以上高齢者弔慰金は廃止することとしています。
50	4,5	定住促進に関連する事業	身の丈に合った財政を目指し、事業効果のあまりない事業を見直したり削減、廃止することは賛成ですが、笠岡市の最も必要なことは、人口減少に歯止めをかけ、将来に希望を持てるようにすることだと思います。そのためには、若者が笠岡市へ住んでみたいと思われるようにしなければなりません。 定住促進に関することは廃止や削減が計画されていますが、単に現行の事業を見直すだけでなく、本当に効果がある定住促進事業を充実していくべきと考えます。笠岡市の魅力をより高める施策を考えてください。	このたびの財政健全化における事業見直しでは、現行の定住促進事業について、実績や効果、出てきた課題はもちろん、国等からの財源（補助金）の確保も含め、様々な観点から廃止や削減、見直しを行っています。人口減少に歯止めをかけ、そして若者をターゲットにした定住施策のより効果的で、まちのさらなる魅力向上に資する具体的な方策・事業化に向け、いただいた御意見を今後の取組の参考とさせていただきます。
51	4	移住促進事業全般	全国の自治体と若者の奪い合いはしない。転入者の受入れもしない。	一部事業廃止や事業費削減等での事業見直しにより、移住や転入者を排除いたすものではありません。 いただいた御意見、御指摘の点につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
52	4	わくわく地方創生移住支援金事業 関係人口創出事業 補助金事業 空き家バンク活用 奨励金事業	過去の実績などが少ないために廃止の判断されているように思えるが、笠岡市への移住を進め人口減に歯止めを掛けるような政策だと思うのでこれらは廃止すべきではないと思います。 一応事業費を計上し単年度で予算を使い切るのではなく、予算が余った場合基金へ組み込めるような制度をつくらどうかと思います。	このたび取り上げていただいた定住促進や移住推進事業の補助金等の支給型支援については、実績件数だけでなく、事業対象やその効果、出てきた課題、国からの財源（補助金）の確保も含め、様々な観点からやむなく廃止や削減しております。 また、予算に余りが出た場合には、最終の補正予算で減額して補正予算の財源としたり、不用残として処理することを基本としています。余った予算は地方財政法に基づきその半分以上を基金に積み立て、残りは次年度に繰り越し、補正予算のための財源としております。
53	4	関係人口創出事業 補助金	笠岡市が本気で取り組む気配があれば進めなければいけない事業。後継者がいない農家や漁業者を引き継いでいくのできる若者を市内外からむすびつける。JAや経験豊富な農業者等の指導や助言を受けて就農することができる。再生・振興に結びつく。	本事業は、短期の労働力と観光の組合せによる「おてつたび」といった民間のシステムを活用した、関係人口創出の一助とする補助事業ですが、マッチングによる利用実績が生み出せず、廃止するものです。関係人口創出の御懸念の点及び御提案いただいた御意見につきましては今後の取組の参考とさせていただきます。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
54	4	関係人口創出事業補助金	<p>これについて実績がないとの事ですが、笠岡市も「(株)おてつたび」の有益性に目を付け、季節的繁忙期に、労働力と観光を組み合わせた新しい取り組みを始めたばかりです。これを行うには、行政が間に入り、受け入れ体制の基本的な条件等の説明を行い、誤解のない運営が必要とされています。また、行政も情報提供をすることでスムーズな運営になります。</p> <p>おてつたびシステムは、労力の提供と、観光をミックスしたもので、労働時間を4～5時間に設定し、残りは観光に当ててもらおう。宿泊先の提供等もありますが、笠岡のアピール、よく行くと定住も兼ねることが出来るので、誤解のない運営が必要となります。そのような観点で見直して頂きたい。</p>	<p>関係人口を生み出す切り口として「おてつたび」の民間システムを活用した補助制度をつくりましたが、いただいた御意見のような、仲介役である行政サイドの機動力や円滑な調整・運営力には至らず、マッチングによる利用実績が生み出せていないといった課題もあり、やむなく当該事業を廃止するものです。関係人口創出や事業者支援のかたちについては、今回いただいた御意見も踏まえながら、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
55	4	定住化土地造成促進奨励金	<p>これは、笠岡市に移住する人を対象としていますが、もともとは、市内で新築する人も対象にしていました。市内に住んでいて、今後も住んでいく、という人を大切にすべきではないかと考えています。そうでないと、他市も似たような補助制度をもっているため、他市への流出を止めなければならないと思います。</p>	<p>御意見の概要から「定住化土地造成促進奨励金」ではなく、令和5年度で終了となっている「笠岡市住宅新築助成金新築助成金」のことだと推測されます。</p> <p>本事業は、笠岡市内に分譲住宅用地の開発・造成を民間事業者が実施した場合の奨励制度で、今回の事業見直しの中で、居住誘導区域とその他区域の差別化を図る方向で、補助単価と補助率を見直すこととしております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
56	4	定住化土地造成促進奨励金事業	<p>事業費の金額表示がありません。事業費が無いのなら評価の必要はないのでは？</p>	<p>「定住化土地造成促進奨励金事業」については、市内への定住化を促進し、市の活性化を図り、もって市民生活の安定と向上に資することを目的として、民間事業者が実施する公共施設の整備に係る負担を軽減するための交付金となります。令和6年度当初予算編成時においては、奨励金対象となる事業が無かったため0円と表記しております。</p> <p>必要性や公益性に留意したうえで継続としており、今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため「一部見直し」としているものです。</p>
57	4	空き家バンク活用奨励金	<p>防災士、(元)町内会長、(元)自主防災会長、(元)まちづくり協議会会議員の観点からのご意見です。</p> <p>まち協は、実態調査と定住促進センターへの調査結果の報告のみで、空き家の活用から契約の関与はありません。また、奨励金の使途は自由(定住促進センター見解)で、各地区の契約案件に応じ支給されており、使途の確認はされていません。財政健全化プランの趣旨から奨励金の支払いは廃止。</p> <p>空き家の活用促進はまち協の活動(運営交付金)の一貫として取り組む。</p>	<p>地元まちづくり協議会等の皆様には、空き家の増加を地域課題として取り上げ、空き家バンク事業に対するご理解や地元情報の市への共有や、利用希望者に対する地元案内等の御協力をいただきありがたく思っているところです。引き続き、情報の共有や提供を行政と地域とでおこない、一緒になって、安全で安心な暮らしの実現や、転入や転居者の地域コミュニティの受入れ促進も含めた、空き家対策を進めてまいりたいと考えます。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
58	5	定住促進PR事業	国全体でこどもの数が減少している状況で、自治体が人の取り合いをするだけでは人口は増えるはずがない。PRではなく安心・安全な、住みやすい街づくりに使うべきである。	定住促進の鍵は、笠岡に暮らす市民の皆様が、笠岡に愛着をもち暮らしてよかったと実感できるまちづくり、その土台づくりにあると考えています。いただいた御意見のとおり、その土台づくりに不可欠な、安心・安全な、住みやすいまちづくりに引き続き注力してまいります。
59	5	定住促進PR事業	<p>一定の成果があるのに廃止はおかしい。費用をかけているから成果が有るのではないか？費用を掛けずに得られた成果を生かすとは具体的にどんなことなのか示してもらえないと判断できない。</p> <p>“定住促進”は市の事業の中でも重要な事業と思います。国の補助金が終了しても廃止すべきではないと考えます。規模を縮小しても継続しなければいけない事業だと思えます。</p> <p>また、この表の効果額は8,490千円は誤り。国からの特定財源4,245千円を含めた効果としているが実際はこの半分の市の一般財源のみの効果と思うが？</p>	<p>笠岡のまちの魅力発信ツールとしてのフリーペーパーの発行やSNSの運用、市内施設を活用したオフラインイベントだけでなく、コロナ禍とも重なったことでメタバース空間を利用したオンラインイベントなどを近隣市外に住む子育て世代をメインターゲットとしてまちの魅力発信のPR事業をおこないました。移住定住促進という面で意義ある取組になりましたが、厳しい財政状況の中で国の補助金の終了に合わせて当該事業自体はやむなく廃止とするものです。</p> <p>今後、事業によって獲得したSNSフォロワー数の活用や地元人材の参画協力を促すとともに、県主催移住イベントへの出展や移住相談などの転出抑制・転入促進への取組等は継続をする予定としています。</p> <p>効果額につきましては、令和6年度で国庫補助金が終了し、令和7年度では全額一般財源での対応となるため、令和7年度以降必要となる予定であった一般財源の額としています。</p>
60	5	定住促進PR事業	効果額が4,245では？国の補助金が含まれているのでは？	効果額につきましては、令和6年度で国庫補助金が終了し、令和7年度では全額一般財源での対応となるため、令和7年度以降必要となる予定であった一般財源の額としています。
61	5	定住促進PR事業 ワーケーション事業	<p>笠岡市が子育て世代に住みやすいまちとしてPRする事業で、一定の成果が得られたため来年度より廃止されるとのことです。</p> <p>実際にどのようなことを、どれだけのお金を使ってやり、どのような成果が得られたか教えていただければと思います。</p> <p>そして、今後は費用をかけずに得られた成果を生かすとのことですが、得られた成果を具体的にどのように生かそうとしているのか教えていただければと思います。</p>	<p>PR事業では、フリーペーパーの発行やSNSの運用、市内施設を活用したオフラインイベントだけでなく、コロナ禍とも重なったことでメタバース空間を利用したオンラインイベントなどを近隣市外に住む子育て世代をメインターゲットとして事業をおこないました。事業費につきましては、令和4年度6,400千円、令和5年度7,500千円、令和6年度7,500千円（見込）です。</p> <p>また、ワーケーション事業では、アフターコロナ後の新しい生活様式・働き方の視点からモニターツアーの実施や未就学児等の受け入れ先での事業展開、市内コワーキングスペースの試行的な使用などをおこないました。事業費につきましては、令和4年度2,874千円、令和5年度2,475千円、令和6年度2,475千円（見込）です。</p> <p>このたび国の財源終了に伴い、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止とするものです。</p> <p>今後は、事業によって獲得したSNSフォロワー数や魅力発信の素材、モニターツアー参加企業等からの利用者アンケートを通じた生の声や、民間施設のコワーキングスペースとして活用できる空間の存在、ツアーの行程表や事業参画いただいた地元人材など、得た成果を活かしながら、費用のかからない方法で、笠岡市の魅力発信を継続していければと考えています。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
62	5	ワーケーション事業	<p>国全体で、こどもの数が減少している状況で、自治体が人の取り合いをするだけでは、人口は増えるはずがない。PRではなく安心・安全な、住みやすい街づくりに使うべきである。</p>	<p>交流人口や関係人口の創出と、親子連れをターゲット層に設定した実施形態で、令和4年度から3年間、ワーケーションのモニターツアーの実施や未就学児等の受入れ先での事業展開、市内コワーキングスペースの試行的な使用などをおこないました。アフターコロナ後の新しい生活様式・働き方の一つとして移住定住促進という面で意義のある取組で、取り組んだ成果は、今後の笠岡の魅力発信の素材になるものと考えています。</p> <p>御指摘のとおり、まずは笠岡に暮らす市民の皆様が笠岡に愛着をもち暮らしてよかったと実感できる、住みよいまちづくり、魅力あるまちづくりに向け、引き続き努めてまいります。</p>
63	5	ワーケーション事業	<p>一定の成果があるのに廃止はおかしい。費用をかけているから成果が有るのではないか？費用を掛けずに得られた成果を生かすとは具体的にどんなことなのか示してもらえないと判断できない。</p> <p>また、この表の効果額は2,500千円は誤り。国からの特定財源1,250千円を含めた効果としていますが実際はこの半分の一般財源のみの効果と思うが？</p>	<p>交流人口や関係人口の創出と、親子連れをターゲット層に設定した実施形態で、令和4年度から3年間、ワーケーションのモニターツアーの実施や未就学児等の受入れ先での事業展開、市内コワーキングスペースの試行的な使用などをおこないました。アフターコロナ後の新しい生活様式・働き方の一つとして移住定住促進という面で意義のある取組ではありましたが、厳しい財政状況の中で国の補助金の終了に合わせて当該事業を廃止としました。</p> <p>事業期間3か年の間で得られた成果として、モニターツアー参加企業体からの利用者アンケートを通じた生の声や、モニターツアーの受入先として提供いただいた民間施設のコワーキングスペースとして活用できる空間の存在、ツアーの行程表や事業参画いただいた地元人材など、今後も笠岡市の魅力発信にしっかり活かしていけるものと考えております。</p> <p>効果額につきましては、令和6年度で国庫補助金が終了し、令和7年度では全額一般財源での対応となるため、令和7年度以降必要となる予定であった一般財源の額としています。</p>
64	5	ワーケーション事業	<p>効果額が1,250では？国の補助金が含まれているのでは？</p>	<p>効果額につきましては、令和6年度で国庫補助金が終了し、令和7年度では全額一般財源での対応となるため、令和7年度以降必要となる予定であった一般財源の額としています。</p>
65	5	新婚世帯家賃助成事業	<p>期待していた効果が得られないことがなぜなのか分析できているのか？助成内容や方法等何か新婚世帯にそぐわない対応となっているのではないかと？まずは廃止ではなく内容の再検討が必要ではないかと？</p> <p>とにかく笠岡市の人口を増やしたり子供世帯を増やすことへの助成事業は大切なもので廃止すべきではないと考えます。</p> <p>住みやすい笠岡をめざして助成を増やしてもいいぐらいの事業だと思います。</p>	<p>若者世代の転出抑制や新婚世帯の転入促進、定住につなげる目的での助成制度ですが、助成対象期間終了後の定住率が低迷しており、助成金の存在が転入促進・転出抑制の直接的なインセンティブとはなっておらず、厳しい財政状況の観点から当該事業をやむなく廃止としました。</p> <p>御指摘のとおり本事業の制度内容の精査も含め、現時点、人口減少に歯止めをかけ、そして若者世代をターゲットにした定住施策のより効果的で、まちのさらなる魅力向上に資する具体的な方策・事業化の提示に向け、いただいた御意見を今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
66	5	空き家家財等処分 助成事業	家財道具等をネットで販売する。	<p>家財等の処分ができず、空き家バンクの登録を躊躇することがあるため、空き家バンクへの登録促進、ひいては空き家利活用につなげる目的での助成制度で、厳しい財政状況の中で今回補助率を引き下げるといった見直しを図りますが、処分費用の一部を助成することは継続してまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
67	5	老朽空き家等解体 撤去に係る固定資 産税等相当額一部 助成事業	事業を廃止しても効果額0とは？	<p>当該助成事業（助成金支給）としては令和4年度までの認定を対象としており、助成の対象期間は、固定資産税等が新たに賦課されることとなった年度から起算して3年度を限度とするもので、令和6年度で助成が終了となるため、効果額が0円となるものです。</p>
68	6	移住相談支援強化 事業	しっかりした移住者を。移住相談員の名前を公開ししっかりした教育を。	<p>笠岡を居住・定住の地に選択いただく上で、住居環境や交通手段、仕事をはじめ、地元町内会・自治会といったコミュニティとの関わりも含めて幅広い分野の御相談を受ける観点から、相談窓口として今後も情報収集やスキルアップに努めてまいります。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
69	6	地域おこし協力隊 事業	しっかりした審査をしていただきたい。まずは1年間市内で住んでいただき何の協力隊をするのか、どのような効果が出せるのか、このまちに定住できるかを考えさせる期間をした上で。何ら効果が感じていない。	<p>応募・選考にあたり、コーディネーター（協力隊OB）によって笠岡市の情報や協力隊制度のことなどを応募者へ周知することや着任後も伴走支援をしていくなど、ミスマッチを生まないように令和6年度から取り組んでいるところでございます。</p> <p>また、最大3か月任期の「協力隊インターンシップ制度」も活用しながら、定住につながる人材確保についても、いただいた御意見を今後の取組の参考とさせていただきたいと思っております。</p>
70	6	地域おこし協力隊 事業	人材をもっと見極める必要があるのでは。	<p>応募・選考にあたり、コーディネーター（協力隊OB）によって笠岡市の情報や協力隊制度のことなどを応募者へ周知することや着任後も伴走支援をしていくなど、ミスマッチを生まないように令和6年度から取り組んでいるところでございます。</p> <p>また、最大3か月任期の「協力隊インターンシップ制度」も活用しながら、定住につながる人材確保についても、いただいた御意見を今後の取組の参考とさせていただきたいと思っております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
71	6	地域おこし協力隊 事業	<p>笠岡に定着し、経済的に再生できる地域おこし協力隊を育てるべきでは。</p> <p>SNSなどの活用をする協力隊員でなく、生業となる仕事を笠岡で見つけ、スキルをつけてもらう。</p> <p>たとえば、今不足して困っているバスやタクシーの運転手資格取得を報酬で支援することも一つの方法。</p>	<p>応募・選考にあたり、コーディネーター（協力隊OB）によって笠岡市の情報や協力隊制度のことなどを応募者へ周知することや着任後も伴走支援をしていくなど、ミスマッチを生まないように令和6年度から取り組んでいるところでございます。</p> <p>隊員任期最大3年で生業となる仕事につなげていった隊員も過去おりますが、確かに人数は多くない状況にあり、今回いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
72	6	地域おこし協力隊 事業	<p>財政健全化を検討するうえで行政の素人の私は、高額案件からメスを入れるべきと考える。本事業は桁違いであるにも関わらず、R7～R9欄が全て0であることに疑問を感じる。（国の財源措置との絡みを不承知ではあるが・・・）</p> <p>12月17日の山陽新聞で、新たに隊員委嘱の記事「G・Gを通じて高齢者の健康推進や世代間交流」を読んでさらに疑問が増幅。</p> <p>財政健全化を叫ぶ自治体が年度途中、しかもこの程度のテーマで新規雇用をすることは言行不一致ではないか？現有の各施策“いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロン”などの深耕。各地区のまちづくり協議会・老人クラブへの働きかけを強化する等々・・・</p> <p>そして現有人材のフル活用！健康推進課、教委/スポーツ推進課等の職員各位にさらなる活躍をお願いするといった形で、経費削減の努力が必要だと思います。</p> <p>今後5年間、重要でないテーマについては雇用を凍結するべきだと思います。</p>	<p>地域おこし協力隊事業については国の事業であり、事業に関する経費は基本的に全額特別交付税といわれる国の財源を得ておりますので、事業の継続にあたっては引き続き国の財源を活用してまいります。</p> <p>また、新たな隊員につきましては、御指摘にあります現有の各施策や団体へ「グラウンドゴルフ」を通じた活動の中で、連携により健康増進や世代間交流など更なる発展・強化していくことも期待しているものです。さらには、スマートフォンを活用した取組なども活動の視野にあることから、デジタルデバイドの解消にも寄与するものと考えております。</p> <p>今回の御意見にある経費削減の観点については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
73	6	地域おこし協力隊 事業	<p>直接効果が見えてこないし定住される方も少ないので地域おこし協力隊をとりすぎでは？予算の使いすぎだ？と巷の声。市の職員が協力隊に変わるその部分を担うことはできないのか。</p>	<p>地域おこし協力隊事業については国の事業であり、事業に関する経費は基本的に全額特別交付税といわれる国の財源を得ております。引き続き、国の財源を得ながら事業に取り組んでまいります。</p> <p>また、コーディネーター（協力隊OB）によって伴走支援をしていくなど、ミスマッチを生まないように今年度（令和6年度）から取り組んでいるところです。隊員任期最大3年で生業となる仕事につなげていった隊員も過去おりますが、確かに人数は多くない状況にあり、今回いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
74	6	地域おこし協力隊 事業	<p>継続となっておりますが、他市に比べて笠岡市に移住して下さる協力隊の人数がかなり低く、「将来的には定住を目指す制度」という目的にはなっていない現状です。</p> <p>地域おこし協力隊のやりたいこと・地域おこしを実現するために担当職員の協力はもちろんです。定住に繋がらない問題点についても調査していかねばならないと思います。また人数の見直しはされないのでしょうか。</p>	<p>応募・選考にあたり、コーディネーター（協力隊OB）によって笠岡市の情報や協力隊制度などを応募者へ周知することや着任後も伴走支援をしていくなど、ミスマッチを生まないように令和6年度から取り組んでいるところです。</p> <p>また、地域おこし協力隊の任期は最大3年であり、隊員の任期期間が重なることで活動中の隊員数には幅がある状態となっております。</p> <p>御提案いただいた、定住につなげにくい課題の深掘りは引き続きおこなってまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
75	6	地域おこし協力隊事業	<p>地域おこし協力隊の業務は、地域の若者が仕事が無くて流出している状況の中で、ある意味起業（隊員の起業で回りも潤うや、地域自体を起業していく）を期待している面が大きい。3年という限られた期間で可能性を見つけ、持続可能な所に発展させることは極めて難しいものがあります。</p> <p>早く成功に近づけるためには、まずは職員が地域との融和を積極的に進め、地域協力者を見つけ出すことが重要と考える。</p> <p>その後、協力者の輪を広げ、地域（隊員にも）に利益をもたらす事で、隊員の定住や地域の豊かさに結び付くと考えられる。</p> <p>ある程度の方針が付いたときには、必要な備品には補助制度を投資しても良いのではないかと考えます。</p>	<p>応募・選考にあたり、コーディネーター（協力隊OB）によって笠岡市の情報や協力隊制度などを応募者へ周知することや着任後も伴走支援をしていくなど、ミスマッチを生まないように令和6年度から取り組んでいるところです。</p> <p>地域協力者の視点等、いただいた御提案・御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
76	7	交通安全母の会連絡協議会補助金	<p>島に生活している住民には全く知らない。島の老人や障がい者にも平等に。廃止すべき。</p>	<p>交通安全母の会連絡協議会とは「交通安全は家庭から」を基本理念とし、高齢者や子ども等の交通事故防止のために、母親の立場から交通安全意識の啓発や高揚に努めることを目的に設置されています。この取組は重要であると考えておりますので、他の組織等との整理を検討しながら取り組んでまいります。</p>
77	7	自転車乗車用ヘルメット購入費補助金	<p>「申請実績がわずかで廃止」となっているが、本来減額ではなく増額するべき事業と思う。現在の社会情勢からみても減額はありえない。</p> <p>購入補助金があることのアピールや手続きの簡素化などの工夫が足りないので利用者が少ないのではないかと。</p> <p>自転車事故の死亡者を防ぐ意味でも大きな意味を持つ補助金であり、市民の命を守る事業だと思います。</p>	<p>自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されましたが、岡山県のヘルメット着用率は全国平均よりも低い状態であり、またヘルメットの着用で致命傷を避けることができることから、今後も効果的な着用の啓発を行います。また、補助制度につきましても、ヘルメット着用の習慣化を目的として18歳以下を対象を限定して継続していきます。</p>
78	7	自動車急発進防止装置整備費補助金	<p>「一定の成果が得られたことから廃止する。」とあるが、現在の社会情勢からみても廃止はありえないと思う。</p> <p>一定の成果と言えどもまだ100%普及しているとは言えず、効果があったと認めるならば廃止するべきではありません。</p> <p>こういった補助金を使えることを車屋さんや修理工場から宣伝してもらって進めるようなことをすればもっと普及するのではないかと。特に高齢者の事故が問題になっているときにこの案は逆行している。なんでも少数はカットすればよいものではありません。</p>	<p>2025年6月以降に誤発進抑制装置設置が義務化される見込みになっており、既に新型車には装着しておりますが、普及するまでにはもう少しばかりかかるとも考えられることから、ご指摘のとおり宣伝方法の検討と補助制度についても財源を確保し、来年度に限り実施を検討します。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
79	7	特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金	<p>一定の成果が得られたことから廃止するとあるが、現在の社会情勢からみても廃止はありえないと思う。</p> <p>警察署からは山陽本線沿線の笠岡も特殊詐欺被害が多いので注意するような注意喚起がされているのに市政は逆行して廃止はおかしい。</p> <p>まだ普及していない世帯に対してアピールするような広報活動などを検討し継続するべき案件だと思う。</p> <p>この事業が廃止されても、特殊詐欺は減らない。</p>	<p>特殊詐欺等被害防止については、補助金制度は廃止いたしますが消費生活センターによる出前講座や消費者庁、県消費生活センターなどと協働して様々な啓発活動は今後もより効果的な活動を検討していきます。</p>
80	7	自転車乗車用ヘルメット購入費補助金 自動車急発進防止装置整備費補助金 特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金 等	<p>市民の安全、安心、生命、財産を守るのが行政に第一必須項目であると思う。自転車乗車用ヘルメット購入費補助金、自動車急発進防止装置整備費補助金、特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金など実績数が少ないから打ち切りはあまりにも乱暴です。</p>	<p>市民の安全、安心、生命、財産を守ることは行政として重要な役割であると認識しております。より有効な手法や体制等を関係機関等と連携・協議しながら補助制度の継続も含めて検討していきます。</p>
81	7,9	交通安全母の会連絡協議会補助金 市交通安全対策協議会補助金 特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金 市内暴力追放推進連合会補助金	<p>警察の啓発関連の予算がかなり減らされているが、近年全国的に高齢者や青少年が事件や事故に巻き込まれる事案が多発しており、市民の安心・安全のためにも存続してほしい。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、高齢者や青少年に関する事件等多く見受けられます。交通安全母の会連絡協議会、交通安全対策協議会、特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業、市内暴力追放推進連合会につきましては、それぞれの趣旨や活動は様々ですが啓発活動が重要であり、関係機関等とさらに連携し効果的な啓発活動は続けていくこととしております。</p>
82	8	青少年海外交流事業	<p>事業を一部見直しとしているが、効果額が事業費を上回っているのはなぜか。</p>	<p>青少年交流は隔年で中学生の派遣、受入を行っておりますが、派遣と受入ではそれぞれ事業費が異なります。令和7年度と令和9年度は派遣の年にあたることから、その効果額は令和5年度実績2,163千円をベースに算出した金額となります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
83	8	人事交流事業	人事交流は継続すべしと考えます。人事交流がいったん途絶えると元のレベルに戻すには時間がかかります。時間がかかることは費用もかかるという事になります。人事交流は継続させるのが重要な働きをする事業です。	人事交流事業も含め、国際交流事業はご指摘のとおり継続的な取組が重要と考えていますので、その点を考慮しつつ、人事交流事業の継続については、事業成果の検証と相手側の意向等も確認しながら検討していきます。
84	8	人事交流事業	他地域の人の考え方、行動を見ることにより新しい発見に繋がり、笠岡の進化に役立つと思われるが、人事交流をやめるとこれらのことを見捨てることになる。人事交流は今以上に活発にすべき。	人事交流事業も含め、国際交流事業はご指摘のとおり継続的な取組が重要と考えていますので、その点を考慮しつつ、人事交流事業の継続については、事業成果の検証と相手側の意向等も確認しながら検討していきます。
85	9	交流事業補助金 (大田市)	一部見直しで、1/3の費用で継続するとあるが、どう見直しを行うのか示されていないので判断できない。本当に1/3の費用で継続できるのですか。一般的に考えると1/3というのはとんでもない費用で、とても事業が継続できるとは思えません。	見直しについては、1団体あたりの交付限度額を財政健全化の原則である1/2とする予定です。本事業の過年実績を踏まえると、1/3の事業費でも継続可能と考えています。
86	9	市内暴力追放推進 連合会補助金	町に出ても暴力団を見かけないので、廃止すべき。	笠岡市暴力団排除条例により、暴力団の排除は、暴力団が市民生活及び社会経済活動に悪影響を及ぼす存在であることを社会全体として認識した上で、暴力団を恐れないこと、暴力団に対して資金を提供しないこと及び暴力団を利用しないことを基本として、市、市民、県、警察、関係団体その他の関係行政機関の連携及び協力のもとに推進されなくてはならないとされており、市民一人ひとりへの啓発活動が重要です。今後は組織体制、啓発活動の内容等再検討して行くこととしております。
87	9	地区有線・無線放 送施設整備費補助 金	地区有線無線放送施設整備補助金事業について、現在の放送施設の修理等については継続願いたい。	地区有線放送施設等の脆弱性が懸念される中、スマホやPC等通信手段が高度化・多様化しているほか、国も防災・災害対策のためデジタル技術の活用を推奨していること、市内でも災害等緊急時用の防災行政無線が整備されたことから廃止といたしました。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
88	9	地区有線・無線放送施設整備費補助金	<p>「通信手段の多様化に伴い廃止する。」というのはおかしい。廃止せず継続すべし。</p> <p>通信手段が多様化し、色々な手段の可能性を残すことが災害時に役に立つと思うのだが、このことは配慮してないでしょうか？</p> <p>大規模な災害時にはどんな通信手段が使えるかが問題となります。手広く色々な手段の可能性を残しておくのが、大規模災害への備えだと思います。</p>	<p>地区有線放送施設等の脆弱性が懸念される中、スマホやPC等通信手段が高度化・多様化しているほか、国も防災・災害対策のためデジタル技術の活用を推奨していること、市内でも災害等緊急時用の防災行政無線が整備されたことから廃止といたしました。</p>
89	10	志縁型団体協働のまちづくり事業補助金	<p>一部見直し補助上限を1/2に削減して継続する。</p> <p>何か1/2の比率を原則、伝家の宝刀、錦の御旗のように唱えているが、本当にどれだけ必要な経費なのかをわかっていない。</p> <p>バツサリ1/2ではなくて必要分を見て削減できる部分があれば削減すればよい。案を作成する側の作業をやりやすくするため、現状を見極めずに1/2を振りかざすのは市政とは言えないと思う。本当に一部見直しで1/2で事業が継続できるのですか？</p> <p>カットされた補助金のかわりに事業継続が難しくなり廃止、または開催できないような事業が出るのではないかと。笠岡を少しでも盛り上げて行こうと言う気があるならばもう少し検討が必要ではないですか？</p>	<p>必要性や公益性に留意したうえで継続とする場合でも事業費を2分の1とすることを原則としました。今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため目安として設定しております。</p> <p>本事業の目的は、本市と協働してまちづくり事業に取り組む志縁型団体を支援するものです。財政的な支援は縮小となりますが、地域課題の解決を目指す市民活動団体とのつながりづくりや活動機会の創出など志縁団体の活性化に資する支援を検討していきます。</p>
90	10	志縁型団体協働のまちづくり事業補助金	<p>多くのNPOがあり、あったらよいが、と思われても、本当に必要なのかをしっかりと精査していただきたい。</p>	<p>本事業については、団体から交付申請を受理した後、有識者・行政関係者・一般公募等で構成する評価委員会において、事業の計画、内容、予算などが適正かを審査しております。</p>
91	10	魅力あるまちづくり事業	<p>まちづくり協議会には42,800,000円で、1団体に約2,000,000円の運営費・活動費でかなり高額だという印象をもちました。</p> <p>地域によっては活動が停滞しているという話も聞きますが、見直しが無いのはなぜでしょう。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
92	10	魅力あるまちづくり事業	<p>公民館とダブっている事業もあると思うので、減額してもよい。</p> <p>まちづくり部門と生涯学習部門があり、公民館とまちづくり協議会を一本化すべき。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>
93	10	魅力あるまちづくり事業	<p>地区によってはまちづくり協議会の機能をなしておらず、事務所にいるだけで人件費が発生している。令和6年度においても5年振りに総会が開催されたがその後一度も役員会・理事会は開催されていない。こういうまちづくり協議会に補助金が支払われ、住民有志がボランティアで行っている社会福祉協議会の活動の補助金がカットされるのは納得いかない。『福祉のまち笠岡』といわれていたが今や微塵も感じない。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>
94	10	魅力あるまちづくり事業	<p>実施内容を見直し継続となっていますが、関わった方から「予算が取りやすい」といった声も聞こえてきています。地域のニーズにあった意味ある活動をされているのか今以上に吟味していただきたいと願います。</p> <p>地域によっては書面会議のみで意見を交わす会議もなく、地代や人件費などの費用をかけてまで存在の意味があるのかさえ考えさせられます。公民館、その他団体でなりたっている地区、まちづくり協議会が意味をなしている地区、様々な形態がありますので、しっかりと見直していただきたいと思います。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
95	10	魅力あるまちづくり事業	<p>運営交付金のうち、人件費が約1/3を占めており、人件費の支払対象が2名（会長と事務局）で、公金にも関わらず支払対象者と支払額の根拠がなく、源泉徴収票も未発行（確定申告の認識なし）で、行政指導もなく適正な会計処理がされていません。まち協代議員は無償ボランティアとして活動が原点のため、一部の人に支払っている人件費は廃止すべき。活動費も公民館事業協賛費、防災資機材購入費（年度末駆込購入）等のウェートが大きく、活動施策・経費が形骸化されています。</p> <p>また、活動交付金申請条件の「地区のまちづくり未来計画等一覧表」は平成29年5月策定以降、一度も見直し（改訂）はされていません。</p> <p>各地区の特性等から活動目標と実施内容は異なりますが、まずは財政健全化プランの趣旨から、事業計画（中長期、単年度）と予算案から決算及び監査の仕組みづくりを条件に、本事業は継続し、活動交付金は抜本的に見直すべき。</p> <p>具体的には、活動交付金は人口見合い（定額制）から、事業計画の遂行に必要な経費助成にシフトすることで、大幅削減が図れます。</p> <p>まち協の活動交付金は既得権益の色合いが濃く、行政が指導力を発揮し、地域活性化に向け住民の観点で、地域の新たな枠組み・仕組みづくりと制度の導入をお願いします。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>
96	10	魅力あるまちづくり事業	<p>10年以上経っても、街づくり計画も出来ていない。いくら費やせば出来るのか、全く無駄であった。</p> <p>運営交付金のほとんどが人件費であり、早急に廃止すべき。</p> <p>公民館を市民交流センターに衣替えし、市長部局へ移す。</p> <p>各種団体が構成員が重複しているため、行政協力委員、まちづくり協議会、公民館等を1つの組織とし、事業の重複の解消を図るべき。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>
97	10	魅力あるまちづくり事業	<p>平成24年からスタートしたが、全く無駄遣いであった。即刻辞めるべきである。</p> <p>地域活動において「船頭」が多くなっただけで、また、まち協だけは補助金が桁外れに大きく、自治活動の分裂と破壊の元凶となっている。</p> <p>公民館と自治会の軸で市政と連携を取る構図が一番美しく、公民館に「まち協」を統合すべき。</p> <p>50百万円/年×12年間=600百万円で何が得られたか？投資対効果は無視され、バラマキは不文律を助長しただけである。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
98	10	魅力あるまちづくり事業	<p>今まで公民館事業として行っていたものを、何か事業を入れなくてはと、まちづくり事業にしている事業が多く見受けられる。</p> <p>この度、「まちづくり計画」が出来つつあるので、その計画に則った事業、それも事業の優先順位に基づくものであるかの精査を、審査会だけでなく、協議会においても考え直してほしい。そのためには、担当職員のまちづくり事業についての考え方のレベルアップが必要となります。</p> <p>課題解決（困窮に対してや、地区の発展）を重点に置いた補助金として頂きたい。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>
99	10	魅力あるまちづくり事業 市民活動支援センター事業	<p>本来はボランティアであるべきことであり、まち協の体質改善が必要。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む中、市は今以上に住民自治を推進する必要があります。その役割を担うまちづくり協議会への支援は必要不可欠であり、今回の財政健全化では新たな財源を確保するため、事業内容の一部見直しを検討しているところです。</p> <p>今後、地域の自主的・主体的な活動の推進やまちづくり交付金の有効かつ適正な活用のため、地域の課題解決の指針となる地域計画の策定をサポートするなどの人的支援を引き続き行うとともに、まちづくり協議会、公民館を含む地域に存在する各種団体の再編も検討していきたいと考えています。</p>
100	11	各種訓練事業 自主防災組織助成金 消防団員報酬・消防団運営交付金	<p>消防団員報酬・消防団運営交付金の項目では出動手当の単価減額の記載もあり、地域コミュニティと密接な関係性のある消防団員のなり手不足が更に深刻になると共に、各種訓練事業や自主防災組織助成金の見直しなども盛り込まれていることから、防災面でもマイナス効果があるのではないかと懸念しています。</p>	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考えております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考えております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直して継続を考えております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思っております。</p>
101	11	自主防災活動活性化総合支援事業	<p>見直し。資格は自腹で。</p>	<p>防災士資格取得事業は、地域における防災リーダーを育成することを目的として、市内自主防災組織からの推薦により受講していただいております。防災士養成講座の受講料は、一人当たり約63,800円で負担が大きく、防災リーダーの育成が困難となるため、負担軽減措置として資格取得に係る費用（受講料・登録料）を全額補助としております。引き続き、防災に関する知識と技術を持って、減災と防災に大きな役割を担い、地域の防災リーダーとして活躍していただけるよう、資格取得支援事業を継続します。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
102	11	自主防災活動活性化総合支援事業	<p>現状は、防災資機材支給、FM告知ラジオ配備、防災マップ作成（新規限定）、防災士の育成等実施内容は形骸化しています。</p> <p>防災資機材品目は県が指定、支給時期等様々な制約があり、FM告知ラジオも未だに配備、また防災マップの改訂は対象外等助成支ニーズと不整合等現行制度には多くの課題があります。</p> <p>防災士は、当該年度の育成人数の把握はされておられ、現在約100名を超えています。行政の育成目標人数はありません。</p> <p>これまで多大な投資をされ防災士を育成されていますが、地区により育成人数に偏りがあり、また活動実態は把握されていません。</p> <p>（県主催の防災士研修会、防災研修・講演会は個別に参加案内）</p> <p>他行政では、ニーズに沿ったタイムリーな自主防災組織活動支援のため、要綱等を制定、公開されていますが、当行政にはこのような視点での取り組みはありません。財政健全化プランの観点から、これまでの形骸化した事業内容から脱却、地区の特性の特性を配慮した住民の観点で、自主防災組織のニーズに沿ったタイムリーな新たな活動助成制度へのシフトを条件に事業は継続。</p> <p>〈他行政を参考に検討〉</p> <p>* 防災士育成事業補助金交付要綱等の制度化 * 自主防災組織活動補助金交付要綱等の制度化</p>	<p>御指摘のとおり、自主防災活動活性化事業については様々な御意見があることを認識しております。当該事業は岡山県の補助制度を活用し、市の一般財源の負担を軽減しつつ事業を実施していますので、基本的に県の補助事業メニューに沿った形で実施しており、市独自の事業を実施することで一般財源が増加することは財政健全化プランの趣旨に沿わないため、当事業については従前どおり継続することとします。ただし、県に対して補助事業メニューの拡充の要望や活用や見直しが可能な事業メニューがあれば自主防災連絡協議会等で合意形成を図りながら事業の見直し等を進めていきたいと考えております。</p> <p>防災士の育成については、第7次笠岡市総合計画において資格取得者の目標数値を定めております。（目標：2025年度で111名）毎年の自主防災組織からの受講推薦に基づき、受講者の選考をする際に、防災士がいない地区の推薦者を優先的に受講させるなど対策を行うとともに、総合防災訓練、出前講座、各種研修の受講等で活動の実態を把握するよう努めています。地域の防災リーダーとなる防災士の育成は重要であると認識しているため、当事業を継続することとしますが、引き続き、地区の資格取得者の平準化、女性の資格取得、活動のさらなる把握に努めてまいります。</p>
103	11	自主防災組織助成金	<p>約7割カットする事業の見直しでの効果は検証できているのか？強制的に約7割カットします。では、事業の見直しではあるまい。</p> <p>予算ありきでの判断ではなく本当に事業として必要かどうかで判断すべきだと思います。</p> <p>もし、そうしていますと言うならその内容を表示すべきと考えます。</p>	<p>効果については、見直しを行う中で検証し、事業の内容を精査することで継続は可能と判断しました。婦人防火クラブの主な活動の一つが火災予防への取組ですが、その他にも近年多発する災害について、避難所における炊き出し支援等がクラブ員によって実施されています。このことから、災害時における婦人防火クラブの役割や活動についての研修を毎年、開催しております。</p>
104	11	自主防災組織助成金	<p>火災・防火に特化した活動組織（婦人防火クラブ等）への助成金のようなのですが、事業名と実施内容がマッチしません。</p> <p>婦人防火クラブへの助成金は形骸化されており活動実態の把握が必要です。</p> <p>自主防災組織も火災・防火に関する活動を含め自主防災・減災活動を行っていますが、無償ボランティアで行政の助成金はありません。</p> <p>財政健全化プランの趣旨から、本事業は廃止。</p>	<p>婦人防火クラブは、主に地域の女性を中心に組織されたクラブが火災の予防を推進するために活動しており、実態把握については、毎年3月に各クラブに事業報告を提出していただいております。この度の事業見直しで助成金、研修会費の削減を行い、事業の内容を精査して活動を継続いたします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
105	11	自主防災組織助成金	魅力あるまちづくり事業の活動交付金に統合。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
106	11	消防団員報酬・消防団運営交付金	消防団費用、報酬減により団員のモチベーションは下がり、いざという時役立たなくなる。団員数減少を加速させる。災害時対応を誰がするのか？職員でやれるならやって下さい。	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考えております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考えております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直して継続を考えております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思えます。</p>
107	11	消防団員報酬・消防団運営交付金	<p>出動報酬3,500→1,000円は厳しい。今までやっていた（分団長、部長会議、ホース収納・防火広報etc）活動も制限される。</p> <p>運営交付金1,500→3,000円</p> <p>使い道や制限が多すぎる。最後に返金が必要な状態。領収書がなければ飲料も買えない。有り難いが、使いにくい。出張費懇親会費も予算に入れてほしい。</p> <p>そもそも団の資金がいくらあって何に使われているのか。</p> <p>団の車両・機庫・資機材・必要備品等のお金はどこから捻出されているのか分からない。</p> <p>団の指揮車両に署のステッカーを貼って使っていますが、そのあたりの維持費等のお金は団費でしょうか？わからないまま削減といわれても個人支給になった今は、難しいと思われま</p> <p>す。</p> <p>車両更新の時期を延ばしたり、ほかのところで削減を考えたみたいけれど、何もわからないままの状態の消防団は、考えることもできない状態だと思います。出動報酬についても個人支給が始まってから毎年直し、変更していくはずだったのに、一度も改正されていません。特に消防団は市長直轄の特別公務員です。消防署の下部組織とは違いますので、まずは予算決算を公開し、それから予算削減を考えるべきと思うところです。</p> <p>消防車2台10年我慢すれば2,500万円以上の削減になりますよね。</p> <p>中途半端な組織の中で命をかけて災害現場に行くのは、独りの消防団員として考えると</p> <p>が多すぎます。</p> <p>今後のこともありますので、報酬はそのまま、年毎に変えていく方法また、活動・物品を減らす方法で考えていただきたい。</p> <p>組織改革を先に行っていただきたい。対話と調和をもって進めてください。</p> <p>もう少し時間をかけて細やかに対応を望みます。</p>	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考えております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考えております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直して継続を考えております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思えます。</p> <p>消防団運営交付金事業につきましては、幅をもたせた対応ができるように考えてまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
108	11	消防団員報酬・消防団運営交付金	<p>一部見直しになっているが、これからは消防団が必要になってくるので反対する。災害に備えて団員確保が必要になるが、現実に入団する人が減ってきている。</p> <p>若者がこぞって入団する仕組みづくりを工夫してほしい。</p> <p>また、団員同士の交流が、普段関わる事の少ない地域の若者つながり・絆へと、更には災害時にそのチームワークへと発展すると思う。（一見無駄なように見える事、寄って雑談飲み食いする事が人間関係作りには大切だと思う。）</p>	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考慮しております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考慮しております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直し継続を考慮しております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思えます。</p>
109	11	消防団員報酬・消防団運営交付金	<p>出動手当の単価、減額は反対です。特に島は消防署からの出動はなく、ほぼ島民による消防団で活動を行っている。一律に減額するのではなく内容によって見直し「救急出動、消火活動、春季・秋季放水(火災)訓練」に関しては減額せず、現状維持でお願いします。</p>	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考慮しております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考慮しております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直し継続を考慮しております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思えます。</p>
110	11	消防団員報酬・消防団運営交付金	<p>出動手当の単価、減額は反対です。</p> <p>特に島は消防署からの出動はなく、ほぼ島民による消防団で活動を行っている。一律に減額するのではなく内容によって見直し「救急出動、消火活動、春季・秋季放水(火災)訓練」に関しては減額せず、現状維持でお願いします。</p>	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考慮しております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考慮しております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直し継続を考慮しております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思えます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
111	11	消防団員報酬・消防団運営交付金	<p>消防団員は、仕事を持ちながらほとんどボランティアに近い活動をしている。また、地域についても頼りになる組織という思いは大きい。通常の時給からしても高いとは思えない。最近やっと少し報酬が上がったのですが、単価の削減はいただけない、と考えます。団員は、消防職員より相当低い補償の中で、地域の人命・財産を守る誇りを持って活動しています。</p> <p>大分前から、団員勧誘しても断られるなか、入団してくれている事も念頭に置いてください。</p>	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考慮しております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考慮しております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直しを継続を考慮しております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思います。</p>
112	11	消防団活性化委員会助成金、消防団員報酬・消防団運営交付金	<p>地域貢献するのはボランティアで。もしくは財政難ですから団員報酬は半額カットで金銭でなく市内の商品券を渡す。しっかりした消火訓練をするべき。団員不足と言いながら声すらかけない。運営に不備があるから辞めていく。</p>	<p>区分については水火災を国が示す災害に変更して、火災出動、風水害出動、救助出動、救急出動に細分化を考慮しております。見直し単価としては火災・風水害出動は活動内容から見直しを行わず、今までのとおり同じ額の半日4,000円、1日8,000円とし、救急・救助につきましては、その他の区分の報酬額として支払っていた同じ額の1日3,500円を考慮しております。警戒、訓練、その他の区分は3,500円を1,000円に見直しを継続を考慮しております。見直しを行った警戒、訓練、その他の区分につきましては近隣市町と比較して見直しをさせていただきました。</p> <p>また、火災・風水害は特別交付税の対象で、警戒、訓練、その他については、そのほとんどが、普通交付税算定外であるため、やむを得ず、見直しを行いました。</p> <p>魅力ある消防団組織づくりを行い、継続的な各種訓練を通じて災害による被害を減らしていきたいと思います。</p>
113	120	私立学校施設整備事業費補助金	低所得者へ	<p>本補助金は、私立学校に通学する本市に住所を有する生徒の学習環境等の向上を図ることを目的に、私立学校に対して交付するものですが、近隣市町の制度等も考慮し、補助対象及び補助金額の上限を見直すこととしたものです。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
114	12	職員互助会補助金	今回の財政難をした職員のための補助金が必要なのか。市民は納得しない。	<p>職員互助会への補助金支出は、地方公務員法に定められた福利厚生事業の一環として支出をしているものです。</p> <p>従前の補助金額も適正な範囲内での支出ではありましたが、今回の見直しの原則に則り2分の1に削減する内容で見直しを実施するものです。</p>
115	12	職員互助会補助金	<p>半額に削減していますが、全額カットしてもよいのではないのでしょうか？</p> <p>市民サービスに係る補助金を大幅に削減しているのにも関わらず、職員は半額の削減だけなのか…と感じます。</p> <p>まず、市役所職員、特に上の方から給料削減など見本を見せて下さい。</p>	<p>職員互助会への補助金支出は、地方公務員法に定められた福利厚生事業の一環として支出をしているものです。</p> <p>従前の補助金額も適正な範囲内での支出ではありましたが、今回の見直しの原則に則り2分の1に削減する内容で見直しを実施するものです。</p>
116	12	職員互助会補助金	自分達でまかなえば良い。	<p>職員互助会への補助金支出は、地方公務員法に定められた福利厚生事業の一環として支出をしているものです。</p> <p>従前の補助金額も適正な範囲内での支出ではありましたが、今回の見直しの原則に則り2分の1に削減する内容で見直しを実施するものです。</p>
117	12	職員互助会補助金	職員互助会補助金はこの財政難に必要なと思う。自分たちで賄うべきもの。	<p>職員互助会への補助金支出は、地方公務員法に定められた福利厚生事業の一環として支出をしているものです。</p> <p>従前の補助金額も適正な範囲内での支出ではありましたが、今回の見直しの原則に則り2分の1に削減する内容で見直しを実施するものです。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
118	12	たばこ販売協同組合補助金	<p>現在笠岡たばこ組合員数は50名弱となり、タスポ導入以降減少を続けている。組合員も高齢者が多く、町の燈台と言われていた時代もあったが、その面影も無くなっている。組合の主たる目的は、許可制度、定価制度を維持する事で、これは政府、全協、JTの連携の元成り立っている。その中で市内のゴミ拾い（美化活動）未成年者の喫煙防止活動、喫煙場所確保の為に灰皿の設置、JTと全国たばこ販売協同組合連合会の助力のもと頑張って販売している。</p> <p>2026年3月末で光回線になる為自販機が使用出来なくなる。新自販機の購入者はごく少数で、笠岡市からの助成金は組合員の為の事務所を存続する為には、必要不可欠な資金です。経費の節約も出来る事は全てしている。たばこ購入代金は値上げを続け、売上げは減少しても税金は増額し、笠岡市へは2022年度は2億9550万円の税収入になっている。たばこ屋と喫煙者様の負担は増すばかり。全国たばこ販売協同組合連合会は国内の県、市、町、村から組合事務所をなくさない事を目標にしている。高齢の組合員の頼り場所を失わない為にも引き続き助成金を頂けることを心よりお願い申し上げます。</p>	<p>たばこ販売協働組合に対する補助金につきましては、安定的な税収確保や喫煙環境の向上・環境美化活動・未成年者喫煙防止活動等に対し交付しているところですが、ここ30年以上たばこ税の税収は安定した収入があり、喫煙マナーや喫煙環境の向上は、健康増進法などにより法整備され、社会全体が受動喫煙防止等に取り組む中で、既に確立しているところがあると考えています。何代にもわたり専売品を扱っているという信用も加わり地域事情に精通した顔役として、社会貢献されてきた意義のある事業でございますが、社会的な意識の変化や厳しい財政状況の中で、近隣の自治体の状況も踏まえやむなく廃止といたしました。</p>
119	14	すてきさんかく塾	<p>他事業とは何か？</p> <p>本当に統合できるのかわからないので判断できない。</p> <p>講座自身はどれくらい効果があるかはわかりませんが、必要な事業と思います。</p>	<p>これまで、すてきさんかく塾では、男女共同参画社会の推進を目的としたセミナーを開催してきました。令和7年度より人権啓発推進事業へ統合し、その中で引き続き男女共同参画社会の推進に関する啓発も実施することで、経費削減を図りつつ事業を継続してまいります。</p>
120	14	非核平和都市宣言啓発事業委託費 人権文化祭実施委託料	<p>他事業とは何か？</p> <p>バツサリ1/2ではなくて必要分を見て削減できる部分があれば削減すればよい。案を作成する側の作業をやりやすくするため現状を見極めずに1/2を振りかざすのは市政とは言えないと思う。</p> <p>本当に一部見直して1/2にできるとは思えません。</p> <p>1割カット、2割カット、3割カット…などいろいろあって当たり前だと思うのですが、1/2一律カットは納得できません。</p> <p>もし、委託先が1/2ではできないと言ったら、市の方では市の職員を使って1/2のコストで事業の継続ができるのですか？</p>	<p>平和に関する啓発事業につきましては、実行委員会へ委託していましたが、令和7年度より人権啓発推進事業へ統合し、その中で平和に関する啓発も実施いたします。</p> <p>人権文化祭実施委託料につきましては、児童生徒及び各種講座生の減少に伴い委託料を見直した上で、事業を継続いたします。</p> <p>また、削減額につきましては、必要性や公益性に留意したうえで継続とする場合でも事業費を2分の1とすることを原則としました。今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため目安として設定しております。</p>
121	15	資源回収補助事業	<p>廃止。ボランティアですべき事。</p>	<p>本事業は、ごみ減量化・資源化の促進のみならず、資源物の価格変動を補いながら、学校PTAや老人会など多くの団体の活動を支えており、本市廃棄物減量等推進審議会からも継続の意見をいただいています。また近隣市町に同制度がありますが本市の給付水準は低くなっています。こうしたニーズや公益性を再度検討した結果、従前どおり継続することといたしました。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
122	15	資源回収補助事業	これはいらぬのではないか。廃止。 資源回収は市の回収でもやっているのだから二重になる。これはやめるべきで、補助金を出してまでやってもらう必要は無いと思います もし、それぞれの会で資源を売って収入になるからやると思うならやってもらえばよいと思います。報奨金は必要が無いと考えます。	本事業は、ごみ減量化・資源化の促進のみならず、資源物の価格変動を補いながら、学校PTAや老人会など多くの団体の活動を支えており、本市廃棄物減量等推進審議会からも継続の意見をいただいています。また近隣市町に同制度がありますが本市の給付水準は低くなっています。こうしたニーズや公益性を再度検討した結果、従前どおり継続することといたしました。
123	15	指定ごみ袋無料配布事業	指定ごみ袋の無料配布は、近隣自治体の状況と同じように購入できるようにすると良い。単身、夫婦、高齢世帯、農村地域の場合には無料で出せる現状が良いと思われるが、若い世代の流入、市街地の子育て世代を考えれば足りない袋を高額で購入しなければならないことで敬遠され、人口増にはマイナスである。	令和4年3月に総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、まず無料配布制度（超過従量制）の中で見直しを行います。
124	15	指定ごみ袋無料配布事業	財政健全化プランによる財源不足解消のために多くの事業が急に廃止や一部見直しとなっている。であれば指定ごみ袋無料配布事業についても同様に、状況に応じて早急に見直しを行っていただきたい。少しでも財源を確保し、市民サービスの低下を抑えることを考えていただきたい。	ご意見のように制度の見直しは指定ごみ袋の販売収入の増加や経費削減など財源確保につながります。まず、総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、無料配布制度の中で見直しを行います。
125	15	指定ごみ袋無料配布事業	無料ではなく、有料にしても良いと思う。福山市のように透明袋にする等方法はあるかと思う。	指定ごみ袋の完全有料化へのご理解をいただきありがとうございます。まず総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、無料配布制度の中で見直しを行います。
126	15	指定ごみ袋無料配布事業	見直し。一箱のごみ袋を半分にする。	総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、まず無料配布制度の中で容量や配布枚数などの見直しを含め検討します。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
127	15	指定ごみ袋無料配布事業	<p>聞くところによるとアパート・マンションでは家主さんが業者を頼んで毎日ごみ収集に来ているようで、そんなアパート・マンションではレジ袋でごみを出し、市から配布している袋は使用しない由。ところがそんなところへも市はシルバーさんを頼んで配布しています。いつの世も「自分が出したごみは自分で処理する」が原則ですが、現代社会ではいろいろなごみがあり、個人では処理が無理なものが多々あります。せめて市にお願いするごみ袋代だけでも市民が負担するように希望します。岡山市では1枚20円です。</p>	<p>現在、集合住宅であっても、指定ごみ袋を使う所が混在することや市販のごみ袋を買う必要があること等の理由から全戸に配布しています。</p> <p>制度の見直しについては、総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、まず無料配布制度の中で見直しを行います。</p>
128	15	指定ごみ袋無料配布事業	<p>議会提案で無料配布をお願いしている事業ですぐに有料とはできない。</p> <p>しかし、同時期に上程があり、有料とした矢掛町では家庭ごみの削減が2割以上できたと聞いている（矢掛町議から）、岡山市も実績が出ている。</p> <p>また現在、世帯分離や施設入所でごみ袋が相当量余っているのも事実。</p> <p>シルバー人材センターに払っている配達料の600万円弱はなくてもいい費用。</p> <p>平成28年実施のアンケートでも約7割の市民が有料化に賛成（どちらかという賛成を含む）していて、現在ではさらに賛成が増えている。有料化しても一軒で1500～2000円/年の負担と聞いている。</p> <p>なにより、無駄になっているごみ袋や送料など1000万円の削減ができるのは大きい。しっかり、じっくり考えて、議会も市民も期待できる理由と新しい制度を示してほしい。</p>	<p>御意見のように、指定ごみ袋の完全有料化（単純従量制）の実施により経費節減やごみ減量化などが期待できると考えます。</p> <p>まず総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、無料配布制度の中で見直しを行います。</p>
129	15	指定ごみ袋無料配布事業	<p>指定ごみ袋無料配布はとてもよいことだと思う。地域の事がよく理解できていない他地区のシルバーさんが配布を担当されていると思うが、各地区に「まちづくり協議会」があるのだからその組織を使って配布したほうが正確で格安だと思う。</p>	<p>現在、入札の手続きを経て一括契約で市内全域へごみ袋を配布しており、地域差や個人情報管理にも配慮しつつ、他の配送業者より各段安価に配布ができています。総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、まず無料配布制度の中で見直しを行います。</p>
130	15	指定ごみ袋無料配布事業	<p>指定ごみ袋無料配布事業の見直しは笠岡市のかねてよりの懸案事項であり、これまでも何度か議会に上程されてきたが総て否決されて来た経緯がある。「別冊」では“一部見直し”とされ、内容において“現行のとおり継続するが指定ごみ袋制度のあり方については今後検討する”とある。</p> <p>指定ごみ袋の有料化については既に多くの近隣自治体で導入されて来ており、財政効果と共に減量化にも寄与しているとの報告もある。</p> <p>早期での導入が期待されるが、一方でこれまで長期に亘って無料で配布されて来た指定ゴミ袋が有償化されると、導入当初は“違反ごみ”の増加等による収集業者や集積場所（ゴミステーション）付近住民に対する諸々の負担が危惧される。</p> <p>地区の行政協力委員や廃棄物減量推進員等との連携の元でスムーズな導入が図れる様、市としての十分な指導をお願いしたい。</p>	<p>ごみ袋制度を調べ御意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>まず総務文教委員会からいただいた政策提言を踏まえ、無料配布制度の中で見直しを行います。</p> <p>また、見直しの実施にあたっては、廃棄物減量等推進員や行政協力委員の方々との連携を図り、円滑な導入に努めます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
131	15	指定ごみ袋無料配布事業	1・2世帯の配布を20Lに変更し、それに合わせて他世帯の配布数を減らす。	議会総務文教委員会の政策提言を踏まえ、まず無料配布の中でごみ袋制度を検討します。その際、小さい袋も販売している他自治体の利用実績を参考に袋の大きさを検討します。
132	15	指定ごみ袋無料配布事業	現在の指定ゴミ袋は20リットル未満がなく、単身家庭では容量が大き過ぎます。3日分の生ゴミだけなら5リットルでも入ると思うこともあります。やむを得ず最小の20リットルを使っています。 指定ゴミ袋の削減や、燃えるゴミの削減に取り組む前に、ゴミ袋の小さいサイズも用意して、市民全体でゴミを削減する習慣をつけてはどうでしょうか。	議会総務文教委員会の政策提言を踏まえ、まず無料配布の中でごみ袋制度を検討します。その際、小さい袋も販売している他自治体の利用実績を参考に袋の大きさを検討します。
133	15	指定ごみ袋無料配布事業	無料配布は継続し、経費削減を進める。	まず議会総務文教委員会の政策提言を踏まえ、無料配布の中で経費を考慮の上、ごみ袋制度を検討します。
134	15	指定ごみ袋無料配布事業	ゴミ袋の有料化（今の価格より安く見積もってほしい）	議会総務文教委員会の政策提言を踏まえ、まず無料配布の中でごみ袋制度を検討します。また完全有料化（単純従量制）を検討する場合は価格も考慮します。
135	16	ファミリーサポートセンター事業	民間でも類似事業があるので廃止すべき。	ファミリーサポートセンター事業には、預かりと送迎の活動があり、年間500件を超える活動実績があります。民間にも類似事業はありますが、行政としても実施の必要があると考えており、官民連携して取り組んでいきたいと考えています。
136	16	ファミリーサポートセンター事業	ファミサポ制度は、育児中の保護者にとっては必要な制度と思います。現在提供会員が不足している中、提供会員を増やす為の施策を考えなければいけない状況ではないかと思えます。それにはPRなども必要になってくると思います。そういう状況の中で事業費を削減するのはどうしてでしょうか。「事業内容を見直す」とはファミサポ制度自体を他機関に委ねたりするように考えているのでしょうか。	事業内容の見直しにつきましては、事業費のうちの事務費部分の削減を検討しているもので、ファミリーサポートセンターの制度そのもの見直しではありません。 依頼会員のニーズに対応するためにも、制度の周知や提供会員の募集など、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
137	16	ファミリーサポートセンター事業 放課後児童クラブ 作業療法士訪問 コンサル事業	一部見直し継続するとあるが、どう見直しを行うのか示されていないので判断できない。 削減額が1/2になっていないのは見直しているのだろうと思われませんが。	ファミリーサポートセンター事業については、事業費のうちの事務費部分の削減を検討しています。 放課後児童クラブ作業療法士訪問コンサル事業につきましては、実施回数の見直しによる事業費の削減を検討しています。
138	16	放課後児童クラブ 運営事業	ボランティアですべき事ではないか。廃止すべき。	放課後児童クラブ運営事業は、児童福祉法に定められている児童福祉事業の一つ（放課後児童健全育成事業）であることから、今後も継続して実施する必要があると考えています。
139	16	放課後児童クラブ 運営事業	事業費が極端に多く感じます。各クラブの運営状況を精査しているのでしょうか。見直しとして、「精査した後調整」としてはどうか。	事業費は、国が補助基準額を定めており、その基準に従い交付をしています。 各クラブの運営状況を精査し、不要額の返還を求めると適正な交付を行っており、今後も引き続き、適正な運用に努めていきます。
140	16	現代版『寺子屋』 事業	各児童クラブに委ねることとし廃止するとあるが、各児童クラブで委ねられて運営できるか、経費の捻出ができるか調査した上での判断か？ 本当に実現可能かどうか示されていないので廃止の是非の判断ができない。	本事業は、英語に慣れ親しむことを目的として平成22年に始まった事業です。現在、小学校においても英語が必修科目となり、英語に触れる機会が増えたこと等によりニーズが減ってきています。 国が定める「放課後児童健全育成事業」の補助対象外であることから、今後はクラブの判断で実施していただきたいと考えています。
141	17	離島地域協働型保 育支援事業補助金	なぜ白石島だけなのか。廃止すべき。	笠岡諸島を対象としている事業ですが、現在、設置及び運営をしているのは白石島のみとなっています。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
142	18	AIチャットボット 運用委託	削減に国の財源部分が入っている。効果額は2,440千円ではなく1,220千円です。	効果額につきましては、令和6年度で国庫補助金が終了し、令和7年度では全額一般財源での対応となるため、令和7年度以降必要となる予定であった一般財源の額としています。
143	18	AIチャットボット 運用委託料	効果額が1,220では？国の補助金が含まれているのでは？	効果額につきましては、令和6年度で国庫補助金が終了し、令和7年度では全額一般財源での対応となるため、令和7年度以降必要となる予定であった一般財源の額としています。
144	18	放課後児童クラブ 利用者補助金	クラブが利用できない子どももいますので、見直しすべき。	放課後児童クラブは、市からの委託料のほか、各クラブにおいて、利用者から負担金を徴収して運営を行っています。 そうした中、低所得の方の経済的負担を軽減することで、放課後児童クラブを必要としている家庭に、安心して利用いただくことを目的として、住民税非課税世帯を対象として本事業を実施しています。他市町村でも、課税額や多子利用による減免等を実施しており、本市においても、引き続き事業を実施する必要があると考えています。
145	18	放課後児童クラブ 利用者補助金	「受益者負担」の観点から、この事業費は必要なのでしょうか。見直しとして、「世帯課税額に応じて対応、あるいは兄弟姉妹がいる場合2人目以降を補助する」とかで。	放課後児童クラブは、市からの委託料のほか、各クラブにおいて、利用者から負担金を徴収して運営を行っています。 そうした中、低所得の方の経済的負担を軽減することで、放課後児童クラブを必要としている家庭に、安心して利用いただくことを目的として、住民税非課税世帯を対象として本事業を実施しています。他市町村でも、課税額や多子利用による減免等を実施しており、本市においても、引き続き事業を実施する必要があると考えています。
146	18	妊産婦医療費補助 金	一部見直しして継続するとなっているが、本来減額ではなく増額するべき事業と思う。現在の社会情勢からみても減額はありえないと思う。	妊産婦医療費補助金は、妊・産婦期に発症する特定の疾病について、医療保険制度適用後の自己負担分について一部補助する本市独自の制度です（岡山県内では、本市を含む2市町のみで実施）。令和6年度の交付実績額の平均が約3万円であることから、上限額の見直しを行っています。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
147	18	妊産婦医療費補助金	一部ではなく全額助成してもよい。	妊産婦医療費補助金は、妊・産婦期に発症する特定の疾病について、医療保険制度適用後の自己負担分について一部補助する本市独自の制度です（岡山県内では、本市を含む2市町のみで実施）。令和6年度の交付実績額の平均が約3万円であることから、上限額の見直しを行っています。
148	19	こどもルールブック	そもそも、社会のルールを教えるのは家庭の役割だと考える。本当に継続する必要があるのか疑問。	社会のルールを教えるのは、まずは家庭の役割と認識していますが、一方で、核家族の共働き世帯が増加している中、家庭の負担が増加している現状もあります。絵本を通して、家庭だけでなく、就学前教育・保育施設等地域全体で子どもたちの健やかな成長を喜び、褒める意識の醸成を図るため、継続していきたいと考えています。
149	20	母子健診事業 はぐくみ笠岡事業	一部見直しして継続するとなっているが本来減額ではなく増額するべき事業と思う。現在の社会情勢からみても減額はありえないと思う。	国の補助制度の変更に伴い、事業の実施方法を見直すことにより経費を削減し、一方で、事業自体は、縮小するのではなく充実して実施していきたいと考えています。
150	20	若い世代の子育て 意識啓発事業	結婚や出生数（出生率）が周辺市町と比べても少ない笠岡市。 各高校に委ねるのではなく、主体とならなければいけない笠岡市が子育ての大切さ、よろこび、生きがいにコミットした本事業にもっと力を入れるべきではないか。形を変えてでも、実施したい、充実させたい事業。	若い世代の意識啓発事業は、次世代を担う子ども達の社会的自立や安定した家庭の構築に寄与する、とても重要な事業と認識しています。本市としても、各高校に委ねるだけではなく、形を変えて実施できる啓発事業を検討し、取り組んでいきたいと考えています。
151	20	若い世代の子育て 意識啓発事業	廃止とあるが、これから生きていく若者にとって人生を失敗してほしくないの必要だと思う。 各高校に委ねるとあるが市としてきちんと指導してほしい。	若い世代の意識啓発事業は、次世代を担う子ども達の社会的自立や安定した家庭の構築に寄与する、とても重要な事業と認識しています。本市としても、各高校に委ねるだけではなく、形を変えて実施できる啓発事業を検討し、取り組んでいきたいと考えています。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
152	20	島しょ部妊産婦等 定期旅客船交通費 助成事業	高齢者の運賃は半額のため、見直しすべき。	少子化が進行する中で、健診等の病院受診は、安心して妊娠・出産・子育てをするために必要だと考えています。 島しょ部に暮らす方々も、陸地部に暮らす方々と同様に、安心して病院の受診ができるよう、引き続き支援を行っていきたいと考えています。
153	23	保育士資格取得助 成金	一定の成果が得られているのに廃止するのはおかしいのでは？全国的にも保育士不足が言われている中でその手助けをすることは大事なことはないか。	幼保連携型認定こども園で保育教諭として働くためには、「幼稚園教諭免許」と「保育士資格」の両方が必要となります。本助成金では職員に対し保育士資格取得に係る費用を助成しておりましたが、令和6年度で全ての職員の資格取得が完了したため、本事業を廃止することとしております。職員採用においては両方の取得者を条件としており、学校側も予め両方を取らせるようにしているため、今後の助成は必要ないと考えております。
154	24	戦没者追悼式	親や身内も少なくなってきたいて式典でしなくても個人で追悼したい人がすればよいのではないかと思う。 1/2でお茶を濁すのではなく、廃止するのが妥当と考える。	戦争で犠牲となられた戦没者の方々に対して追悼の意を捧げるための大切な式典であり、参列される御遺族の意向・状況に応じて形を変えることも検討しながら事業を実施してまいります。
155	24	福祉諸団体活動補 助金	内容も検討せずに1/2で原則論を振りかざして良くない。各諸団体の活動内容は吟味しているか？ 内容によっては1/4, 1/3, 1/2などもあっても良いと思う。	必要性や公益性に留意した上で継続とする場合でも事業費を2分の1とすることを原則としました。今回の大きな財源不足を解消していくため目安として設定しております。本補助金は社会的使命を果たすための活動に取り組む福祉諸団体を支援するものです。財政的な支援は縮小となりますが、各団体の強みを活かした活動が継続できるよう支援を検討してまいります。
156	24,26	ピアサロン運営事 業 相談支援事業 かさおかふれあい スポーツ大会	障がい者の特性から考えて閉塞感	ピアサロンは、精神科病院の入院患者に対する退院促進、在宅で引きこもりや居場所のない精神障がいのある方の居場所づくり、地域の人との交流を目的として設置されています。事業費については、2分の1の削減案としておりましたが、いただいた御意見を参考に、ニーズを再度検討した結果、実施体制を一部見直した上で継続してまいります。
157	24	ピアサロン運営事 業	内容も検討せずに1/2で原則論を振りかざして良くない。どのように見直したら事業費を1/2にできるか検討したのか？内容によっては1/4, 1/3, 1/2などもあっても良いと思う。	ピアサロンは、精神科病院の入院患者に対する退院促進、在宅で引きこもりや居場所のない精神障がいのある方の居場所づくり、地域の人との交流を目的として設置されています。事業費については、2分の1の削減案としておりましたが、いただいた御意見を参考に、ニーズを再度検討した結果、実施体制を一部見直した上で継続してまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
158	24	ピアサロン運営事業（自発的活動支援）	<p>1.ピアサロンの必要性 ○精神科病院からの退院に向けての受け皿(家族のケアも含めて)○就労のできない人、もの里病院のデイケアにも通えない人○在宅で引きこもっている人○保護者、支援をしている人もホッとできる場所</p> <p>2.1/2の予算ではピアサロンの運営はできませんので、閉鎖せざるをえません。土日だけの運営にしても難しいです。</p> <p>3.閉鎖により被害を被る人々は誰が、いかに支援をしたらいいのでしょうか。これには家族も含めてのことです。精神障害を持つ人本人だけでなく家族の精神的な悩みも含めてケアをしていかなければなりません。この人達を誰がどのように見ていくのでしょうか。彼らが、ここまで出てくるまでに大変な時間がかかっていたこと、保護者の世間体をやっとなくしてこの場所にさせたこと来る人が少ないからと言って切ってしまう行政には腹立たしさを感じざるをえません。一度切れてしまったものは、二度と戻ってきません。そのことを考えられてのプランであるなら、行き場のなくなった人たちの居場所を考えて進めて頂きたい。「福祉の街笠岡」の灯は消え、弱き者は切り捨てる笠岡になってきています。本当に情けないです。</p>	<p>ピアサロンは、精神科病院の入院患者に対する退院促進、在宅で引きこもりや居場所のない精神障がいのある方の居場所づくり、地域の人との交流を目的として設置されています。事業費については、2分の1の削減案としておりましたが、いただいた御意見を参考に、ニーズを再度検討した結果、実施体制を一部見直した上で継続してまいります。</p>
159	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>昼の手話（火曜日10時）を続けてほしい。夜は出るのが難しいです。どうしてもならないです。</p>	<p>事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。</p>
160	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>私は今年始めて手話講座（昼の部）に受講しました。身近に手話を必要とする人と関わったのがきっかけでした。私達は言葉が第一言語となり意思をくみ取る第一手段となります。笠岡市は県下第6番目条例制定と聞き、福祉市と感心しました。是非福祉を切りすてる事なく再受講を希望します。</p> <p>夜は老人、孫の世話で出られません。昼は働いている人は参加できず、夜も必要かと思えます。</p> <p>※市の職員の給料も一考するべきでは</p>	<p>事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。職員給与につきましては、給料表等の見直しを行うことで、今後の人件費の抑制を図ることとしております。</p>
161	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>昼間の部でないと参加できないので、是非、来年度以降も2部制で続けてほしいです。</p>	<p>事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
162	25	手話奉仕員養成研修事業	手話奉仕員養成研修事業は継続してしなければ成果が出ない。ボランティアに参加したい人は多くいる。仕事をしている人は昼、参加出来ない人が多い。	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
163	25	手話奉仕員養成研修事業	現在、昼の部の講座を受講していますが、夜の講座の受講は仕事の関係で難しく、年々自分自身が向上していく為に必要な事と思います。ろうの方々の交流もお互いかせない事業では是非今まで通り残していただきたい。	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
164	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>手話奉仕員養成については、平成18年8月1日障発第0801002号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知「地域生活支援事業等の実施について」に基づき、手話奉仕員養成研修事業が実施されています。平成25年に施行された「障害者総合支援法」において、手話奉仕員養成事業は市町村の必須事業となりました。</p> <p>令和5年6月には、新たに養成カリキュラム及び学習指導要領が定められ、講習の必要最低時間数も提示され、その内容を基本に実施するようとの通達がなされています。このことにより、実施回数や時間数の減少は考えられません。</p> <p>養成は入門課程と基礎課程を2年かけて行っており、今年度「入門課程」を修了された方は来年度「基礎課程」へ進むことになっています。</p> <p>次年度の開催を心待ちにしている方がいることをご理解いただき、もしも開催できないのであれば、対象の方が納得できるように市から説明をお願いいたします。昼の部は、夜の部に通えない等の要望を受け、令和2年度より開講しています。島民など受講生の幅が広がり、同時期に再受講を可能にしたことにより着実に実力が付いてきています。通訳者になるまでを奉仕員養成事業の中で行っており、通訳者不足、高齢化の問題を少しでも解決できるように取り組んでいます。特に昼間に活動できる通訳者が不足している状況をご理解いただき、現状を維持していただけるようお願いいたします。又、講師養成も必須の課題です。講師不足になった場合は、岡山県聴覚障害者福祉協会から講師を派遣してもらわなければならない、講師料の単価は、令和6年度の笠岡市の講師料の2倍になっています。このことから地元講師のスキルアップと講師必須の講習受講が必要であり、支援がいただけるようお願いしたい。県内15市の実施状況を見ましても、笠岡市は養成講座開催回数、講師料において最低の状況です。</p> <p>手話言語条例を制定し、市民への手話普及を図っている中において、手話や聴覚障がい者に理解のある市民を増やすための奉仕員養成は必要な事ですので、後退する施策ではなく継続していただけるようお願いいたします。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
165	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>手話でろう者の方とコミュニケーションできるようになりたいと思い、7年前に手話奉仕員養成講座を受講しました。</p> <p>2年間の講座で手話と聴覚障害について知ることができましたが、更に、手話を身につけるためには、学びの継続が必要と感じました。そのような時に、養成講座の再受講をできるようにしていただき、また、昼の部の講座のおかげで参加しやすくなり、毎年受講しています。</p> <p>あらたな言語の習得は容易なことではありません。養成講座で、手話の基本を丁寧に教えていただき、また、その時々話題が手話で話されるのを聞いたり会話をし、繰り返しの学びで少しずつ手話を覚えています。</p> <p>手話は目で見える言葉なので、日本語とは多くの違いや特徴があります。まだまだ勉強途中で、これからも学びの場を必要としています。また、今年度の講座は、様々な人生経験を積まれた方が多く参加して学んでおられます。メンバーの皆さんと励まし合いながら手話を学べることは、私にとって喜びです。</p> <p>来年度も昼の部の受講を希望しています。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
166	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>実施回数の見直しの部分ですが、離島に住む難聴者としては、昼間の養成講座しか受講出来ず、更に実施回数も減ることになれば、身に付いた手話表現を使つてのコミュニケーションの機会も少なくなってしまうと思います。</p> <p>県内全ての自治体で手話言語条例が制定され、益々手話の普及が必要な今、手話奉仕員養成研修事業の継続を例年通りお願いしたいと思います。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
167	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>奉仕員を育てるのには時間は必須です。</p> <p>まだ仕事をしている人、昼しか出席できない人と皆さん時間をやりくりして勉強していると思います。手話をきっかけで色々なボランティアにつながる、又他の講座などをきっかけに人を助ける心を育てるこれからの世代につながりを続けてほしいと願います。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
168	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>幼児から学ぶ機会があれば自然と身につくと思うが、大人になって学ぼうと思った時はかなりの時間を要する。仕事をしている方は夜の講座が有難いと思ひ、昼の時間を有効に使いたい方は昼の講座が有難いと思う。もちろん学びたいと思う方から少額受講料徴収もありだと思ひ、一部見直しではなく継続が望ましいと思ひ。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
169	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>昼の部を受講していました。来年度以降も現状のまま昼・夜の部で、回数も同じで続けて欲しいです。</p> <p>お金が足りないのならば、受講生から受講料をもらうか、クラウドファンディングで寄付を募るのでしょうか。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
170	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>養成講座の実施回数を減らして、事業費の一般財源からの予算を減額し「継続」という案が提示されている。</p> <p>上記のような養成講座への参加者の参加率を問題に減額するだけで良いものだろうか。</p> <p>例えば、小学生や中学生を対象に授業で手話を習ってもらおうといった転換はできないか？</p> <p>一昨年、日本は国連からインクルーシブ教育ができていないと指摘され、勧告を受けている。一度に国連勧告に沿うことは物理的に無理だとしても、小学校や中学校で手話を教えることが、やがてインクルーシブ教育につながる1ステップであると位置付けることはできるのではないか。将来的な手話通訳者の要請にもなるだろう。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
171	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>笠岡市にはお金がないからこそ目先の小さな節約に目をつけるのではなく「人を育てる」ことに力を入れてほしいです。手話講座に関する「縮小化」一言。まず昼、夜の部の一本化ということについては昼だからこそ参加できるのです、私は70才ですが、両親共働きの家事、孫の面倒etcあり、昼の時間だからこそ参加できるのです。</p> <p>講座受講料は2000円でしたが、倍の4000円になってもかまいません。どうか講座の現体制での継続をお願いします。</p> <p>講座の縮小で何円の節税になるのでしょうか。議員一人減でいくらの節税、市職員の給料5%減としたら、いくらの節税になるのかお伺いします。笠岡市では手話サークルetc聴覚障害にかかある活動が活発であると感じています。社会的な機運が高まっている中の「小さな節約」をなさらないように。「福祉の笠岡」の名がすたります。</p> <p>私は手話通訳者をめざすものではありませんが、私自身がこの6か月間手話講座で理解した聴覚障害について、家では2人の孫に地区では、知り合いに広がっていきつつあります。財政は厳しいでしょうが、こんな時こそ大切ではないでしょうか。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。
172	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>今まで通り続けてほしい。手話は言語です。手話ができる人が少しでも増してほしい。聞こえない人も手話で話せる方が安心できる。</p>	事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
173	25	手話奉仕員養成研修事業	<p>今、夜の部に通ってます。手話研修続けてください。ろう者とのコミュニケーションに手話は欠かせません。手話の学びを通じてろう者の生活に理解と思いやりができるようになった。皆等しく生きる権利があります。会話、コミュニケーションは大切。財源確保の為に削らないで下さい。</p> <p>①市会議員定数の削減 議員数20名を15～14名くらいにすべし。人口4万台の市に20人は多い。700名余で議員になれるなんておかしい。</p> <p>②議員報酬も減額すべし。 市民の給与が増えず皆しんどいのには議員だけお手盛は反対。 議員の給与は市に第三者機関を作って審議すべし。議会案件ではない。</p>	<p>事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。</p> <p>市議会の運営に関することは、市議会で決められるためお答えすることができません。しかし、議会においても令和7年度は、議長10%、副議長5%、議員3%の報酬カットが行われることになっております。</p> <p>皆様からの意見については市議会に伝えてまいります。</p>
174	25	生活訓練等事業	継続してください。	<p>生活訓練等事業につきましては廃止としていますが、障がいのある方等を対象として出前講座等既存の事業を活用して、心身の健康を維持していくための学習の場をもうけるなど、障がいのある方等の生活の質が向上できるような取組を検討してまいります。</p>
175	25,27	手話奉仕員養成研修事業 手話検定補助金	<p>笠岡市手話言語条例は「手話は言語である」という理解を深め、ろう者への理解と手話の普及を進めるために平成30年に施行されました。</p> <p>社会的マイノリティである、ろう者が情報を得る方法は手話が一番なのです。</p> <p>上記2点の回数減少、補助金廃止については、手話の普及を進めよう通訳者を育てようという気持ちはないように思います。</p>	<p>事業費や参加者負担の内容を一部見直し、昼・夜の2部開催を継続して事業を継続します。</p> <p>手話検定補助金については廃止としますが、まずは、より多くの市民が手話への理解・手話の普及及び地域において手話を使用しやすい環境づくりについての取組を進めることで、将来の手話通訳者の育成を目指してまいります。</p>
176	25	生活訓練事業	<p>国や県の補助もあるのに廃止しなくてもよいのではないかな？</p> <p>補助を受けられるものについてはできるだけ補助金を受けながら実施する方が良いと思う。</p>	<p>国や県の補助もありますが、本市の負担もあることから、生活訓練等事業につきましては廃止としています。障がいのある方等を対象として出前講座等既存の事業を活用して、心身の健康を維持していくための学習の場をもうけるなど、障がいのある方等の生活の質が向上できるような取組を検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
177	25	生活訓練等事業	障害を持つ家族は常に色々な場面を想像しながら生活をしています。障害を持つ人を残して死ぬわけにはいかないと、本当に日々頑張っていると感ずます。少しでも一人で出来る事を増やしていきたいと願い寄り添い感謝の気持ちを忘れていません、廃止の方向はやめてほしいです。	生活訓練等事業につきましては廃止としていますが、障がいのある方等を対象として出前講座等既存の事業を活用して、心身の健康を維持していくための学習の場をもうけるなど、障がいのある方等の生活の質が向上できるような取組を検討してまいります。
178	25	生活訓練等事業	継続して下さい。	生活訓練等事業につきましては廃止としていますが、障がいのある方等を対象として出前講座等既存の事業を活用して、心身の健康を維持していくための学習の場をもうけるなど、障がいのある方等の生活の質が向上できるような取組を検討してまいります。
179	25,2 6,27, 29,3 0	生活訓練等事業, 害者等就労奨励補助金, かさおかふれあいスポーツ大会, 重度心身障害者成人激励金, 社会福祉協議会補助金	栗尾市長は12月議会の「財政健全化」に関する質問に対する答弁で「障がい者の生活悪化につながらない」見直しをおこなうとしましたが、「生活訓練等事業」「障害者等就労奨励補助金」「社会福祉協議会補助金」の廃止はおろか「かさおかふれあいスポーツ大会」「重度心身障害者成人激励金」の廃止など、“福祉の心”を感じる事ができない健全化プランとなっています。到底許容できません。	今回、大きな財源不足を解消していくにあたり、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため財政健全化プランにおいて廃止とさせていただいております。いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、「障害者等就労奨励補助金」については継続することといたしました。 また、「かさおかふれあいスポーツ大会」や「生活訓練等事業」については事業自体は廃止としておりますが他事業と連携する形での継続を考えており、「障がい者の生活悪化につながらない」見直しとしていくこととしております。 厳しい財政状況の中でやむなく廃止とした事業もございりますが、福祉施策が後退することがないよう努めてまいりたいと考えております。
180	26	かさおかふれあいスポーツ大会	「他事業と連携することとして廃止する」となっているが他事業とはなにかわからない。他と連携できるとは今まで2重に事業を行っていたのか？そうでなければどのような連携になるのか示してもらわなければわからない。 廃止は反対。	ふれあいスポーツ大会はスポーツ大会事業については一旦廃止とし、既存のスポーツイベント等の活用により障がいの有無に関わらず、障がいのある方も参加しやすい事業の実施を検討してまいります。
181	26	かさおかふれあいスポーツ大会	室内で行う簡単な運動より自然を感じながら外へ出て行く。体を動かしてコミュニケーションをとる。とても必要かと思ひます。	ふれあいスポーツ大会はスポーツ大会事業については一旦廃止とし、既存のスポーツイベント等の活用により障がいの有無に関わらず、障がいのある方も参加しやすい事業の実施を検討してまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
182	26	かさおかふれあい スポーツ大会廃止	スポーツをする機会がほとんどなく、日常生活でもそうした機会に恵まれていない障害児（者）にとっては、大きなよこびとやりがいを感じる大会。どのように他事業と連携するのかわからないが残してもらいたい。	ふれあいスポーツ大会はスポーツ大会事業については一旦廃止とし、既存のスポーツイベント等の活用により障がいの有無に関わらず、障がいのある方も参加しやすい事業の実施を検討してまいります。
183	26,2 8,31	ボランティアグ ループ育成活動費 補助金 福祉バス委託料 ふれあいスポーツ 大会	健聴者と同じくろう者も高齢化しています。 毎月のサークルでの交流会、年に一度の手話祭りに参加して、旧友と再会し思い切り手話で近況などを話し合う。これは大切な情報交換の場であります。会費の値上げ、交流の為のバス料金負担などは難しく、結局のところ、外出の機会が減る事になるのではないかと心配しています。 外出の機会がなければ家にいて誰かが情報をもって来てくれるのを待てば良い。とともろう者に対して理解ある施策とは思えません。 条例でろう者の理解、手話の普及とうたいながら、とても目標達成する内容ではないと思います、形だけの条例なのでしょうか。「手話は言語である」もう一度再度お願いします。	各種団体へ補助金の支出という形で社会参加を促進するのではなく、障がいの有無にかかわらず誰もが参加できるよう合理的配慮を行った交流の場が提供できるよう努めてまいります。
184	26,32	障がい者、障がい 児、高齢者に対す る支援	様々な支援があるようだが、例えば自分の子や孫がどのような支援を受けられるのかという視点で見ても、何がどうなっているのか分からないということは十分に考えられる。包括あるいは統合すべき内容を整理し、分かりやすい支援のリストを作成するべきである。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
185	27	自立支援協議会講 演会・研修会	この事業費は自立支援協議会の運営費です。部会活動費や事務消耗品費等も含まれています。 令和2年に当協議会が設置された当初、予算がなく、部会で地域福祉向上のための活動ができず、地域課題への取組が停滞してしまいました。 運営委員や各部会に参加して下さっている職員は、本来の事業所活動をしながら、無給で活動しています。そのような状況の中で企画が思うように進まなかったり、研修会の開催が遅れたりすることもあります。笠岡市の福祉の向上のため日々努力をして取り組んできました。 障害福祉施策の基盤である「笠岡市障がい者福祉計画」、「障がい者福祉計画」「障がい児福祉計画」の策定について、実施状況や目標の達成状況の検証や評価を担う機関としても活動しています。現状でも厳しい予算の中で活動をしており、これ以上減額されてしまうと、自立支援協議会は形骸化し機能不全に陥ると思います。 障がいのある人たちが生まれ育った笠岡市で安心して心豊かに生活するために、実際の現場の声を聞くヒアリング会の開催と社会福祉に関わる事業の見直しを要望します。	今回の財政健全化プランにおいて、大きな財源不足を解消していくにあたり、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため必要性や公益性に留意したうえで継続とする場合でも目安として事業費を2分の1とすることを原則としました。自立支援協議会は、障がいのある方等が自立した日常生活や社会生活を営むための課題抽出及びその解決に向けた体制整備について協議する場であると認識しています。福祉を担う方々の現場の声にしっかりと耳を傾けることを大切にしながら活動を支援してまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
186	27	自立支援協議会講演会・研修会	<p>自立支援協議会が、法の規定に基づいて設置されたものであり、講演会・研修会のみを行う団体ではないことを考えた上での削減でしょうか？そもそも、笠岡市・里庄町自立支援協議会の事務局を、笠岡市職員が担っていることから、本来の自立支援協議会の役割が果たしにくくなっていることをお考えいただきたい。</p>	<p>今回の財政健全化プランにおいて、大きな財源不足を解消していくにあたり、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため必要性や公益性に留意したうえで継続とする場合でも目安として事業費を2分の1とすることを原則としました。自立支援協議会は、障がいのある方等が自立した日常生活や社会生活を営むための課題抽出及びその解決に向けた体制整備について協議する場であると認識しています。福祉を担う方々の現場の声にしっかりと耳を傾けることを大切にしながら活動を支援してまいります。</p>
187	27	自立支援協議会講演会・研修会	<p>本来自立支援協議会の運営費であり、講演や研修だけに使っているものではないと思います。自立支援協議会は障がいのある方や家族が安心して住みやすい地域を作るために、官民一体となり地域課題を改善していくという障害福祉事業の根幹を担う大事な事業です。地域福祉の向上のために活動する費用も入れて予算を計上していただきたいです。</p>	<p>今回の財政健全化プランにおいて、大きな財源不足を解消していくにあたり、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため必要性や公益性に留意したうえで継続とする場合でも目安として事業費を2分の1とすることを原則としました。自立支援協議会は、障がいのある方等が自立した日常生活や社会生活を営むための課題抽出及びその解決に向けた体制整備について協議する場であると認識しています。福祉を担う方々の現場の声にしっかりと耳を傾けることを大切にしながら活動を支援してまいります。</p>
188	27	自立支援協議会講演会・研修会	<p>自立支援協議会は関係機関等の連携、地域の実情に応じた体制の整備、各事業所等の意見交換の場、障害者の理解促進に関わる重要な協議会です。 「協議会の事業内容の見直しにより、事業費を1/2に削減し、継続する」と書かれていますが、協議会が機能していかなくなるのではないかと。また、障害の理解を訴える場が減る事になる恐れが考えられます。よって、もう一度ご確認いただきたく意見いたします。</p>	<p>今回の財政健全化プランにおいて、大きな財源不足を解消していくにあたり、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため必要性や公益性に留意したうえで継続とする場合でも目安として事業費を2分の1とすることを原則としました。自立支援協議会は、障がいのある方等が自立した日常生活や社会生活を営むための課題抽出及びその解決に向けた体制整備について協議する場であると認識しています。福祉を担う方々の現場の声にしっかりと耳を傾けることを大切にしながら活動を支援してまいります。</p>
189	27	障害者就労奨励補助金	<p>近隣では笠岡市でいち早く実現していただいた補助金で、近年になって井笠圏域全体にも波及実現した補助金です。現在でもこの井笠圏域全体で支給されており、「福祉のまち笠岡」を象徴する補助金ではないかと考えております。また、事業所においても障がい者の皆さんが僅かばかりの工賃の励みにと、ともすれば引きこもりがちな生活の中で「頑張れば報われる」との希望を元に障がい者の皆さんの当就労施設への通所の活力源としても役立っています。 是非ともこのような諸事情を鑑みていただき、障がい者の皆さんが人生に希望と生きがいを感じて生活できる素晴らしい制度の継続をお願いします。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
190	27	障害者等就労奨励金	<p>障害がありながらも、働く喜び・自分で収入を得る喜びを持ち、地域の一員として生活し、作業所に通うことを張り合いとして頑張っている人たちへの奨励金です。各作業所においても、仕事確保・工賃アップを目指していますが、なかなか難しい中で始まった奨励金と理解しています。個々によって差はあるものの真面目に毎日通っても、月一万円前後の工賃に、プラスして渡している奨励金。</p> <p>一日200円の奨励金を、段階的に廃止するのが、市長の公約である暮らしを支える。笑顔が広がるまちづくりに繋がるのでしょうか？</p> <p>廃止するのであれば、工賃アップに繋がる施策があるのでしょうか？（例えば、役所内の単純作業等で、作業所に依頼できる仕事があると思います）自立を目指して頑張る、障がいのある人たちの喜びを奪わないで下さい。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。</p>
191	27	障害者等就労奨励金補助金	<p>長年お世話になりました。井笠圏域では笠岡市のみが廃止ですか。</p> <p>義務化された、優先調達推進法の履行等による作業確保が出来るよう工賃で補償を。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。</p>
192	27	障害者等就労奨励金補助金	<p>笠岡市障がい者計画の基本理念「障がいのある全ての人が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる福祉のまちづくり」と書かれているにも関わらず、事業の見直し、事業費の削減、廃止等書かれている事に驚きを隠せません。</p> <p>障がいのある人達はとても敏感です。</p> <p>特に、就労奨励金については他市町村でも実施されており、笠岡市だけが廃止するとなると、利用者に動揺が広がる事は間違いありません。</p> <p>また、それにより利用者の意欲低下も考えられます。自分たちの工賃は生活費に回り、就労奨励金は半期に一度の楽しみ、それによりモチベーションも上がり、「また頑張ろう」という気持ちにもなります。</p> <p>ぜひ継続していただけるよう意見いたします。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。</p>
193	27	障害者等就労奨励補助金	<p>「3か年で段階的に廃止する」となっているが廃止の理由が分からない。福祉政策が後退しなければ良いと思うが、何を判断基準に廃止が決められているのかわからない。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
194	27	障害者等就労奨励補助金	この補助金があることで、引きこもりだった人が、徐々に通所できるようになり、奨励金の条件である3時間以上を目指して働けるようになっていきます。働く意欲の向上にとっても役立っており、障がいのある方の社会参加につながっています。補助金を削減するのであれば、補助金と同額かそれ以上稼げるような施策と一緒に考えてもらいたと思います。	いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。
195	27	障害者等就労奨励補助金	<p>財政見直しの必要性につきましては十分理解致しますが、そのしわ寄せとして「障害者等就労奨励補助金の廃止」をする事に対しては大変憤りを感じており、断固反対させていただきます。事業所の実情及び、利用者さんの工賃奴入の少なさや生活の困窮等、現状をしっかりと把握された上での見直しでしょうか？</p> <p>コロナ禍の影響や取引先様の事情等により、作業量が激減したまま回復の見込みも無く、様々な要因で(利用者さんの能力や人員等)新しい作業を確保することも容易ではありません。</p> <p>その為、必然的に利用者さんの労働時間も賃金も減少しております。それに伴い、世の中は物価高が続き生活もどんどん厳しくなる中、1人当たり月平均4,000円の奨励補助金が廃止されるという事は、利用者さんの生活に大変大きな影響を及ぼします。</p> <p>どの事業所様も厳しい状況の中で運営されていると思いますが、当事業所もこのままでは存続すら危うい中、低賃金でも毎日懸命に仕事を頑張ってくれている利用者さんに、少しでも工賃向上出来るよう日々尽力している現状をもっとしっかりと把握して頂き、引き続き弱者に寄り添った支援をして頂けるよう、再度見直しをお願い申し上げます</p>	いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。
196	27	障害者等就労奨励補助金廃止	<p>周辺市町でも全国的にも実施されている。最も割合の多い層(例・精神2級など)は月々6.5万程度の障害年金。</p> <p>他に、非雇用型で、月1万円の収入。</p> <p>この就労奨励補助金の月4000円は施設に通う励みになり、よろこび、たのしみになっている。</p> <p>この奨励補助金が3年後にはなくなることを障害者にはとても言えない。</p>	いただいた御意見を参考に、ニーズや施策効果を再度検討した結果、令和7年度においては補助額を見直して継続することとし、今後、障がいのある方の自立した生活にむけた支援となるよう、工賃向上に向けた取組へ移行できるよう検討してまいります。
197	27	難聴児補聴器購入等補助金	<p>難聴児補聴器購入等補助金の継続は安心しました。</p> <p>自分も子供の頃に補聴器を付ける事で変わった部分があり、今の難聴の子供達にも補聴器を付ける事で少しでも前向きになって欲しいです。そのためにも、購入の際のストレスが少し軽くなると良いです。</p>	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
198	27	障害福祉サービス事業所開設整備事業補助金	<p>令和6年度をもって、一定の成果が得られたことから廃止するとの事ですが、継続して助成をしていただきますようお願いいたします。</p> <p>当事業所は重度の障害のある方、医療的ケアが必要な方へのサービスの提供を行っています。法人内で重度の障害のある方の利用できる通所・ヘルパー事業所を開設して10年以上経過していますが、同様のサービスを提供している事業所がまだまだ井笠圏域でも不足しているのが現状です。</p> <p>障害福祉サービスも様々で例えば、知的に障害のある方が利用できる放課後等デイサービスなどは事業者による参入も多く増加傾向にあると思います。</p> <p>一方で医療的ケアが必要な方が利用できる放課後等デイサービス等はリスクが多くリターンが少ない為、営利目的の事業者による参入が無く不足している現状です。</p> <p>つきましては現状を鑑み、開設整備補助金を障害福祉サービスの幅広い枠で一律に補助をし、一律に廃止するのではなく、補助の対象を現状で不足している障害福祉サービス事業にするなど形や金額を変えての補助金の設立なども考慮しながら、障害福祉サービス事業所開設補助金の継続をお願い致します。</p>	<p>「障害福祉サービス事業所開設整備事業補助金」につきましては、一旦廃止といたしますが、今後医療的ケアが必要な方に対するサービスへの支援につながる事業として実施できるよう検討してまいります。</p>
199	27	障害福祉サービス事業所開設整備事業補助金	<p>補助対象事業は8事業ありますが、一律に廃止ではなく、採算が充分に合う事業については営利企業も行って笠岡市内の事業所数が既に充分ある事業もあり、精査されるべきと思いますが、市内に足りていない事業や、既に市内に複数ある事業でも対象児者(例えば重症心身障害児者や医ケア児者)によっては採算が難しくまだ足りていない事業については、非営利法人に限定してぜひ継続して頂きたいです。</p> <p>また、補助金額について、一律に上限150万円ではなく、例えば、まだ市内にない重症心身障害者や医ケア者を対象とした共同生活援助事業は整備費用も高額となるので上限金額を上げ、相談事業や対象者が身体障害でなく簡単な改修で出来る事業等は上限金額を下げる方が良いと思います。</p>	<p>「障害福祉サービス事業所開設整備事業補助金」につきましては、一旦廃止といたしますが、今後医療的ケアが必要な方に対するサービスへの支援につながる事業として実施できるよう検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
200	27	喀痰吸引等研修支援事業助成金	<p>事業終期どおり令和6年度をもって廃止するとのことですが、継続して助成をしていただきますようお願いいたします。</p> <p>当事業所（児童発達・放課後等デイサービス・生活介護）におきまして、ほとんどの利用者様に痰の吸引等の医療的ケアが必要です。</p> <p>事業所としましては介護職員が痰の吸引等が出来るように基本の研修費用・実地研修の為の時間と人件費を費やして人材の育成をして認定証を取得し、サービス提供に当たっています。</p> <p>ところが、この医療的ケアに対する加算は、児童発達支援や放課後等デイサービス事業においては加算なしというのが現状です。</p> <p>新しい介護職員や利用者様が増える度に研修費用を事業所のみが負担し続け、サービスを維持していく事が困難な事を、笠岡市が理解して下さり出来たのがこの「喀痰吸引等研修支援事業助成金」だと認識しています。</p> <p>そういった成り立ちの助成金の性質から、期限無く事業所が助成をうける事が、笠岡市内の重度障害のある子ども達へのサービス提供に繋がり、日々の暮らしを継続して支える事に繋がります。</p> <p>当事業所も継続して支援を提供させていただきたいと考えておりますので、今後も笠岡市に出来る限りのご理解とご協力ご支援をお願い致します。</p>	<p>喀痰吸引等研修支援事業助成金については、要綱制定時に定めたとおり令和7年5月31日をもって失効する予定でしたが、現在も「岡山県介護職員等による喀痰吸引等（特定の者対象）実施のための研修会」が再開される目処が立たないこと、当該補助金がなくなることで、医療的ケアの必要な方が安心・安全で生活する上で影響が出ることを鑑み、当該補助金については従前どおりとして1年間延長することといたしました。今後、医療的ケアが必要な方々に対する支援につながる事業については、本事業以外にも併せて検討してまいります。</p>
201	27	喀痰吸引等研修支援事業助成金	<p>令和3年に医療的ケア児支援法が制定されて、医療的ケア児へのサービスの充実を図るよう取り組んでいます。医療的ケア児の支援は命に直結するため、受け入れてくれる事業所や支援員が少ない現状です。そのような中で喀痰吸引等の研修を受けて医療的ケア児の受け入れをしようと声をあげてくれた事業所に助成し応援してもらうことが医療的ケア児が地域で安心して生活することにもつながると思います。</p>	<p>喀痰吸引等研修支援事業助成金については、要綱制定時に定めたとおり令和7年5月31日をもって失効する予定でしたが、現在も「岡山県介護職員等による喀痰吸引等（特定の者対象）実施のための研修会」が再開される目処が立たないこと、当該補助金がなくなることで、医療的ケアの必要な方が安心・安全で生活する上で影響が出ることを鑑み、当該補助金については従前どおりとして1年間延長することといたしました。今後、医療的ケアが必要な方々に対する支援につながる事業については、本事業以外にも併せて検討してまいります。</p>
202	27	喀痰吸引等研修支援事業助成金	<p>令和3年に「岡山県介護職員等による喀痰吸引等（特定の者対象）実施のための研修会」が廃止され、新規の医療的ケアの必要な重度障害児者の受け入れが難しくなりましたが、当該補助金を頂き継続できていました。当該補助金が廃止されますと、医ケア児者受け入れが難しくなり、新規の医ケア児者の受け入れを停止せざるを得なくなります。ぜひ継続して頂きたく思います。</p>	<p>喀痰吸引等研修支援事業助成金については、要綱制定時に定めたとおり令和7年5月31日をもって失効する予定でしたが、現在も「岡山県介護職員等による喀痰吸引等（特定の者対象）実施のための研修会」が再開される目処が立たないこと、当該補助金がなくなることで、医療的ケアの必要な方が安心・安全で生活する上で影響が出ることを鑑み、当該補助金については従前どおりとして1年間延長することといたしました。今後、医療的ケアが必要な方々に対する支援につながる事業については、本事業以外にも併せて検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
203	27	喀痰吸引等研修支援事業助成金	<p>令和6年度をもって廃止する方向であるとのことですが、その件につきまして是非とも助成を継続していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>介護職員等によるたんの吸引等につきまして、平成24年4月より介護職員でも痰の吸引等の医療的ケアが可能という制度が出来、医療的ケアが必要な利用者様がヘルパーよりそのサービスの提供を受けることで、ご家族が自由に動ける時間が出来るようになりました。</p> <p>当時、制度は出来たものの、介護職員がその資格を得るための研修を受けるすべがなく、岡山県に要望し、岡山県での研修を開始していただきました。そのおかげで、順次資格取得者が増え、当事業所では、ヘルパーがご自宅にて痰の吸引等の医療的ケアのサービスを行うことで、ご本人にもご家族にも豊かな生活を提供させていただくことが出来、大変喜んでいただいております。</p> <p>医療的ケアの必要な重度の障害児者を介護するご家族は24時間体制での介護を必要とする為、常に当事者から離れることが出来ず、就労も出来ず、常に睡眠不足で疲れているのが現状でした。また、兄弟児の参観日や行事、地区の行事、冠婚葬祭にも参加できない現状もありましたが、それもサービスを利用することで可能になっています。</p> <p>ただ事業所としては、このサービスを提供するにあたり、事業所に付く加算はヘルパーで1日1回100単位と僅かなものであり、その資格を取得したヘルパーに特別手当を付けられる状況ではありません。そのサービスを提供するにあたり、必要な事務作業も沢山あり、書類作成に時間が必要な上、常に緊張しながらの支援であり、職員にも事業所にもリスクばかりが大きく、お金にもならないサービスであります。</p> <p>なので、制度が始まって12年経過した現在でも、このサービスを提供する事業所が増えず、井笠管内でもヘルパー事業所で認定登録事業所としてサービスを提供しているのは当事業所のみであるのが現状です。</p> <p>また、通所の事業所（児童発達・放課後等デイサービス・生活介護）におきましても、看護師の確保が難しい中、ほとんどの利用者様に痰の吸引等の医療的ケアが必要な為、介護職員が痰の吸引等出来るよう認定証を取得し、サービス提供に当たっているのが現状ですが、この医療的ケアに対する加算は、令和6年度より、生活介護事業においては1日30単位という僅かな加算がいただけるようになったものの、児童発達支援や放課後等デイサービス事業においては加算なしというのが現状です。</p> <p>そういった現状の中、今後、新しい従業員や利用者様が增える度に資格取得において研修費用を支払いながらサービスを提供し続けるのは不可能です。なので、岡山県に継続して研修をしていただくように要望を続けており、笠岡市の方からも要望をしてもらっていましたが、叶えられなかったため、笠岡市の方で補助する体制を作りましょう！と言って下さり出来たのがこの「喀痰吸引等研修支援事業助成金」です。</p> <p>今後も笠岡市内の重度障害児者が、当たり前サービスを受け普通に暮らしていけるよう、事業所といたしまして出来るだけの支援を提供させていただきたいと考えておりますので、自治体としても出来る限りのバックアップをしていただきますようお願い致します。</p>	<p>喀痰吸引等研修支援事業助成金については、要綱制定時に定めたとおり令和7年5月31日をもって失効する予定でしたが、現在も「岡山県介護職員等による喀痰吸引等（特定の者対象）実施のための研修会」が再開される目処が立たないこと、当該補助金がなくなることで、医療的ケアの必要な方が安心・安全で生活する上で影響が出ること等を鑑み、当該補助金については従前どおりとして1年間延長することといたしました。今後、医療的ケアが必要な方々に対する支援につながる事業については、本事業以外にも併せて検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
204	27	喀痰吸引等研修支援事業助成金	<p>そもそも、時限を設ける事業では無い！！当事業の開始時の厚生産業委員会での説明で、時限を設けると聞いていない。対象の事業所のスタッフにも確認しましたが聞いていないとの事である。医療的ケアを必要とする重度心身障害児・者の施設が、近隣に無い中で、親たちが中心に立ち上げた事業所への補助金である（補助金を出すに至る経緯は、ここで説明するまでもないと思う。）</p> <p>医学の進歩により医療的ケアが日常的に必要な子供は増えている。施設のスタッフが、1人1人に合った吸引等の技術を取得していなければ、命に繋がることもある研修であり、研修を受けても加算の付かないことからして、事業所にとっては大切な補助金である。</p> <p>如何に財政健全化と言えども廃止してはならない事業である。</p> <p>再度お考え下さい。</p>	<p>喀痰吸引等研修支援事業助成金については、要綱制定時に定めたとおり令和7年5月31日をもって失効する予定でしたが、現在も「岡山県介護職員等による喀痰吸引等（特定の者対象）実施のための研修会」が再開される目処が立たないこと、当該補助金がなくなることで、医療的ケアの必要な方が安心・安全で生活する上で影響が出ること等を鑑み、当該補助金については従前どおりとして1年間延長することといたしました。今後、医療的ケアが必要な方々に対する支援につながる事業については、本事業以外にも併せて検討してまいります。</p>
205	27	手話検定補助金	<p>級が上がる度に金額も上がり、別に交通費もかかり半額でなくても一部補助だけでも残して頂きたい。</p>	<p>本事業については廃止としますが、より多くの市民が手話への理解・手話の普及及び地域において手話を使用しやすい環境についての取組を進めることで、将来の手話通訳者の育成を目指してまいります。</p>
206	28	障がい者集いの場管理運営委託料	<p>「民間団体に委ねることとし廃止する」となっているが、民間団体に委託料分の負担を強いるのか？</p> <p>もし民間団体に負担できないとなったら事業廃止となるのではないのか？そこのところを十分詰めないで"民間団体に委ねる"はおかしいのではないのか？また、市が福祉政策から手を引いていることになっているのではないのか。民間団体などと調整をしたうえでの案になっていないのでこの案は却下します。</p>	<p>障がい者集いの場事業は、平成29年度の設立当時はこの事業を行うところが他になく、本市が直営で運営し、令和6年3月から民間の事業者へ運営を委託してきた経緯があります。現在は民間の事業所での実施体制が整ってきています。市が事業を廃止しましても、民間事業所による日中一時支援事業所として事業が実施可能な環境が整ってきていると考えます。</p>
207	28	遠隔手話サービス事業	<p>受益者側がタブレット等の端末機を持っていなかったらどうするのか？タブレット端末機の貸し出し又は機器配布に投資が必要なのではないか？色々なことが不明の為この削減ができるのか判断できない。</p> <p>また、受益者側がタブレット操作ができるものとしての案だと思うがもし操作ができない人がいたらどうするのか考えられているか？</p>	<p>遠隔手話サービス事業は、新型コロナウイルス感染症感染予防対策として市が購入したタブレットの貸付による遠隔手話サービスを実施してきました。</p> <p>また、使用時には一度デモを行うなどして操作方法を教えるなどの支援を行っています。</p> <p>コロナ禍と比較し需要も減っている現状を鑑み、タブレットの台数を見直し、通信料の削減を行うなど見直しを行い継続します。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
208	28	遠隔手話サービス事業	聞こえない人がタブレットを持って準備するのも大変。置く場所が無い。病院で呼ばれるタイミングがずれることが多い。病院でサービスをつけてほしい。呼ばれたらすぐ画面で話すことができたらより使いやすくなると思う。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
209	28	ボランティアグループ育成活動費助成事業補助金	<p>笠岡音訳の会は目の不自由な方や身体的に読書が難しい人たちに音声訳の情報を提供する会です。</p> <p>プレステトークという機械を使用して作成したCDを聞いてもらっています。</p> <p>その機械を購入する補助金が障害の高低によって大きく違い、それによって私たちが作る録音図書などが聞けない障がい者もたくさんいます。</p> <p>そのため、プレクストークを会で購入して補助対象者に貸し出したりしています。</p> <p>補助の枠を広げて欲しいと何度かお願いしましたが、かなわないためのやむをえない処置です。会の補助金を減額されると、ますます障がい者への思いが伝わらなくなります。</p>	財政的な支援は縮小となりますが、障がいの有無にかかわらず誰もが情報を入手しやすく、合理的配慮のとれた環境が提供できるよう検討してまいります。
210	28	ボランティアグループ育成活動費助成事業補助金	<p>「より広い団体の利用をうながす」と削減できる意味が分らない。分かり易い説明をすべきでこの資料では何とも判断できない。</p> <p>7団体に1/2より多いカットをして福祉サービスが継続できるのか？サービスのカットにつながらないか？</p> <p>7団体がサービスの継続ができないからといって事業から手を引いたらどうなるのか考えたことがありますか？</p> <p>どうなるのか全然わかりません。</p> <p>市職員で代行サービスができるのですか？</p>	説明が分かりづらく申し訳ございません。「より広い団体の利用」とは、現在補助金を交付している団体以外にも市内で対象となる団体に対しても補助を行うという意味であり、そのために広報・周知をしっかり行い補助制度の案内に努めます。その上で、補助が必要な団体に対し、ボランティア活動を行う中での活動費の一部を補助させていただき、事業を継続することとします。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
211	28	ボランティアグループ育成活動費助成事業補助金	<p>より広い団体の利用を促す、とはどういうことですか？</p> <p>笠岡手引きの会は、視覚と聴覚の両方に障がいのある方(盲ろう者)を支援してきました。笠岡市の行事に参加される視覚障害者や盲ろう者のガイドはボランティア団体として協力しています。</p> <p>盲ろう者は対象者が少ない故に、制度自体が整備されておらず、あっても使えない制度の狭間で支援を必要とされています。例えば、聴覚障害者日常生活用具の玄関ベル(パトライト)は、耳が聞こえなくて目も見えない人には役に立たず、視覚障害者日常生活用具の音声式時計や体温計などは、見えないうえに聞こえなければ使えません。そのような盲ろう者には、特別の用具やその人に会った独自の支援技術が必要となります。</p> <p>これまで会員は、個人の努力と、集団としてのスキルアップ、資質向上等の研修を補助金のおかげですることができています。</p> <p>対象者がいないからと言われることがありますが、それは把握できていないからであり、支援が必要な人を見落としているからではないでしょうか。個人情報保護という壁もあることでしょう。</p> <p>対象者が少なくても、そこに支援を必要とする人があるならば、私たちは、誰一人取り残さないため常に技術を磨きながら活動します。さらにまた、ボランティアの人材発掘や育成の必要性を感じています。そのためのボランティア活動補助金を今後も継続していただけますようお願いいたします。</p>	<p>説明が分かりづらく申し訳ございません。「より広い団体の利用」とは、現在補助金を交付している団体以外にも市内で対象となる団体についても補助を行うという意味であり、そのために広報・周知をしっかりと行い補助制度の案内に努めます。その上で、補助が必要な団体に対し、ボランティア活動を行う中での活動費の一部を補助させていただき、事業を継続することとします。</p>
212	28	ボランティアグループ育成活動費助成事業補助金	<p>各団体により用途は異なるが、機材を必要とする団体においては貴重な活動費となっており、1台数十万するものもあり、修理であっても十万程度かかるもの新規購入となれば他の助成金申請等を行っても一部負担金があり、少しづつ修理購入費として積立ているところだが、助成金が減額になった際はそのような出費は負担して頂けるのでしょうか？</p> <p>福祉福祉ボランティアという障がい者支援はある程度人員が必要なところ高齢化もあり、会員確保に苦慮しているなか今まで通り支援を行うには会費値上げも必要になればさらに会員の増員が難しくなる。</p> <p>また、笠岡市ボランティアハウス連絡協議会・笠岡市福祉ボランティア連絡協議会の会費もこの助成金から支払い管理・運営・研修等を行っており、消耗品等の購入に充てている。印刷機・インク・用紙等負担いただいていることは大変助かっています。</p>	<p>補助が必要な団体に対し、ボランティア活動を行う中での活動費の一部を補助させていただき、事業を継続することとします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
213	28	ボランティアグループ育成活動費助成事業補助金	<p>笠岡手話サークルは全国初の手話サークル「みみずく」を参考に、手話を学びろうあ者(手話を第一言語とする聴覚障がい者)の良き理解者となり、すべての人に対する差別や偏見をなくしていくために努力をし、サークル活動を通じ自身も向上していくことを目的にしています。笠岡市の行事(講演会、全国手話言語市区長会手話劇祭、映画上映会、県・市スポーツ大会・市防災訓練など)はボランティアとして協力をしてきました。現在、会員は中学生～90代と幅広い年代の人がいます。活動の内容は時代の流れに合わせて変化していますが、奉仕の精神で笠岡市に協力し、ろう者と共に歩むという考えのもと50年近く活動をしています。活動が継続できるのは毎年いただいている補助金のおかげだと感謝しております。スキルアップや資質向上などの研修、将来を担う若手の養成のためにも補助金を変わりなく継続していただければ幸いです。</p>	<p>補助が必要な団体に対し、ボランティア活動を行う中での活動費の一部を補助させていただき、事業を継続することとします。</p>
214	28	ボランティアグループ育成活動費助成事業補助金	<p>当団体としては、「視覚障害者」は一定数おられるが、点字を触読出来る利用者は減ってきている中、「文字」としての情報を点字でどう伝えるのか?IT化も進む時代に合わせて点字を読み上げで利用してもらえようと機器購入に向け積立をしているところです。点字プリンターなど、専用の機器は1台が高額であり、点字1マスの故障につき1万・往復の送料を含めると1回修理に出すと十数万は必要となるが、現在使用しているプリンタは購入元が合併し修理対応も終了しており定年退職された職人さんが個人で対応している状況につき、故障時は新たに購入となるが他で助成金申請しても最低でも1割の負担がある。半減した予算から、積立と活動費等を捻出していくのは難しい。活動においてパソコン本体や活動時の自己負担もある中、さらに会費の値上げを行うのは負担。現在、毎年頂いている梶谷福祉基金も残り僅かとなり近い将来終了となる。サークル員の負担が増え活動が縮小されれば、視覚障害者である当事者が困ることにつながる。</p> <p>ボランティアハウスという活動拠点があり、印刷機・インク代・コピー用紙を負担して頂いている部分は助かっています。</p>	<p>補助が必要な団体に対し、ボランティア活動を行う中での活動費の一部を補助させていただき、事業を継続することとします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
215	28,29	心身障害者バス交通費助成事業委託料、はり・きゅう・マッサージ助成費、原子爆弾被爆者見舞金、重度心身障害者成人激励金、寝たきり身体障害者等介護助成費、身体障害者知的障害者交通費助成費、聴覚障害者用ミニファックス維持給付費、透析患者交通費助成費	<p>福祉基金は、平成元年竹下首相時代の全国の各市町村に1億円を配布する“ふるさと創成”の福祉版として、当時、国から各自治体へ社会的弱者支援の基金づくりとして数年間にわたり配当された原資による事業です。</p> <p>福祉のまちづくりを目指していた笠岡市はこの基金活用を創意工夫し、福祉団体、障がい者団体や被爆者団体等との熱い協議を繰り返し、平成3年頃から順次、身体障がい者、精神、知的障がい者等の日常生活支援に活用するため多くの応援事業を策定しました。一方的に市役所が作成したものでなく、そこには、それぞれハンデをお持ちの方々の熱い思いが込められているものです。</p> <p>例えば、「生まれた時から小児マヒで動けない。両親が在宅で支援、苦勞されながら成長を願い、その子が20才の成人を迎えます。成人式には参加させてやりたい血の通った行政を覚悟を持って実行されることを願っています。</p>	<p>厳しい財政状況の中、対象者が少数に限定されている事業は原則廃止といたしますことご理解いただきますようお願い申し上げます。御心配頂いています社会的弱者支援については、本市独自で実施している施策すべてを廃止するものではなく、福祉施策が後退することがないように努めてまいりたいと考えております。</p>
216	28	心身障害者バス交通助成事業委託	<p>地方路線維持補助金に統合 バスの本数が少なく利用価値に値しない</p>	<p>対象者のバス運賃の無料は継続しますが、対象となる方の利用実態を把握し、利用者によりよいサービスが提供できるよう事業の見直しを行います。</p>
217	28	心身障害者バス交通費助成事業委託料	<p>「地方バス路線維持補助金に統合して継続する」となっているが、こちらの方の金額が委託分相当料増えることはないのか？      今まで委託料0円でやってきていたのならわかるが、委託料がかかっていたのなら統合先の事業費が増えるのではないのか？      この資料では”現行のとおり継続する“となっていて増えるかどうかかわからないと言うより検討されていないのではないのか？      委託料分が0円で代行できるとも考えられない。</p>	<p>対象者のバス運賃の無料は継続しますが、対象となる方の利用実態を把握し、利用者によりよいサービスが提供できるよう事業の見直しを行います。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
218	28	はり・きゅう・ マッサージ助成費	<p>平成5年に始まり所得税非課税の方が対象でしたが、その後、住民税非課税の人になりました。</p> <p>施術者も廃業等で減少しています。しかしながら病院に行っても良くならない人、体調の悪い人は最後の砦として利用しています。その人たちは年金も少なく経済に苦労されています。</p> <p>業者としてもできるだけ負担を軽くするため、割引とかその他の方法で対処しています。島から来られる人もあり、また、視力障がい者が自律するためにも継続してほしいと思います。</p> <p>体調が悪く経済も苦しいが少しでも元気になりたい、元気でいたい人や障がい者が自律でき、目的をもって生活ができるよう是非とも継続してほしいと思います。</p>	<p>はり・きゅう・マッサージは健康面を支える意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中でやむなく廃止といたしました。御理解いただきますようお願い申し上げます。</p>
219	28	はり・きゅう・ マッサージ助成費	<p>せめて低所得者と障がい者には。</p>	<p>はり・きゅう・マッサージは健康面を支える意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中でやむなく廃止といたしました。御理解いただきますようお願い申し上げます。</p>
220	28	はり・きゅう・ マッサージ助成費	<p>利用者の減少傾向・・・とあるが本当に必要な人にとっては無くなるのは痛手だと思う。少数だからこそ大切にしなければならないのではないか。</p>	<p>はり・きゅう・マッサージは健康面を支える意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中でやむなく廃止といたしました。御理解いただきますようお願い申し上げます。</p>
221	29	重度心身障害者成人 人激励金	<p>障害児として生まれ、短命であると宣告されながらも、家族に見守られ成人式を迎えることが出来ることは、本人・家族のどれだけの喜びであるか、24時間365日介護することの大変さを理解しての廃止でしょうか？実施している自治体が少ないから、実績が僅かであるからこそ残して欲しい事業です。行政運営・政治の理念は“社会的弱者を支援する”という立場を一番大切にして欲しいと願うばかりです。ご一考願います。</p>	<p>厳しい財政状況の中、対象者が少数に限定されている事業は原則廃止といたしますことご理解いただきますようお願い申し上げます。御心配頂いています社会的弱者支援については、本市独自で実施している施策すべてを廃止するものではなく、福祉施策が後退することがないように努めてまいりたいと考えております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
222	29	重度心身障害者成人 人激励金	<p>「過去の実績がわずかである」障がいのある人は少数であり、この理論でいくと障がいのある人の意見は何も通らないと思います。</p> <p>重い障がいのある人が成人を迎えるということは、特に医療的ケア児については、当たり前のことではありません。命の危機や数々の困難を超えて迎える節目を市として祝ってほしいです。</p>	<p>厳しい財政状況の中、対象者が少数に限定されている事業は原則廃止といたしますことご理解いただきますようお願い申し上げます。御心配頂いています社会的弱者支援については、本市独自で実施している施策すべてを廃止するものではなく、福祉施策が後退することがないように努めてまいりたいと考えております。</p>
223	29	寝たきり身体障害者等 介護助成金	<p>障害児として生まれ、短命であると宣告されながらも、家族に見守られ成人式を迎えることが出来ることは、本人・家族のどれだけの喜びであるか、24時間365日介護することの大変さを理解しての廃止でしょうか？実施している自治体が少ないから、実績が僅かであるからこそ残して欲しい事業です。行政運営・政治の理念は“社会的弱者を支援する”という立場を一番大切にしたいと願うばかりです。ご一考願います。</p>	<p>厳しい財政状況の中、対象者が少数に限定されている事業は原則廃止といたしますことご理解いただきますようお願い申し上げます。ご心配頂いています社会的弱者支援については、本市独自で実施している施策すべてを廃止するものではなく、福祉施策が後退することがないように努めてまいりたいと考えております。</p>
224	29	寝たきり身体障害者等 介護助成費	<p>低所得者だけでも。</p>	<p>厳しい財政状況の中、対象者が少数に限定されている事業は原則廃止といたしますことご理解いただきますようお願い申し上げます。ご心配頂いています社会的弱者支援については、本市独自で実施している施策すべてを廃止するものではなく、福祉施策が後退することがないように努めてまいりたいと考えております。</p>
225	29	寝たきり身体障害者等 介護助成費	<p>廃止は不賛成。</p> <p>介護の経験から、こういった助成金は非常に助かる面があることをお伝えしたい。</p> <p>寝たきりの身体障害者がいれば介護する方も24時間束縛されて収入を得るような仕事に就くわけにはゆかない。こうした時に助成金があれば生活の足しにすることができ、大変ありがたかった。</p> <p>今、何かにつけて物価も上がり、食品などもかなりの値上がりとなっている、こうした時に補助してもらえるのは非常にうれしいことです。</p> <p>実施している自治体が無くても笠岡の手厚いサービスがうれしかったです。</p> <p>こういったサービスは利用者が少なくても受けられるように残してほしい。</p>	<p>厳しい財政状況の中、対象者が少数に限定されている事業は原則廃止といたしますことご理解いただきますようお願い申し上げます。ご心配頂いています社会的弱者支援については、本市独自で実施している施策すべてを廃止するものではなく、福祉施策が後退することがないように努めてまいりたいと考えております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
226	29	聴覚障害者用ミニファックス維持給付費	続けてください。	厳しい財政状況の中、対象者が少数に限定されている事業は原則廃止といたしますことご理解いただきますようお願い申し上げます。ご心配頂いています社会的弱者支援については、本市独自で実施している施策すべてを廃止するものではなく、福祉施策が後退することがないよう努めてまいりたいと考えております。
227	29	聴覚障害者用ミニファックス維持給付費	福祉基金はともかくとして、「寄付」を組み込むのは問題がありはしないか？	福祉基金を活用しつつ、事業に賛同いただける方からの寄附も募ることで、事業継続のための財源を確保したいと考えております。
228	29	聴覚障害者用ミニファックス維持給付費	FAXでないと連絡が出来ない。継続して下さい。	聴覚障害者用ファックス維持費助成事業につきましては対象者を見直し、事業を継続することといたしました。
229	29	障害児通所給付事業	<p>「一部見直し」として、「事業内容を見直し、事業費を削減して継続する。」とありますが、この事業は、児童福祉法に基づくものであり、事業の見直しは厚生労働省が行うものです。</p> <p>「発達に課題がある」お子さんであれば、医師の意見書があれば、1.市町村の窓口で手続き相談をする</p> <p>2.障害児支援利用計画（案）を作成する</p> <p>3.障害児支援利用計画（案）の提出</p> <p>4.審査→受給者証の交付</p> <p>の流れとなります。このため、「事務事業の適正化を図り、継続する。」などの表現がよいと思います。</p> <p>また、障害児支援利用計画（案）の作成は、相談支援専門員が作成することとなります。児童にとって必要な療育となるためには、相談支援専門員の資質の向上が重要だと思いますので、事業所の運営指導にも力を注いでいただきたい。</p>	<p>制度創設以来、利用者、費用、事業所の数が大幅に増加している中、支援内容の適正化と質の向上が求められております。</p> <p>ご意見のありましたとおり制度自体の見直しは国が行いますが、障害児通所支援の給付決定は、市町村が、決定することとしているため、利用者に格差を生じさせないための支給量の平準化や、支給決定内容の透明性の確保を図る観点から笠岡市独自の指標を設けたいと考えております。</p> <p>本市独自の指標を設け、適正なサービス量を保つことで、効果的に必要な療育を受けられる環境づくりをすすめてまいります。</p> <p>また、障害児の家族の就労支援または介護者の一時的な休息を目的とする場合には、地域生活支援事業の日中一時支援事業や、一般施策（保育所・放課後児童クラブ・ファミリーサポートセンター等）等を併行利用できる機会が確保できるよう保育所等訪問支援の活用など、進めていきたいと考えております。</p> <p>単なる居場所だけではなく療育の質向上のために、計画相談事業、通所事業所及び市の3者で情報交換・伝達、研鑽できる場などあらゆる機会の提供に今まで以上に努めてまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
230	29	障害児通所給付	<p>国や県の補助がある事業を削減するのはやりすぎだと思う。国や県の補助に対する負担率はクリアできる金額なのか？この辺りが説明されていないので判断ができない。削減には賛成できない。</p>	<p>国や県の補助もありますが、制度創設以来、利用者や事業所の数が大幅に増加し、本市の負担も大きく増加していることから、支援内容の適正化と質の向上が求められております。</p> <p>障害児通所支援の給付決定は、市町村が、決定することとしているため、利用者に格差を生じさせないための支給量の平準化や、支給決定内容の透明性の確保を図る観点から笠岡市独自の指標を設けたいと考えております。</p> <p>本市独自の指標を設け、適正なサービス量を保つことで、効果的に必要な療育を受けられる環境づくりをすすめてまいります。</p> <p>また、障害児の家族の就労支援または介護者の一時的な休息を目的とする場合には、地域生活支援事業の日中一時支援事業や、一般施策（保育所・放課後児童クラブ・ファミリーサポートセンター等）等を併行利用できる機会が確保できるよう保育所等訪問支援の活用など、進めていきたいと考えております。</p> <p>単なる居場所だけではなく療育の質向上のために、計画相談事業、通所事業所及び市の3者で情報交換・伝達、研鑽できる場などあらゆる機会の提供に今まで以上に努めてまいります。</p>
231	29	障害児通所給付	<p>「障害児通所給付」について、見直し内容が「事業内容を見直し、事業費を削減して継続する」となっております。</p> <p>「事業費」とはどういったものなのか明確にわかりませんが、文面から「給付費」も削減されるのかと不安に思っています。</p> <p>サービス利用が望ましいお子さんにとって必要なサービスが必要なだけ受けられることが大切かと思えます。サービスの質を担保し、適正なサービスを受けられるように体制を維持していただきたいと思えます。</p>	<p>制度創設以来、利用者、費用、事業所の数が大幅に増加している中、支援内容の適正化と質の向上が求められております。</p> <p>障害児通所支援の給付決定は、市町村が、決定することとしているため、利用者に格差を生じさせないための支給量の平準化や、支給決定内容の透明性の確保を図る観点から笠岡市独自の指標を設けたいと考えております。</p> <p>本市独自の指標を設け、適正なサービス量を保つことで、効果的に必要な療育を受けられる環境づくりをすすめてまいります。</p> <p>また、障害児の家族の就労支援または介護者の一時的な休息を目的とする場合には、地域生活支援事業の日中一時支援事業や、一般施策（保育所・放課後児童クラブ・ファミリーサポートセンター等）等を併行利用できる機会が確保できるよう保育所等訪問支援の活用など、進めていきたいと考えております。</p> <p>単なる居場所だけではなく療育の質向上のために、計画相談事業、通所事業所及び市の3者で情報交換・伝達、研鑽できる場などあらゆる機会の提供に今まで以上に努めてまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
232	30	生活困窮者自立支援事業	国や県の補助がある事業を削減するのはやりすぎだと思う。国や県の補助に対する負担率はクリアできる金額なのか？この辺りが説明されていないので判断ができない。削減には賛成できない。	<p>生活困窮者自立支援事業の支援メニューの一つに就労準備支援事業があります。就労準備支援事業は、生活困窮者や被保護者を対象に、生活習慣の形成のための指導・訓練、就労の前段階として必要な社会的能力の習得、事業所での就労体験の場の提供や、一般雇用への就職活動に向けた技法や知識の取得等の支援の3段階で捉え、一人ひとりに応じた支援を行っております。</p> <p>就労準備支援事業の国の補助率は3分の2で、事業費に応じた国の補助となっておりますので、負担率のクリア等の問題が発生することはありません。また、就労準備支援事業については、代替案として近隣の井原市、浅口市も参加している「岡山県被保護者等就労準備支援事業実施要綱」に基づく「岡山県被保護者等就労準備支援事業」に参加させていただき、事業を実施することを検討しております。</p>
233	30	社会福祉協議会補助金	地域の福祉委員は、すべてボランティアで活動しており支え合い活動等かなり負担もある。社協の補助金の廃止により、さらに運営が厳しくなることも考えられるので、十分に検討を尽くしてほしい。	社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。
234	30	社会福祉協議会補助金	<p>社会福祉協議会関係ですが、細かい事業の内容が把握しにくい書き方となっています（全てにおいて感じる）ので、纏めての意見となりますが、一番危惧するのは、鳥しょ部の居宅介護サービス・訪問介護サービス事業についてです。当事業を市直営から社協委託にする時点で、民間参入の難しい事業であり赤字部分は、市が補填するとの事であったと記憶していますが、令和4年度から補填率50%となっており、2年間で市社協の持ち出しは1,000万円になっています。鳥しょ部の高齢化率は上がる一方であり、高齢な方の一人暮らし、高齢者夫婦での二人暮らしの世帯が殆どで、介護が必要となった時の家族の介護力は低下しています。出来る限り住み慣れた場で住み続けるためには、居宅介護・訪問介護事業は無くしてはならない事業です。民間事業所の参入が難しい鳥しょ部にとって、一番必要な命に繋がる事業です。持続可能な居宅・訪問介護事業所として下さい。</p> <p>また、現在NPO法人が運営しているデイサービスを利用するにも居宅介護事業所無しでは成り立ちません。今一度、行政として鳥民の暮らしを守るために何をすべきかをお考えいただきますようお願いいたします。</p>	<p>社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p> <p>社会福祉協議会の介護サービス事業所の運営については、いただいた御意見を参考に、これまで以上に市が協力するとともに、歩調を合わせて鳥しょ部介護サービスの継続を図ってまいりたいと考えます。その上で赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
235	30	社会福祉協議会補助金	<p>財政健全化プラン（素案）では、「補助基準が明確でないため廃止とする」とあるが、他の事業でも「他市の状況を鑑み」とあるように、県内他市で同様の補助が行われているのであれば、補助金としてゼロにするのは間違いではないのか。また、廃止の理由に「補助基準が明確でない」としているが、他市の補助基準も確認したうえで、今回の対応としたのか。</p> <p>今回の補助金廃止とは逆に、令和6年度を始期とする以下の3つの計画に「笠岡市社会福祉協議会との連携」に関する記述が随所に見られるが、今回の財政健全化プラン（素案）により、該当部分について修正すると考えればよいか。修正するならば、具体的にどのように修正されるのか考え方を示してもらいたい。</p> <p>「第3次笠岡市地域福祉計画」、「第5次笠岡市障がい者福祉計画・笠岡市障がい福祉計画（第7期）・笠岡市障がい児福祉計画（第3期）」、「笠岡市高齢者福祉推進計画・笠岡市介護保険事業計画（ゲンキプラン21）」</p>	<p>社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p> <p>また、社会福祉協議会との連携は方向転換することなく、歩調を合わせ笠岡市の福祉を推進してまいります。</p>
236	30	社会福祉協議会補助金	<p>「事策見直しの視点」において、「市民の安心安全を守るためにも必要なサービスに十分留意し、さらなる選択と集中を進めるために、聖域を設けず、あらゆる事業をゼロベースから徹底的に見直します。」とありますが、以下について、市の考え方を示していただきたい。</p> <p>社会福祉協議会補助金について、「廃止：補助基準が明確ではないため廃止」とありますが、市は補助基準を作成していないのか。市が行政目的をもって補助金額を算出しているのではないのか。行政の責任を補助対象者に転嫁するような記述をしているのは、こういった意図があるのか。</p> <p>「委託事業については、適切な積算により継続する」とありますが、市は令和7年度以降、事業内容にある「地域福祉活動の推進」を委託事業として法人等に委託又は市直営で実施するという認識でよいか。また、市財政健全化プラン全体を通して、当該補助金に対してのみ「適切な積算」と記載しているのは、こういった意図があつてのものか。</p> <p>「地域福祉活動の推進」する社会福祉協議会補助金を「廃止」とする一方で、「運営及び事業実施に対して補助」を行う「シルバー人材センター補助金」、「市と連携を強化することにより、市民の健康づくり、疾病予防の推進を図る」の「医師会歯科医師会補助金」は、「継続：現行のとおり継続」とあります。社会福祉法に位置付けられ、かつ、地方交付税の算定基礎とされ、全国的に国から財源の措置までされている福祉活動専門員を配置する「社会福祉協議会」の「地域福祉活動の推進のため」の補助金を「廃止」する意図は何か。聖域を設けず、あらゆる事業をゼロベースから徹底的に見直す」のであれば、同様に、この2団体に対する補助金についても「廃止」とすべきではないか。</p> <p>最後に、第7次笠岡市総合計画、第3次笠岡市地域福祉計画の双方に「笠岡市社会福祉協議会との連携強化」とありますが、市の総合的かつ計画的な市政運営を行うための基本計画等に位置付けされている事業に関する補助金を「廃止」することは、市の施策を方向転換するという認識でよいか。あるいは、「地域福祉活動の推進」を補助金という形ではなく、財源がある無しに関係なく、行政の責任として実施することを前提とした業務委託として「地域福祉活動の推進」を図り、積極的な支援や情報の共有を行うなどで連携を強化していくこととするのか。</p>	<p>社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p> <p>また、社会福祉協議会との連携は方向転換することなく、歩調を合わせ笠岡市の福祉を推進してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
237	30	社会福祉協議会補助金	笠岡市における福祉政策の展開において社会福祉協議会の日頃果たす役割は大きく、市の担当部門と同協議会は正に“車の両輪”の如き関係で動いている。同協議会関連はもとより、福祉政策の実施に関する事項については慎重な対応を求める。	社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。
238	30	社会福祉協議会補助金	補助金全額がカットされていますが、来年度から社協の地域福祉活動を一切しなくてもよいということでしょうか？もともと社協にはお金がありません。補助金が全額カットされるということは今まで行っていた地域福祉活動（ボランティア・地区サロン・災害ボラ等）が出来なくなるという事です。	社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。
239	30	社会福祉協議会補助金	削減には賛成できない。社協から事業の継続が難しくなると申し入れがあったとニュースで聞きました。「委託事業については適切な積算により継続する」とありますが、継続分の財源が示されていません。削除分だけでなく、継続に必要な財源を考えれば効果額が変わると思う。数字が独り歩きしていないか？委託事業が無料では委託継続は出ないと思うが。関係する団体などと事業の継続について詰めた後の数字を提示して欲しい。今まで事業を行ってきたところの現状も聞かずに一方的に削減ではつじつまが合わなくなるでしょう。	社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。
240	30	社会福祉協議会補助金	益々高齢者が増えることが予想される。「委託事業については適切な清算により継続する」とあるが、市からの補助なしで社協からの補助金だけで活動しなさい。ということなのでしょうか。地区によりばらつきがあると思う。活動すればするほど足りなくなる。やりたい事があってもしなくて良い・・・ということ?!今までの活動は出来なくなるという事であれば、高齢者が益々増える中で何が出来るか?!違った形の活動、お金がなくても出来る活動の指導や方針も打ち出してほしい。	社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。
241	30	社会福祉協議会補助金	今まで出してきたのは、どう考えて払っていたのでしょうか。補助基準が明確でないといっても、この補助金が社協では何にどう使われたか。なくなれば、高齢者、障害者など支援を必要としている人たちを助ける社協の運営に影響が大きいのではないかと。	社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
242	30	社会福祉協議会補助金	<p>地域福祉活動を実施するには、地域福祉活動を地域福祉活動専門員（コーディネート）する人材が必要と思うが、その役目は従来社会福祉協議会が担ってきたと思うが、補助金を廃止するという事は、笠岡市としては地域福祉活動専門員の活動には、財源支援が必要ないと判断したこととでよいのか。また、必要ないと判断した場合、今後のコーディネーターはどこが担うとお考えか。社会福祉協議会補助金の中には、笠岡市と笠岡市社会福祉協議会が取り交わした、笠岡市災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定書第7条記載の、平常時における体制整備に係る費用が含まれていると認識をしているが、補助金が削減されたということは、社会福祉協議会の自主財源により人員及び体制を確立をすることでよいのか。また、社会福祉協議会の自主財源で体制を確立するとなれば、今までと同様の体制を確立することは不可能となるが、市はどのような体制を想定しているのか。社会福祉協議会の補助金を廃止した場合は、今後は社会福祉協議会とは業務委託契約による協働関係ということとでよいのか。</p>	<p>社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p>
243	30	社会福祉協議会補助金	<p>廃止理由として「補助基準が明確でないため」となっていますが、廃止ではなく基準を設けて継続してほしいと思います。市職員の行き届かない部分を社協職員や地域ボランティアが代わって地域で広範囲に渡って状況を把握し、見守り、関係機関に繋いだり細かく対応していると思いますので。もし、社協への補助金が廃止になった場合、地域でボランティアで高齢者の支援を行っている事業は破綻してしまうのではないのでしょうか。市職員が今まで社協が行ってきた細かい対応をするためには職員を増やす必要が出てくると思います。そうすると人件費削減どころか人件費増加になってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p>
244	30	社会福祉協議会補助金	<p>「委託事業については適切な清算により継続する。」とあるが、市からの補助なしで社協の中で活動しなさい。ということなのでしょう。今までの活動は出来なくなるという事であれば、高齢者が益々増える中で需要も増えると考えられる中で何が出来るか？違った形の活動の指導や方針も打ち出してほしい。</p>	<p>社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p>
245	30	社会福祉協議会補助金	<p>廃止は無し。100%継続。市長・市議報酬カット分を福祉に充てればよい。補てんをするという条件で市事業から社協に移した事業が多くあり、今更その条件を反故にするのなら市事業に戻さなくてはならない。市では無理だから社協にお願いしたのではないのでしょうか。</p>	<p>社会福祉協議会補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
246	30,31	社会福祉協議会補助金 ささえあい活動助成事業補助金	行政がすべき福祉と民間が受益者負担とすべき福祉の棲み分けをしっかりとしてほしい。補助金頼みの事業は運営側の経営改善努力を求めるべき。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
247	30,3 1	社会福祉協議会補助金 ささえあい活動助成事業補助金	<p>市民の福祉に責任を負うべきは行政であり、それが行政で出来ない為に社会福祉協議会に委託し補助金を出してきたのではないですか？地域に出向いて住民の見守り活動、集いの場運営、障害者、高齢者とのコミュニケーション作り、健康相談等、社協の持つ役割は大きな物と感じます。補助金が削除されたとしたら、この活動は市の職員さん達が地域に出向き担って下さるのでしょうか。離島の高齢者が介護にならないよう予防に力を注いで行く為には、高い運賃を払って自分から陸へ出向き自主努力をしないといけないのですか？社協の職員さん、社協支部が連携し合っていつまでも元気で楽しく島で暮らす為には高齢化して地域だけでは無理です。これからどのような考えで地域福祉を進め支えていこうと思っておられるのかをお聞きしたいです。</p> <p>居宅、訪問看護ステーションの存続は大きいです。島の介護をどの様にお考えでしょうか？最後の最後まで島で暮らしたい！ご本人やご家族の望みを叶える為に、行政との協働という形でデイサービスを立ち上げました。デイサービスと訪問介護、地域の支えがあれば、何とか島で暮らせます。介護支援がなくなれば、殆どの介護の方は施設入所になるでしょう。そうなると介護保険料の負担は500万円や600万円増額では済まないでしょう。島の現状を見て、把握して下さい。このままでは島は切り捨てとしか思えないです。</p> <p>高い船賃、時間のロス等を考えると民間の居宅が介入してくれるとは思いません。行政が運営出来ないから社協に委託した。赤字部分は補填するので社協は受けたと聞いたことがあります。担当者が変わったから、知らない。は市民として許せないです。どうか住み慣れた島で最後まで暮らせる事が出来ますようにお願いします。ずっと福祉の笠岡市が自慢でした。</p>	<p>社会福祉協議会補助金とささえあい活動助成事業補助金については、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p> <p>社会福祉協議会の介護サービス事業所の運営については、いただいた御意見を参考に、これまで以上に市が協力するとともに、歩調を合わせて島しょ部介護サービスの継続を図ってまいりたいと考えます。その上で赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>
248	30	敬老会事業	<p>プラン別冊では「事業のあり方を見直し、事業費を削減する」と書いてありますが、具体的にどういった見直しですか？実行委員会を廃止して委託料を支払わないということは、市が直接敬老会を開催してくれるということですか？もし敬老会そのものをやめてしまうというのなら、長年にわたり社会の進展に寄与した高齢者を敬う気持ちよりも、高齢者の福祉の増進を図ろうとする気持ちよりも、お金が大切だといっているように思えてしまいます。具体的な内容が分からないことには判断ができませんので、見直しの内容を具体的に記載してほしいと思います。</p>	<p>長年地域の皆様に支えられた、高齢者を敬い長寿を祝うという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止としております。今後は、80歳、88歳、90歳、99歳の方に、市からお祝いのメッセージカードをお届けすることを検討しております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
249	30	敬老会事業	子供達のために明確に使うのであれば、廃止もやむなし。3年か5年毎に開催することは考えられないか。	長年地域の皆様に支えられた、高齢者を敬い長寿を祝うという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止としております。
250	30	敬老会事業	今までは記念品などを出していたが、それもやめると言う事なら財源の差は何かわからないので、残りに対する判断ができない。辞めるなら全部を辞めたいと思う。「笠岡市では敬老会を行ってお年寄りを敬うようなことはしません。背に腹・銭には代えられない」というわけですか？	長年地域の皆様に支えられた、高齢者を敬い長寿を祝うという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止としております。
251	30	敬老会事業	敬老会を見直すことに賛同します。ただし、やめることの周知を広く徹底させ、今まで携わった人々・組織に迷惑をかけないようにお願いします。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
252	30	敬老会事業	敬老会は大幅削減となっているが、多年にわたり社会につくしてきた高齢者を敬愛し長寿を祝うために開催方法を見直すなどで可能な限り存続してほしい。	長年地域の皆様に支えられた、高齢者を敬い長寿を祝うという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止としております。
253	30	敬老会事業	予算、減らし過ぎだと思います。コロナ禍が落ち着き令和6年から対象者すべてに案内を送り開催を再開しました。祝品はコロナ禍中も対象者すべてに配布しています。ここまで減らされると祝品すら配布が出来なくなります。	長年地域の皆様に支えられた、高齢者を敬い長寿を祝うという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止としております。
254	30	敬老会事業	事業は形骸化し、既得権益の色合いが濃く、敬老会加入者（会員）が助成支援の対象で、未加入者は支援対象外扱いのため不公平感があります。今後、対象者が増加、生活様式の変化に対応した開催には財政（助成金）負担等が増えます。財政健全化プランの趣旨から、本事業は廃止。各地区敬老会は主体的に事業のあり方を見直す。	長年地域の皆様に支えられた、高齢者を敬い長寿を祝うという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止としております。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
255	30	敬老会事業	見直しということですが、会場代や会場までのバス代はどうなるのでしょうか。会場代やバス代の補助があれば地区で開催することが可能ですが、それを廃止するととなると地区での開催は困難です。地区での開催を楽しみにしておられる方がいらっしゃるので、そこの補助はお願いしたいです。	市として敬老会事業を廃止としますので、会場代・バス代の補助につきましては対応いたしかねます。御理解くださいますようお願いいたします。
256	30	敬老会事業	敬老の日（記念品は無駄）	長年地域の皆様に支えられた、高齢者を敬い長寿を祝うという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止としております。
257	30	緊急通報装置設置事業	補助金の削減はありませんが、昔からある事業で現状にあった事業ではないような気がします。消防署に繋がるペンダントは、壁にかかりっぱなしの人も多いです。1人暮らし高齢者の気持ちの安心材料にはなるとは思いますが、実用性は乏しいと思います。今後、見直しが必要だと思えます。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
258	30	日常生活用具助成事業	見直し。低所得者だけでもお願いしたい。	厳しい財政状況から、従来の事業を維持することは困難と判断し、必要なサービスは、介護保険制度でのサービスを利用していただくこととして事業を整理しておりますので、御理解くださいますようお願いいたします。
259	30	日常生活用具助成事業	過去の実績がわずかであっても残すべき事業だと思います。昨今の物価高で庶民の暮らしはますます苦しくなっている。もしこのようなサポートがあることが分れば利用者も増えるかもしれない。高齢者サポートに対する周知がおざなりになっているから知らない人がいるので実績数字として挙がってこないのではないかと考えた事はありませんか。	厳しい財政状況から、従来の事業を維持することは困難と判断し、必要なサービスは、介護保険制度でのサービスを利用していただくこととして事業を整理しておりますので、御理解くださいますようお願いいたします。
260	31	家族介護慰労金支給事業	見直し。低所得者だけでもお願いしたい。	厳しい財政状況から、従来の事業を維持することは困難と判断し、必要なサービスは、介護保険制度でのサービスを利用していただくこととして事業を整理しておりますので、御理解くださいますようお願いいたします。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
261	31	家族介護慰労金支給事業	<p>廃止は不賛成。私の介護の経験から、こういった助成金は非常に助かる面があることをお伝えしたい。寝たきりの身体障害者がいれば介護する方も24時間束縛されて、収入を得るような仕事に就くわけにはいかない。こうした時に助成金があれば生活の足しにすることができありがたかった。今、何かにつけて物価も上がり、食品などもかなりの値上がりとなっている。こうした時に補助してもらえるのは非常にうれしいことです。実施している自治体が無くても、笠岡の手厚いサービスがうれしいです。年金の年齢にはまだまだ遠く、たくわえを取り崩しての生活でした。そういったときにこういった助成があり大いに力になりました。笠岡独自のサービスが色々あった時代で随分助けられました。また見直し内容に「介護保険事業の対象者に限定することとし…」はどういう意味か訳が分かりません。介護保険ではこのような金銭的な生活サポートは受けられません。ましてや介護を行う家族に対するサービスなどはありません。もっと分かり易く説明してください。こういったサービスは利用者が少なくても受けられるように残してもらいたい。</p>	<p>厳しい財政状況から、従来の事業を維持することは困難と判断し、必要なサービスは、介護保険制度でのサービスを利用していただくこととして事業を整理しておりますので、御理解くださいますようお願いいたします。</p>
262	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>一部見直し。高齢者が少なく交流する場も少ない島では月に2度あるサロンには補助金を。</p>	<p>サロン活動に係るささえあい活動助成事業補助金については、対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。当面補助金額は1/2としますが、社会福祉協議会と協議を行い、今後事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な交付を行ってまいります。</p>
263	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>原則1/2の廃止は不賛成。本当に1/2削減し効果のある事業ができるのか、これも福祉の後退。「重層的支援体制整備事業とし財源を確保して継続する」とあるが相手の事業はどこに計上されていますか？また財源は確保されていますか？何もわかりません。原則に何の意味があるのか？事業が成立するのかどうかとかも検討しないでバツサリ1/2カットは本末転倒。数字合わせにきゅうきゅうとし福祉の理念が忘れられていませんか？</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
264	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>NPO法人ハーモニーネット未来ふれあい助けあい事業（家事支援として食事作りを毎週1回）を利用しています。今後利用回数を増やそうと考えていたところ。家事全般に加え食事作りが最も負担が大きく、今までやってこれたのは家事支援があったからです。高齢者2人暮らしを続けるにはハーモニーネット未来の「ふれあい・たすけ愛サービス事業」の継続としていただきたいです。利用している「ふれあい会員の活動者さん」には謝礼をしていますが、実質最低賃金にほど遠く、「運営費」は市からの助成金が頼みです。笠岡市の福祉活動には満足していましたが、財政健全化での福祉後退は残念です。100歩譲って補助の見直し「いちかゼロ」はないです。半減も事業継続できなければゼロです。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
265	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>社会福祉協議会の各支部は、市社協からの補助金と社協職員との協働により、ボランティアで地域福祉活動を行っています。地域住民の見守り・声かけ・集いの場・健康維持の取り組み等を通じ、介護予防の大切な一端を担っていると思います。その活動資金となる市社協の補助金額を二分の一に見直すというお考えは、物価高騰の今、社協支部の活動も二分の一で良いというお考えなのでしょうか？高齢者が高齢者の見守りをしている状況の中で、ボランティアによる地域福祉活動を否定しているとは思えません。特に、島しょ部においては配食サービスも、日々の買い物が出来ない商店が無い島、高齢により廃業する商店が増えていきます。そうした中で社協支部の活動は、益々必要になってくると思います。ご一考願います。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
266	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>これから益々高齢者、ひとり暮らしが増える中で、福祉や見守り、支援が必要になってくると思う。重層的支援とは何なのか具体的に教えてほしい。手作り弁当の温かさは伝えられなくなるんだと思うと受ける側も訪問する側も、とても寂しい。もっと大切な近隣の普段からの見守りや支援の方法を指導していくことは大変な作業になると思う。しかし、訪問の手段としてお弁当や飲み物、菓子を持っていく事は（手ぶらで訪問しにくく笑顔になれない）相談や話すきっかけになりやはり大切だと思う。やる気を削がれた感がとても強い。</p>	<p>重層的支援体制整備事業とは、単独の機関では解決できない複雑化・複合化した生活課題を持つ方を支援する体制を整備する事業になります。ささえあい活動も高齢者等の様々な生活課題を解決・支援していくことが目的にありますので、この事業に財源を求めることを考えています。その上で、ささえあい活動助成事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
267	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、ふれあいたすけ愛があったことで、困った時に助かりました。無くなったら市は同じことをしてくれますか？たくさんの方が助けられているのに、無くなれば会員は困りますよ。市議のみなさんは、市民の困ったことをどうしてくれますか？</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
268	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、ふれあいたすけ愛の皆様には上の子が小学生の頃からお世話になっています。マイペースでのんびりな子だったので、いつも送迎バスに間に合わず、イライラしっぱなしでしたが、そんな時、ふれあいさんがバス停までの送迎をしてくれてなんとか乗り切ることができました。でも、こだわりの強い子で言葉も出ず、育児に疲れてイライラをぶつけてしまい、大きくなるにつれ暴力をふるうようになり、バスにも乗れなくなりました。送迎中も暴れて怖かったので相談員の先生に頼んで探してもらいましたが、サービスがなく体が大きくなって情緒の安定しない子を乗せられる人は本当に限られていて、ふれあいさんで見つかったと知らせをもらったときは本当にホッとしました。今、上の子はとても落ち着いてきましたが、今度は下の子（2人とも自閉症）が大変になってきていて、ふれあいたすけ愛さんがなくなると私たち家族は本当に困ります。死活問題です。絶対になくなっては困ります！どうぞよろしく願います。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
269	31	ささえあい活動助 成事業補助金	認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、この事業がなくなると今までしていただいた事がこれから困難になります。よってこれからも、ずっと続けていただければ、有難いと思います。	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。
270	31	ささえあい活動助 成事業補助金	認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、困った！と思うときは「お互いさま」の精神で、すぐ対応して下さるこのような肩肘張らず、頼みやすく、融通のきく民間のサービス機関が市内にあるというだけで安心感がわきます。私は設立当初から利用させていただいていますが、10年以上もお付き合いが続くと家族同様の近さを感じています。今では親戚縁者が近くにいないので最期の看取りもお願いしたいくらいです。残念ながらハーモニーネット未来はまだ市内の誰もが知るサービス機関になってはいませんが、次第に浸透して自立できれば、補助金は不要になるとは思います。それまではまちづくり協議会と同様にハーモニーネット未来も補助金を大胆にカットすることなく成長の手助けをよろしくお願い申し上げます。	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。
271	31	ささえあい活動助 成事業補助金	ささえ愛事業では島民の見守り、集いの場の運営、健康体操など、補助金が活動の資金です。そして社協職員との連携で島の福祉活動が行えていると思っています。島で安心して生活ができるよう、今までどおりの補助金の継続をお願いします。	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。
272	31	ささえあい活動助 成事業補助金	認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、夫は自分で歩くのも難しく、私が入院した時等はふれあい愛に手助けしてもらい、夫ともども乗り越えました。日常的にも、家事など、手伝いをしてもらっており、この組織がなければ、暮らしは非常に困ることになります。介護保険だけでは、暮らしていくのは困難です。是非この事業は存続できるようお願いします。	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
273	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、医療行為に必要な重度重複障害の子どもを育てていますが、支援学校のスクールバスには、たとえばほとんど必要のない痰の吸引でも、時に必要となると乗せてもらえません。毎日、家族が9時頃送るとなると正規の仕事にはつきません。障害児の親も仕事したいのです。一生続く介護生活。今くらい、普通に働きたいです。助けてくれる所は、他にありません。欲しいのは、少しの手当て金ではなくて、手助けをしてくださる人です。健常児の子を育てるより、何倍も人の手助けを必要としています。家族だけで育てるのは、体も心も限界です。どうかたすけ愛サービス事業が継続できるように、補助金を減らさないでください。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
274	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>ささえあい活動助成事業補助金が1/2に削減される。伴って重層的支援体制整備事業として財源を確保・・・とある。</p> <p>◎これから益々高齢者が増える中で、福祉や見守り、支援が必要になってくると思う。重層的支援とは何なのか具体的に教えてほしい。</p> <p>また、福祉はお金ありき！ではなく【福祉とは？！福祉の根本】もっと大切な近隣での普段からの見守りや支援の方法を指導していくことが必要になる。大変な作業になると思う。</p> <p>訪問の手段としてお弁当や飲み物、菓子を持っていく事は（手ぶらで訪問しにくく笑顔になれない）相談や話すきっかけになり、やはり必要だと思う。</p>	<p>重層的支援体制整備事業とは、単独の機関では解決できない複雑化・複合化した生活課題を持つ方を支援する体制を整備する事業になります。ささえあい活動も高齢者等の様々な生活課題を解決・支援していくことが目的にありますので、この事業に財源を求めることを考えています。その上で、ささえあい活動助成事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
275	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、私も利用しましたが、運営資金を笠岡市から補助金をいただいているので続けられると聞きました。今回の補助金50%カットされると事業を続けて行くことが難しいと聞き、笠岡市には今まで通りに補助を続けて、私たち利用者を助けて下さい。よろしくお願いします。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
276	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、これがなくなったら利用者が大変困る。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
277	31	ささえあい活動助成事業補助金	全国的に移動に関するニーズは非常に高く、笠岡市でも例外ではなく、高齢者の買い物、病院受診への同行などの活動が全体の50%を占め、doortodoorサービスとして必要性は高い。赤字事業ではあるが、子どもから高齢者、障がい者、若者、今を生きるすべての人が、誰しも願う住み慣れた自宅・地域で安心して自分らしく生活していくためにも重要で必要なサービスであると確信している。2分の1削減となっているが、コーディネーター1名・事務員2名の人件費確保が困難となり、事業の継続ができない。結果的に市民サービスの低下につながると考える。事業の継続のため、全額の補助金の継続を要望する。	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。
278	31	ささえあい活動助成事業補助金	無くなると困る人が多いので考えてほしい。	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。
279	31	ささえあい活動助成事業補助金	認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、介護、仕事、育児、家事におわれ、たすけ愛サービスに来ていただくことで生活も精神的にも助けられています。同じように頼るべき所、人がいない人がたくさんいるかと思います。1/2になると活動が難しくなり困る人が多くいます。	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。
280	31	ささえあい活動助成事業補助金	認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、この事業が半額になる理由がわかりません。その根拠は何でしょうか？この事業を担う人(コーディネーター・提供会員)を半分にはできません。社会福祉協議会のチアサポーター事業の基準に合わないという理由で、日常の困りごとに対応してもらえず、苦勞されている方もおられます。市役所が直接支えてあげ的方法がありますか？	対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。 当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
281	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、ハーモニーネット未来で協力者としてお世話になり、6年目になり私自身も運転出来なくなって、通院、買い物等いずれお世話になる身になると思って、出来るだけ頑張って活動して参りましたが、色々条件も悪い中、市の補助で利用者様の負担が減ります。我が身がお願いする様になる時がいずれくると思うと、いつまでもハーモニーネット未来の活動が続いてくれればと思います。シルバー人材センター、チアサポートだけでは市民の満足を得られないと思います。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
282	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあいたすけ愛サービス事業について、私はふれあいたすけ愛サービス事業で、今までサポートする側の活動をしていました。しかしながら最近足腰が悪くなり思うように出来なくなりました。自分もいつかサポートされる側になるかと思っています。しかし、このふれあいたすけ愛が無くなると、それも出来ません。それに一番はこれを必要とされる方々が多くいらっしゃるということです。自分がサポートしていてそう思います。是非ともこのふれあいたすけ愛を存在させて頂くよう市としても協力してもらえたらと思います。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
283	31	ささえあい活動助成事業補助金 (認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあい・たすけ愛サービス事業について)	<p>このサービスによって、週四日ペースで緑内障の点眼、補聴器の清掃などの補助をしてもらっています。要介護者にとって、このサービスがなくなることは、緑内障の進行や失明につながる重要な問題です。また補聴器の清掃補助がなくなると、音詰まりが発生して周囲とのコミュニケーションが取れなくなり、孤立化(孤独)が進んでしまいます。清掃を行っても、音が聞えにくい現状ですから、清掃がなくなるとコミュニケーションが明らかに困難になります。以上の理由で、認定NPO法人ハーモニーネット未来「ふれあい・たすけ愛サービス事業」についての補助削減がなきよう要望致します。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
284	31	ささえあい活動助成補助金	<p>ふれあい・たすけ愛サービスで本当に助けて頂いています。腎不全で死亡した兄が4年前透析を始めた頃、出発時に仕度もしてくれず毎回大変でした。一ヶ月後、日々のストレスもあり、私の目が見えにくくなり、それで送迎をお願いした所、親切にしてくださり、兄は自分から身仕度をしてくれるようになり本当に本当に嬉しかったです。私の視力こそ良くなりましたが、急性高血糖から糖尿病になり、インスリン治療をしていて眼科検査が必要な為「たすけ愛サービス」を利用させてもらっています。スマートフォンの使い方がのみ込めず優しいサービスで助けてもらってもいます。年金も少なく日々節約の為、サービスが利用できていること感謝しています。独り暮らしでこれから先何かあった時にはどうしても助けて頂きたいと頼りにしているのです。「ささえあい活動助成補助金」を今までどおりによろしくお願い申し上げます。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
285	31	ささえあい活動助成補助金	<p>認定NPO法人ハーモニーネット未来ふれあい・たすけ愛サービス事業について、活動を長年しています。自分自身どのくらい手助けが出来ているかわかりませんが、高齢者の方々とお話をさせて頂いたり、送迎の方をさせて頂いたり、自分自身の生きがいにもなっています。この先も少しでも何かお手伝い出来たらと思っています。少しでもこの活動で助かる人が多くあることを願っています。</p>	<p>対象事業の必要性や効果を鑑み継続とはするものの、補助金額の積算根拠が不明確なものは1/2削減案としています。</p> <p>当面補助金額は1/2としますが、今後対象事業者と協議を行い、事業毎に内容を精査した上で、新たな基準を設けることにより、適切な補助金交付を行ってまいります。</p>
286	31	ささえあい活動助成事業補助金	<p>北木島で愛ランド事業をしているが、北木西地区は14~15人しか行っていません。沢山人がいるのは20年以上前の話です。</p>	<p>愛らんど事業（ささえあい活動助成事業）への御意見につきましては、今後の取組の参考としていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
287	27,3 1	島しょ部障害福祉サービス事業補助金 島しょ部介護サービス事業補助金	<p>(素案)P4に「住民生活に直接大きな影響のある社会保障サービス...については配慮した上で、...目的や効果、必要性や妥当性を鑑みて見直しを行いました」とあり、標記サービス事業補助金は、どちらも見直し案・内容が「継続」「現行のとおり継続」とあります。市からの説明では、「現行のとおり継続」とは、『2分の1補助』と伺いました。</p> <p>この事業の「目的」は、「島しょ部在住の介護が必要な者への介護サービス及び障害福祉サービスの提供を図るため」であり、総合計画においても「島しょ部の介護サービス事業の確保に取り組みます」とあります。また、「必要性」については、「島しょ部在住の介護が必要な者」がいる限りはサービスを維持する行政の責任と考えます。このことから、「効果」については、行政が判断すべきであり、その部分が公表されていないため、本会では把握できませんが、島しょ部に対する介護・障害福祉サービス事業は、社会保障サービスの一部であり、保険者である笠岡市が当然に責任を持つものと認識しています。</p> <p>問題は、「妥当性」、すなわち、「対象経費や補助率、補助金額が適切か否か」と考えています。市は、この事業補助金の額は妥当性を欠くため、令和4年度以降、事業補助金を2分の1とし、その実績から「現行のとおり(2分の1を)継続」としているものと認識しています。</p> <p>そもそも、市にとっての「妥当性」とは何でしょうか。</p> <p>市の業務を引き継ぎ、島しょ部へのサービス提供を図る本会としては、「島しょ部という特殊事情から黒字化が不可能なことから、市が赤字額全額を補助する」ことを条件に業務を引き受けています。この部分を差し置いて、「妥当性」を論ずる余地はなく、本会が経営努力をしていないから赤字額が減らない、福祉運営金があるから一定の負担能力を有する等の理由で赤字額の2分の1を本会に負担を強いることは本末転倒も甚だしいです。</p> <p>仮に、本会の責任で、市が積算した金額以上の補助額を申請しているのであれば、補助金の交付に条件を付すことも可能ですし、補助金確定の際に、審査、調査等の結果、減額する等の措置を講ずべきものであったのではないのでしょうか。過去にそうした措置もなく、それを理由とした減額とはなっていません。</p> <p>そもそも補助率が9割や7割ではなく5割となる根拠すら不明です。</p> <p>市が考える当該事業補助金に関する「妥当性」を示していただきたい。また、「妥当性」が減額の理由となるのであれば、その理由を示していただきたい。</p> <p>財政健全化プラン(素案)(別冊)において、特に、この事業に関しては、健全化プラン(素案)での示し方では、住民の方には分からない表現になっています。我々も一見して何の何を示しているのか、説明を受けるまで理解できていませんでした。不適切な表現になるかも知れませんが、都合の悪いことは分かりにくくして、隠すような体質が今の行政にあるのではないかと疑いを持たざるを得ません。今後、パブリックコメント手続を実施する際においては、住民が意見、情報、提案等を正しくできるよう、例えば、前年度の決算額、補助単価、対象者数等、目的、効果、公益性、必要性、妥当性等を明記するか、補足資料を添付するなどして、分かりやすい内容にし、説明責任を全うした後、意見等を考慮した上で政策に係る意思決定を行っていただきたいです。</p>	<p>社会福祉協議会が担っている「社協指定居宅介護支援事業所」および「社協ヘルパーステーション」は、利用者の生活を維持するためにも、事業を継続していただきたいと考えております。また、一方的な考え方を押しつけるのではなく、お互いが良好な関係のもとで事業を進めることが重要であると考えております。しかし、市においても厳しい財政事情から、従来の考え方の維持では困難な状況でありますので、社会福祉協議会と慎重にしっかりと協議を行った上で、赤字部分には補填を行う考えでござます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
288	31	島しょ部介護福祉サービス事業補助金	<p>島しょ部の介護福祉サービス事業は、笠岡市より赤字額は市が金額補填する条件で社協へ事業所移管を受けたと聞いています。社協は全額の補助がされない場合、社協指定居宅介護支援事業、社協ヘルパーステーションの事業を廃業するとも聞いています。福祉事業は生活に直結すると考えているので、陸地部と同様のサービスが受けられるよう当初の約束どおりの補助金をお願いします。</p>	<p>社会福祉協議会が担っている「社協指定居宅介護支援事業所」および「社協ヘルパーステーション」は、利用者の生活を維持するためにも、事業を継続していただきたいと考えております。また、一方的な考え方を押しつけるのではなく、お互いが良好な関係のもとで事業を進めることが重要であると考えております。しかし、市においても厳しい財政事情から、従来の考え方の維持では困難な状況でありますので、社会福祉協議会と慎重にしっかりと協議を行った上で、赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>
289	30	島しょ部介護サービス事業補助金	<p>約10年前に約束されていた補助金額の半額になっています。その当時に赤字補填がなされると言われ、市から社協に事業が移っており、その約束が果たされていません。社協が島しょ部からのヘルパー・居宅から撤退した場合一番困るのは島しょ部の高齢者です。</p>	<p>社会福祉協議会が担っている「社協指定居宅介護支援事業所」および「社協ヘルパーステーション」は、利用者の生活を維持するためにも、事業を継続していただきたいと考えております。また、一方的な考え方を押しつけるのではなく、お互いが良好な関係のもとで事業を進めることが重要であると考えております。しかし、市においても厳しい財政事情から、従来の考え方の維持では困難な状況でありますので、社会福祉協議会と慎重にしっかりと協議を行った上で、赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>
290	31	島しょ部介護サービス事業補助金	<p>令和4年より島岐部の介護サービスにかかる赤字の補助が全額は市からされていないので、このまま次年度からも赤字が全額補助されない場合は社協のヘルパーステーション事業が廃止になり、島民は、社会福祉協議会による訪問介護がうけられなくなりそうです。島の島民は普段から島という立地において、陸地部の住民とは同じような介護サービスを受けることが出来ません。陸地部では受けることの可能な訪問入浴や訪問看護や往診やリハビリなども全て利用出来ずに暮らしています。船も減便されたため、陸地部の病院や施設に通うことも困難です。社協ヘルパーステーションの訪問介護と、社協の支え合い事業でなんとか島内での老後の生活を維持して来ました。これから先、一般の事業所が島での介護サービスを行うことは不可能だと思います。社協が島腰部の介護サービスを廃止したら、市が責任をもってその代わりになる介護サービスを行う用意はありますか？介護保険料や市税を納めているのに、最低限の介護サービスさえ受けられなくなるのは不公平だし、基本的人権にかかわる問題であると考えます。市民が安心安全に暮らせる場所を作るのが市の役割ではないのですか？これが財政の健全化だというのなら、健全化とはなんなのでしょう？さまざまな不便を我慢して島で暮らしている高齢者が、最低限の介護サービスさえ受けられなくなるのは堪え難いです。市が社協に訪問介護を業務委託した時の約束どおりの島興部の居宅介護支援事業および訪問介護事業への赤字全額補助を強く要望致します。</p>	<p>社会福祉協議会が担っている「社協指定居宅介護支援事業所」および「社協ヘルパーステーション」は、利用者の生活を維持するためにも、事業を継続していただきたいと考えております。また、一方的な考え方を押しつけるのではなく、お互いが良好な関係のもとで事業を進めることが重要であると考えております。しかし、市においても厳しい財政事情から、従来の考え方の維持では困難な状況でありますので、社会福祉協議会と慎重にしっかりと協議を行った上で、赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
291	31	島しょ部介護サービス事業補助金	<p>島しょ部の訪問介護及び居宅介護支援事業は笠岡市社会福祉協議会が唯一の事業所であるが、現行のとおり継続するとあるが、現行通りとは、事業所の赤字額の2分の1を補助することに間違いはないか。島しょ部の訪問介護事業及び居宅介護支援事業は、笠岡市社会福祉協議会が実施する前は、笠岡市が直接サービス提供をしていたが、笠岡市が笠岡市社会福祉協議会に事業移管をしたときに、笠岡市が赤字額を全額補助することを、約束または確約などをしたのか。現行のとおり継続するとあるが、現行通りとは、事業所の赤字額の2分の1を補助するということであるが、その場合は笠岡市社会福祉協議会が、島しょ部の訪問介護及び居宅介護支援事業を廃止するとしているが、事業所を廃止した場合、利用者の在宅生活の支援はどうする予定なのか。また今後の島の新規利用希望者へのサービスもどうするのか。社会福祉協議会が島しょ部の訪問介護及び居宅介護支援事業所を廃止した場合は、利用者の引継ぎを事業所が行うことが通常ではあるが、島しょ部であり引継ぎ先がないことは明らかであるため、笠岡市としてはどの様に引継ぎを支援をするつもりか。また、引継ぎ先がないまま、事業所を廃止した場合の利用者の支援、サービス提供はどうする想定か。</p>	<p>社会福祉協議会が担っている「社協指定居宅介護支援事業所」および「社協ヘルパーステーション」は、利用者の生活を維持するためにも、事業を継続していただきたいと考えております。また、一方的な考え方を押しつけるのではなく、お互いが良好な関係のもとで事業を進めることが重要であると考えております。しかし、市においても厳しい財政事情から、従来の考え方の維持では困難な状況でありますので、社会福祉協議会と慎重にしっかりと協議を行った上で、赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>
292	31	島しょ部介護サービス補助金	<p>条件を満たせば支払うという約束も反故し、そして1/2補助が、さも当然であったかのような今回の『(1/2の)継続』という判断は大きく間違っていると思います。確かに結果として支払われていない1/2の補助は、栗尾市長がしたのではなく、前市長がおこなったわけですが、今回の書き方は当初約束していた全額補助の『継続』ではなく『1/2の減額』と表記してほしいと感じました。いずれにせよ民間の社協では、年間500万円の赤字を賄えず、島で唯一の『訪問介護』『居宅介護支援事業所』の介護事業所の撤退の判断になります。</p> <p>そうなると島民が困ります。島の店舗が無くなっている現在、訪問介護（ヘルパーが）おこなってきた毎日の食事や買い物はどうするつもりでしょうか。</p> <p>訪問介護（ヘルパー）が来ない事で施設に入る人も出てくると思いますし、そうなるとさらなる介護保険料の高騰にもつながります。誰でも簡単に施設に入ることなどできません。</p> <p>また居宅介護支援事業所が撤退することで 要介護1～5の人のプランが立てられなくなります。包括支援センターでは要支援1.2の人の計画は立てられますが、制度上、要介護の人のプランを立てる事ができないのです。プランが立てられなければ、島にあるデイサービスなどへの利用ができなくなります。どう考えていますか？後は誰がするのでしょうか？</p> <p>市長は、『市民の安心安全を守る』と言われていましたが、これのどこが安心安全を守ると言えるのでしょうか。</p> <p>この説明を11月に健康福祉部長等がこられてされました。その際に、『このような判断をすると、島しょ部の介護事業を撤退するほか選択肢が無くなる。そうなった場合を想定しているのか』と聞いたところ『想定している』と答えられました。</p> <p>どのように考えているかを聞いたところ明確な答えが返ってきません。本当に大変なことになると思います。社協に島しょ部補助金を出さず、撤退させるのは構いませんが、その場合、島で介護を受けている人の生活はせめて市がきちんと責任をもって面倒を見てあげてください。</p> <p>これは、住民を守る市の責務であり、また介護保険の保険者でもある市の責任と思います。</p>	<p>社会福祉協議会が担っている「社協指定居宅介護支援事業所」および「社協ヘルパーステーション」は、利用者の生活を維持するためにも、事業を継続していただきたいと考えております。また、一方的な考え方を押しつけるのではなく、お互いが良好な関係のもとで事業を進めることが重要であると考えております。しかし、市においても厳しい財政事情から、従来の考え方の維持では困難な状況でありますので、社会福祉協議会と慎重にしっかりと協議を行った上で、赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
293	31	鳥しょ部障害福祉サービス・介護サービス事業補助金	<p>当事業を、市直営から社協委託にする時点で、民間参入の難しい事業であり赤字部分は、市が補填するとの事であったと記憶していますが、令和4年度から補填率50%となっており、2年間で市社協の持ち出しは1,000万円になっています。</p> <p>鳥しょ部の高齢化率は上がる一方であり、高齢な方の一人暮らし、高齢者夫婦での二人暮らしの世帯が殆どで、介護が必要となった時の家族の介護力は低下しています。出来る限り住み慣れた場で住み続けるためには、居宅介護・訪問介護事業は無くしてはならない事業です。民間事業所の参入が難しい鳥しょ部にとって、一番必要な命に繋がる事業です。持続可能な居宅・訪問介護事業所として下さい。</p> <p>又、現在NPO法人が運営しているデイサービスを利用するにも居宅介護事業所無しでは成り立ちません。</p> <p>今一度、行政として鳥民の暮らしを守るために何をすべきかをお考えいただきますよう願います。</p>	<p>社会福祉協議会が担っている「社協指定居宅介護支援事業所」および「社協ヘルパーステーション」は、利用者の生活を維持するためにも、事業を継続していただきたいと考えております。また、一方的な考え方を押しつけるのではなく、お互いが良好な関係のもとで事業を進めることが重要であると考えております。しかし、市においても厳しい財政状況事情から、従来の考え方の維持では困難な状況でありますので、社会福祉協議会と慎重にしっかりと協議を行った上で、赤字部分には補填を行う考えでございます。</p>
294	31	福祉バス運行委託料	<p>音訳の会は録音図書、市の広報製作に毎月邁進しています。作業が大変なので、活動日などは作業に専念して、会員同士の親睦などに費やす時間はありません。年に一度の親睦研修に福祉バスを使用するのが、毎月楽しみもなく作業にのみ打ち込んでいる会員へのせめてものご苦労様の気持ちの表し方でした。この気持ちは、笠岡市から私たちへの感謝の表れだと思っていました。ボランティアは無償の行為です。笠岡市はその人たちの好意で成り立っている部分があると思います。どうかその好意に甘えることなく、きちんと感謝の気持ちを示していただきたいと切にお願いいたします。</p>	<p>日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様におかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。</p>
295	31	福祉バス運行委託料	<p>見直し。障がい者だけでも。</p>	<p>日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様におかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
296	31	福祉バス運行委託料	<p>廃止反対。福祉バスは必要です。市民活動の活性化に役立っていると思います。「当初の目的と現在の事業内容に乖離があるため」とあるが乖離があるなら利用目的などを見直して市民活動に使えるようにする方向で考えるのが福祉サービス。乖離があるから廃止というのは市が運行に本気でない証拠。需要としては色々あると思うのですが、市の利用制限が多すぎて活用できなかったのではないのでしょうか？当初は色々なところでバスが利用されていたと思うのですが、利用制限がだんだん厳しくなったせいで利用者が減ったのではないですか。当初はどこでも行っていたのが市内に限るとか、土曜日や日曜日は使えないとか利用の理由がこうでないとだめだと狭すぎたりしたことが原因だと思います。団体に高齢者が増えてきている現状から移動手段にバスを選ぶことができる事はありがたいことです。しかし民間事業者のバス利用は金額が高額になり何かと使いにくいのが現状です。もっと気軽に安く利用できるようなバスとなれば利用者もずいぶん助かるのですが再検討願います。</p>	<p>日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。</p>
297	31	福祉バス運行委託料	<p>廃止という方向ではなく、その時々により半額でも出していただければ色々な所での見学、地域性など知る事ができる。身につく事があると思います。一度に廃止するのではなく、それぞれの地域の人たちにも、見直しをしてもらいながら人が集る場所、それにたずさわる人達のモチベーション向上のため、これ以上笠岡から人が離れないように力を合わせる必要もあるかと思えます。</p>	<p>日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。</p>
298	31	福祉バス運行委託料	<p>活動の一環として、色々な場面を想定した外出介助実習のため、福祉バスを利用させていただいています。障害者や他団体との交流を兼ねて市外へ出掛けるなど、幅広い活動ができています。団体が貸し切りバスを借りることは、会費だけでは困難であり、福祉バスが利用できることは大変ありがたく思っています。廃止ではなく、利用人数に応じたマイクロバス程度のもから利用できるなど、運用を変えて今後も継続していただきたい。</p>	<p>日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。</p>
299	31	福祉バス運行委託料	<p>当初の目的とは、何でしょうか？サークル活動において、大きな影響が考えられます。現在、サークルの会員として当事者（障がい者）が含まれており、共に活動をしている場面もあり、また高齢化もありますが、県内持ち回りで行われている活動や研修会、他団体との意見交換、新たに会員となった方々と専門の施設へ研修に行くとなった場合、各自で公共交通機関で参加する・個人の車（事故にあった場合の責任など）に乗り合わせての参加となれば、参加者の減少や学習の機会減少に繋がることが考えられる。市内等の近くであれば、乗り合わせてやお迎えに行くなども出来るが長距離になると難しく、会員の中に学生さんもおられ自力での参加は難しいのでサークル離れも懸念される。現在、高速代だけの負担ではあるが、乗合タクシー程度の定員数の対応車種を増やすなど、「廃止」ではなく、どうすれば継続出来るかを提案してほしい。</p>	<p>日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
300	31	福祉バス運行委託料	毎年、岡山県聴覚障害者協会が主催する岡山県民ふれあい手話まつりに福祉バスを利用させていただいています。このイベントは手話の技術だけではなく、ろう者の文化や歴史などの背景を知る貴重な研修となっています。県内の聴覚障がい者協会の支部が持ち回りで開催しているので毎年開催場所が違います。多くの会員が参加する実地研修となっていますので、福祉バスの利用を継続していただけるようお願いいたします。	日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。
301	31	福祉バス運行委託料	福祉バス運行事業を継続して下さい。	日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。
302	31	福祉バス運行委託料	必要性に応じて支給をお願いします。障害者の外出の機会であり、廃止はやめて頂きたい。	日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。
303	31	福祉バス運行委託料	現場に行って聞こえない人と手話で話す。手話を教えあういい機会です。講座では学べないことがたくさんある。今までどおり続けてほしい。	日頃より各種団体の皆様には、本市の福祉活動に寄与していただき、心から感謝しているところでございます。しかしながら、この度は大変厳しい財政事情ですので、市民の皆様にご負担をおかけすることを心苦しく思っております。何卒御理解くださいますようお願いいたします。
304	32	自立支援ヘルパー派遣事業	見直し。低所得者だけでも。	厳しい財政状況から、従来の事業を維持することは困難と判断し、必要なサービスは、介護保険制度でのサービスを利用していただくこととして事業を整理しておりますので御理解くださいますようお願いいたします。
305	32	自立支援ヘルパー派遣事業	利用者の減少やニーズが少なくなっても0でない限り支援すべき。	厳しい財政状況から、従来の事業を維持することは困難と判断し、必要なサービスは、介護保険制度でのサービスを利用していただくこととして事業を整理しておりますので御理解くださいますようお願いいたします。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
306	32	シルバー人材センター補助金	これこそ継続ではなく見直しを行うべき事業と考えます。運営自体があまり評判は良くないような気がします。補助金の見直しも含めて運営事業実施について市側の指導や予算の削減を行うべきと考えます。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
307	32	シルバー人材センター補助金	財政難の中で多すぎる。(自力で運営できるように工夫するべき)	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
308	32	認知症介護研修センター事業委託費	事業費1/2でこの事業が成り立つのか疑問。有無を言わず1/2の削減は乱暴。委託先と検討の上適切な削減をしてもらいたい。	今回大きな財源不足を解消していくために、大きく踏み込んだ見直しをしましたが、今後、社会情勢を見据え、委託先と協議を重ね、事業を継続してまいります。
309	32	食の支えあい見守り事業委託料	なぜ飛島だけなのか。	地元からの要望等により事業が開始されたものです。
310	32	食の支えあい見守り事業委託料	地域に委ねて廃止は反対。地域に委ねて委託費でかかっていたような費用負担まで地元させるのか？福祉の後退である。費用が発生する場合地域でどう捻出しろというのか？地元の好意で無料でサービスをなささいと言うのは市が福祉サービスをしませんよと言っている事になりませんか。	長年にわたり高齢者の栄養管理と見守りを行っていただき、受託者や地域の皆様のご支援により成り立っておりましたが、御意見のとおり少子高齢化により地元委ねることが厳しくなってきたため、廃止としております。
311	32	食の支えあい見守り事業委託料	配食業者のいない、商店も無い飛島・六島の高齢者が、お弁当の日をどれだけ楽しみにしているかを考えると、廃止に出来ない事業ではないかと思えます。見直し内容の「対象者が限定的であることから、地域に委ねることとし、廃止」と言う意味が分かりません。高齢者の健康に繋がる事業です。島の現状を知っての事なのでしょうか？島民切り捨てであると思えません。ご一考願います。	長年にわたり高齢者の栄養管理と見守りを行っていただき、受託者や地域の皆様のご支援により成り立っておりましたが、御意見のとおり少子高齢化により地元委ねることが厳しくなってきたため、廃止としております。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
312	32	食の支えあい見守り事業委託料	<p>発足（活動開始）から25～6年と聴いている。現在の利用者数は22～25食/1回、25人を『対象者が限定的』と廃止にすると非常に驚きました。対象者が減少するのは、常住人口が減少している以上当然のことでそれにもかかわらず配食数はスタート時とほぼ同じ。地区住民にとっての数少ない福利厚生施策を行政への負担なく継続していくための地区担当者の経営努力と考えて頂きたい。古くから交流のあるお隣さん同士どちらからともなく利活用が持ち上がり、1年ほど経過したように思います。再検討して頂き、ぜひぜひ継続への見直しをお願いします。</p>	<p>長年にわたり高齢者の栄養管理と見守りを行っていただき、受託者や地域の皆様のご支援により成り立っておりましたが、御意見のとおり少子高齢化により地元に委ねることが厳しくなっているため、廃止としております。</p>
313	32	老人クラブ健康づくり事業補助金	<p>県の特定財源のみの予算で行えばよい。</p>	<p>この事業は、高齢者の生きがいと健康増進を目的としているため、引き続き事業を継続していきたいと考えております。</p>
314	32	島しょ部高齢者交通費助成費	<p>交通費は半額だけではないのですか。</p>	<p>現在は70歳以上で島しょ部に住民票があり、所得税非課税世帯の方を対象に通院時の帰りのみ船賃の交通費補助（24枚の乗船券の交付）をおこなっています。厳しい財政状況の中でやむなく、過去の実績を踏まえ、乗船券の枚数を現在の24枚から12枚に削減し、事業を継続いたします。</p>
315	32	島しょ部高齢者通院交通費助成費	<p>原則論1/2で削減するのは反対。福祉基金や寄付で1/2を補填できる見込みはあるのか？もし補填できるほどのものが集まらなかったらサービスは後退するのか？高齢化がますます進み医療はますます必要になる島の高齢者を見捨てるのか？70歳を過ぎると60歳までとは比べ物にならないほどの医療関係の出費です。島は足に困ると同時に費用がかさみます。これをサポートすることはやめないでほしい。</p>	<p>現在は70歳以上で島しょ部に住民票があり、所得税非課税世帯の方を対象に通院時の帰りのみ船賃の交通費補助（24枚の乗船券の交付）をおこなっています。厳しい財政状況の中でやむなく、過去の実績を踏まえ、乗船券の枚数を現在の24枚から12枚に削減し、事業を継続いたします。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
316	33	オンライン健康相談事業	<p>廃止に反対。</p> <p>実績がわずかで廃止というのはおかしい。現在リモートでの通信診療なども取り組み始められている時代にこの事業廃止？オンラインシステムの活用方法について周知徹底や利便さなど啓蒙活動が足りないからではないか？島しょ部などの通常サービスが受けられにくい所への一方法としてもっと活用してもよいのではないかと思う。</p> <p>市としてもっとIT技術の活用レベルを上げる工夫をすべきと思います。</p> <p>この種の物は最近のテクノロジーを活用する事で離島などの診療所の配備できないような所の問題点を解決する役に立つ手法であると思う。</p> <p>例えばオンラインによる遠隔医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療相談</li> <li>・オンライン診療・診察</li> <li>・救急で搬送が必要かどうかの相談</li> <li>・画像(X線画像など)を専門の医師に画像診断してもらう</li> <li>・薬の投薬で済むような症状ならドローンで緊急配送する</li> </ul>	<p>ご意見をいただきました、市のIT技術の活用レベルを上げることは、重要であると考えております。</p> <p>オンライン健康相談事業は、地域で声を伺った範囲では機器操作に慣れないという声を多くいただき、やはり顔が見える状況で相談をしたいと意見がありました。この事業は費用対効果により廃止といたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>また、島しょ部の医療については、6島に診療所を開設し、関係医療機関のご協力により診療所の運営を行っています。ご意見がありましたオンライン診療については、一部の診療所で行っている状況です。オンライン診療は、今後も関係機関のご協力をいただきながら進めていきたいと考えております。</p>
317	33	ぐるりんウォーク	<p>廃止するという案ですが、市民の健康づくりを図るうえで、少ない費用で効果的な方法であると考えられることから、継続してはいかがでしょうか。何の代案もなく廃止というのはいささか乱暴と思う。市民の健康づくりが図られないことによる、医療費や介護費の増加についての検討はどうなっていますか。</p>	<p>事業開始当初の目的と現在の状況とを比較して、長年継続したことで健康意識や啓発が進んでおり、事業費や事業効果を考慮した結果、現在の事業は廃止とします。今後は、他の手法での啓発を考えております。</p>
318	33.3 5	ぐるりんウォーク 健康ポイント	<p>二つとも廃止ではなく一方は残す健康維持のための指針として必要</p>	<p>事業開始当初の目的と現在の状況とを比較して、長年継続したことで健康意識や啓発が進んでおり、事業費や事業効果を考慮した結果、現在の事業は廃止とします。今後は、他の手法での啓発を考えております。</p>
319	33	愛育委員協議会補助金	<p>廃止。ボランティアですべき。</p>	<p>この補助金は、活動のための費用を補助しているもので、愛育委員は無報酬でボランティア活動をしています。</p>
320	33	愛育委員協議会補助金	<p>愛育委員そのものが必要なのか。地域の健康づくりを推進しているようには感じない。そもそも誰がやっているのかもわからず、役員も変わっていないようであるし、既得権益のように感じる。</p>	<p>愛育委員は、地域全体の健康づくりや、乳幼児から高齢者まで幅広い世代へのきめ細やかな「声かけ」や「見守り」を通し、生涯にわたる健康づくりの支援をしています。この活動に対して、愛育委員は無報酬でして、ボランティアで活動をしています。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
321	33.3 4	愛育委員協議会補助金 栄養改善協議会補助金	愛育委員協議会補助金と栄養改善協議会補助金が同額ですが、愛育委員会へは今も県から補助金がおりにるのであれば見直す必要があるのでは?! 愛育委員会は健診等見守り業務があるので必須と言う理由があると思いますが、今は栄養の取り過ぎから栄養のバランス指導が重視され栄養委員も健康寿命を延ばすための活動が必要になってきていると思う。	貴重なご意見ありがとうございました。これからも市民の健康づくりに携わっていただきたいと思ひます。
322	34	栄養改善協議会補助金	廃止。ボランティアですべき。	この補助金は、活動に対する活動費としてお支払いしていますが、個人へは給与の支給は無く(無報酬)、ボランティアとして活動をしています。
323	34	健康まつり実施委託料	市内の健康づくりに関わる各種団体が一体となって健康づくりに関する正しい情報を提供するとともに個人の健康づくりを支える事業です。毎年楽しみに参加して下さっています。廃止してしまうのではなく一部見直しで継続できるようお願いいたします。多くのボランティアが集い交流もでき有意義な健康まつりです。ボランティアとして長年参加して下さる多くの市民の方々が参加して下さり楽しみにして下さっています。	事業開始当初の目的と現在の状況とを比較して、長年継続したことで健康意識や啓発が進んでおり、事業費や事業効果を考慮した結果、現在の事業は廃止とします。今後は、他の手法での啓発を考えております。
324	34	食事・運動評価クラウドシステム	廃止に反対。 「民間サービスに委ねることとし、廃止する」となっているが、民間サービスがあるのか? 笠岡市のIT活用レベルが低から効果や実績が期待できない評価となっているのではないか? 市のIT技術レベルを上げて取り組むような課題だと思う。	必ずしも行政で実施する必要がなく民間で同種のサービスがありますので、よりご自身に合ったアプリを活用することが効果的であると考えております。また、アプリについては、年々技術が進み、最新機能が搭載されたものが増えていきますので、そういった観点からも廃止としております。
325	35	自殺対策事業	愛育委員が、自殺要望対策をやっているようには見受けられない。「関心のある方」がそもそも居るのか。外郭団体に任せてもいいと考える。	様々な団体にご協力をいただき、自殺予防対策の活動をしております。その中で、愛育委員には、心の健康づくりに関する普及啓発や、高齢者や子育て世帯の孤立防止のための声かけ・見守り活動などを通してご協力いただいております。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
326	35	成人予防接種事業	見直し。低所得者・障がい者には継続していただきたい。	今後、見直しについて慎重に検討してまいります。
327	35	成人予防接種事業	<p>自己負担額等を見直して継続するとなっているが見直し額がどのようになるのか不明。 見直し率が大きすぎないか？</p> <p>予防接種は補助があれば接種率が上がり病気になる予防ができる。これを数字であらわし評価することは難しいが、少しでも予防効果があるはずなのでその分は医療費を軽減している。健康保険の財源などへの負担を軽くしていると思われるので見直して減額するのではなく、むしろ、医療費全体のことを考えれば増額して、接種者を増やす努力をすべきではないか。</p> <p>なんでもかんでも削減するというのは市政が違っていると思う。</p>	<p>今後、見直しについて慎重に検討してまいります。</p> <p>厳しい財政事情から負担増をお願いする可能性があるかもしれませんが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。</p>
328	35	健康ポイント事業	<p>ぜひ継続でお願いしたい。</p> <p>参加者は年々増えてきて、近隣で誘い合いウォーキングをする姿をとともよく目にするようになった。引きこもりがちな方にも声を掛けやすい。一緒に歩くのは、健康の為だけでなくそんな効果（心の健康、ストレス発散）もある。また道端や畑で出会う高齢者への挨拶・声かけ相談・見守り・防犯（新聞受けや照明点灯・確認）効果にもなっている。また実際に家屋の火災を発見した例もある。効果は健康だけでない事を理解してほしい。</p>	事業廃止となりますが、アプリ自体は無料アプリですので、引き続きご利用いただくことができます。
329	36	街灯設置事業	<p>2023年に開催された「水銀に関する水俣条約COP5」において、蛍光灯が2025年末から2027年末までに段階的に廃止されることが合意されました。これに伴い、蛍光灯のさらなる値上げと品不足が予測されています。また、LED照明についても樹脂や鋼材などの材料価格の高騰により値上げが懸念されます。</p> <p>環境省の公式ページでも計画的なLED化の推進が求められています。</p> <p>これまで笠岡市では防犯灯の新設及び修繕でLED化を進めてきましたが、2027年末に向けて照明のLED化をさらに加速させることが必要です。LED照明の導入には初期コストがかかるものの、交換後は明るくなることで安全性が向上し、快適に生活できるとの声が市民から寄せられています。こうした背景から更に補助金のニーズは高まることが予想されます。</p> <p>LED化は、環境負荷を軽減しつつ市民の生活の質を向上させる取り組みです。今後も市民が安全で快適に暮らせる環境整備のため、今後、十分な予算措置を講じていただきますようお願いいたします。</p>	2027年末までには、蛍光灯の製造・輸出入が廃止されるといった観点から、防犯灯管球取替委託料の事業を廃止とします。今後につきましては、外灯設置事業補助金が継続となりますので、助成金を活用し、省エネであり長寿命であるLED照明器具を更新するよう推進し、施策が後退することがないよう努めてまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
330	36	街灯設置事業	笠岡市内は暗い場所がたくさんある。夜、多くの学生が自転車や徒歩、バイクで通る道は安心・安全のため、できるだけ明るくしていただきたい。	2027年末までには、蛍光灯の製造・輸出入が廃止されるといった観点から、防犯灯管球取替委託料の事業を廃止とします。今後につきましては、外灯設置事業補助金が継続となりますので、助成金を活用し、省エネであり長寿命であるLED照明器具を更新するよう推進し、施策が後退することがないように努めてまいります。
331	36	街灯設置事業	事業費を1/2として継続するとあるが3,867-2,367では1/2となっていないがどう見るのか？笠岡市内でも暗い所はたくさんある全てに街灯を設置する必要はないが事業は継続するべきと思う。また予算も街灯だけでなく防犯カメラの設置などにも使って防犯上の安全を確保するようにすべきだと思う。	2027年末までには、蛍光灯の製造・輸出入が廃止されるといった観点から、防犯灯管球取替委託料の事業を廃止とします。今後につきましては、外灯設置事業補助金が継続となりますので、助成金を活用し、省エネであり長寿命であるLED照明器具を更新するよう推進し、施策が後退することがないように努めてまいります。
332	36	街灯設置事業	見直し。街灯が昼間でもついているところがあり・・・	2027年末までには、蛍光灯の製造・輸出入が廃止されるといった観点から、防犯灯管球取替委託料の事業を廃止とします。今後につきましては、外灯設置事業補助金が継続となりますので、助成金を活用し、省エネであり長寿命であるLED照明器具を更新するよう推進し、施策が後退することがないように努めてまいります。
333	36	街灯設置事業	それだけでなく周辺市町より暗いといわれる笠岡市内の明かり。 気持ちの面でも安心安全上も明るさを保持してほしい。 小学地区内でなく、県道など、受益者が広範囲の街灯には市として配慮してほしい。 スポンサーがない現状ではお金の出所を探すのが難しい。	2027年末までには、蛍光灯の製造・輸出入が廃止されるといった観点から、防犯灯管球取替委託料の事業を廃止とします。今後につきましては、外灯設置事業補助金が継続となりますので、助成金を活用し、省エネであり長寿命であるLED照明器具を更新するよう推進し、施策が後退することがないように努めてまいります。
334	36	街灯設置事業	防犯灯設置の補助金が削減される方向性について、強く反対の意を表明いたします。 防犯灯は、地域の安全を確保するために欠かせない重要な設備です。特に、夜間における犯罪の抑制や、地域住民の安心感を高める役割を果たしています。補助金が削減されることで、防犯灯の設置が進まなくなり、結果として市民の安全が脅かされることを懸念しています。 また、地域の防犯対策は市民の生活の質に直結するものであり、特に高齢者や子どもたちにとっては、安心して暮らせる環境が必要です。防犯灯の設置が進まないことは、地域全体の治安悪化を招く恐れがあります。 市民の安全と安心を守るためには、補助金制度を維持し、さらなる防犯灯の設置を促進することが重要です。財政健全化は大切ですが、市民の安全を犠牲にすることは決して許されるべきではありません。 以上の理由から、防犯灯設置の補助金削減に反対し、引き続き現在の補助金制度を維持すること、むしろ増額を強く求めます。	2027年末までには、蛍光灯の製造・輸出入が廃止されるといった観点から、防犯灯管球取替委託料の事業を廃止とします。今後につきましては、外灯設置事業補助金が継続となりますので、助成金を活用し、省エネであり長寿命であるLED照明器具を更新するよう推進し、施策が後退することがないように努めてまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
335	36	建築物耐震診断・耐震改修等補助事業	<p>11月28日全ての新聞(自宅は山陽新聞)に高齢者の耐震改修支援について大々的に載っていました。自宅を担保に融資、利子は政府、70歳以上は0にし利払い費は肩代わりすることで存命中の出費をなくす。住宅倒壊が相次いだ能登半島地震が教訓、今後中国地区の南海地震や他地区の地震を考えると、高齢者は経済的理由などで改修を敬遠したり、工事をためらう人の背中を押す狙いがあり、支援を手厚くして、2024年度補正予算案に経費を計上し、住宅金融支援機構が金融機関と提供する既存の融資制度リバース60を活用する。</p> <p>しかし住んでいる笠岡市の危機管理課で崖の部分がかなり粘土質がポロポロと酷く穴が空いて崩れているので見てほしいと言うと、そこは宅地の中の崖で自分で直してくれといわれた。諦めかけて居たところ、耐震改修の記事が出たので又掛けると、内の課で無く都市計画の範囲だというので来て貰って聞くとそこは建っている家の範囲外で耐震改修は建っている家自体で崖は含まれないと言う。建っている真下の崖でも何故入らないのか。耐震というのは家もそうだが建っている地盤も含まれないのか、能登半島は家だけで無く地盤が揺れてズレて倒壊している、関係ないと言う。</p> <p>全くそれじゃあ当てはまる家が合って直しても耐震に成らないと思う、せっかく政府が思いやり補正予算立てても基礎の地盤が入らなければ意味が無いし、この旧態依然の規則では折角国の何兆円もの予算が笠岡市民は恩恵に預かれ得ないことに成る。そうして木造住宅だけでなく鉄骨住宅も含まれないと可哀しいと思う。</p> <p>12月5日、土木工事の人を呼んで我が家の崖を見て貰ったが100万の工事が今では300万円に成る程高くなったと言う。我が家は300万円程掛かるらしい、だからそんなお金が83歳の我々夫婦には本当に物価高のこの時代葬儀代を考えただけで、どうなるのかと考え込んで仕舞った。</p> <p>大雨や震度5～6度の地震が来ないことを祈るしか無い。</p> <p>破綻した笠岡の予算では耐震改修費80万円出すのも大変だろうから、こういう国で組んだ予算を貰えるように、ごまかすのでなく幅を広げて市民に還元出来るようにして頂ければ本当に嬉しいのだが。全て本人が責任を取るのだから。そういう柔軟な考慮すると言う考えは出来ないものなのか。</p> <p>机上の考えでなく何でも駄目だと言わせるのでなく、災害なんかで本当に生命がどうなるか分からないし、町が悲惨な状況に成らないように笠岡を守るためにも本気で考えた答えを聞きたいと思います。</p> <p>ご多忙の所、面倒な事、誠に申し訳ありません宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p>政府は高齢者の耐震改修支援について2024年度補正予算案に経費を計上。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>住宅金融支援機構が、金融機関と提供する既存の融資制度リバース60を活用する。</li> <li>住んでいる市区町村から改修費の補助を受けるのが条件。審査がある。死亡すると自宅が売却される場合がある事に注意。</li> <li>耐震基準が強化された1981年6月以前建てられた一戸住宅で高齢者の利用を想定。</li> <li>例えば、変動金利が年3.0パーセントで耐震改修費100万円の融資で毎月の利子は2500円で亡くなるまで支払いは続く、70歳以上はゼロである。</li> <li>金利が高めのノンリコース型を選択すれば、死亡時の自宅売却額が元金に届かなくても、追加的な支払いは発生しない。相続人が元金を一括払いし自宅を残すことも可能だ。</li> <li>政府の交付金を活用した市区町村の改修補助を受け、残りの費用に対して融資を受ける仕組みとする。全国84.4%実施している。</li> </ol> <p>高齢者のためらう人の背中を押す狙い、南海トラフ巨大地震の懸念。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>住宅の耐震化は、基礎や壁の補強、屋根の軽量化などで震度6～7程度でも倒壊しないよう改修する、ここでは基礎が何処までかは記述していない。</li> <li>34市町村の内14の市町村が24年度から、90万～120万の補助額を165万円に引き上げた。</li> </ol>	<p>本市の建築物耐震診断・耐震改修等補助事業は、地震に対する建築物の安全性の向上を図り、公共の福祉の確保に資するため、建築物の耐震診断等を実施するに当たり、これに要する費用の一部を予算の範囲内において補助を行っています。近年、全国各地で地震が頻発しており、令和6年に発生した能登半島地震においても、旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)の木造住宅を中心に多くの被害がありました。旧耐震基準の木造住宅は、耐震診断の結果、耐震性の不足しているとされる住宅が大半であり、耐震改修工事の補助については、耐震診断により倒壊の危険性のあると判断されたものに対して補助対象としています。今後も引き続き耐震化の積極的な推進が必要と考えています。補助対象建築物についてですが、宅地(がけや擁壁等含む)は含まれず、原則旧耐震基準で居住している住宅が対象となります。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
336	36	耐震改善等補助事業 住宅リフォーム助成金補助事業	個人負担とするのが妥当かと。 なぜなら最初から投資して丈夫に建てている人はどうなるのか。	<p>本市の建築物耐震診断・耐震改修等補助事業は、地震に対する建築物の安全性の向上を図り、公共の福祉の確保に資するため、建築物の耐震診断等を実施するに当たり、これに要する費用の一部を予算の範囲内において補助を行っています。近年、全国各地で地震が頻発しており、令和6年に発生した能登半島地震においても、旧耐震基準（昭和56年5月31日以前）の木造住宅を中心に多くの被害がありました。旧耐震基準の木造住宅は、耐震診断の結果、耐震性の不足しているとされる住宅が大半であり、耐震改修工事の補助については、耐震診断により倒壊の危険性があると判断されたものに対して補助対象としています。今後も引き続き耐震化の積極的な推進が必要と考えています。補助対象建築物についてですが、宅地（がけや擁壁等含む）は含まれず、原則旧耐震基準で居住している住宅が対象となります。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>また、住宅リフォーム助成金事業費につきましては、2分の1の削減案としております。御懸念の点につきましては、より多くの市民が利用しやすく、住環境の向上に役立てていただけるような制度となるように対象事業費や補助率、耐震要件等を見直しを図り、事業を継続してまいります。</p>
337	36	住宅リフォーム助成金事業	見直し。低所得者や障がい者には支援を。	住宅リフォーム助成金事業費につきましては、2分の1の削減案としております。御懸念の点につきましては、より多くの市民が利用しやすく、住環境の向上に役立てていただけるような制度となるように対象事業費や補助率、耐震要件等を見直しを図り、事業を継続してまいります。
338	36	住宅リフォーム助成金事業	事業費を1/2として一部見直し継続とあるがこれは1/2に減額すべきではない。 なんでもかんでも原則1/2とするのは市政の手抜きと言わざるを得ない。将来の大規模災害に備えるための費用を減額しても将来的に災害の被害がおおきくなったらどうするのか？ 本来ならばもっと助成金の予算を増やしてもおかしくないような事業に原則1/2と何の根拠もない数字を押し付けるのはおかしい。	必要性や公益性に留意したうえで継続とする場合でも事業費を2分の1とすることを原則としました。今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため目安として設定しております。今後も、より多くの市民が利用しやすく、住環境の向上に役立てていただけるような制度となるように対象事業費や補助率、耐震要件等を見直しを図り、事業を継続してまいります。
339	36	住宅リフォーム助成金事業	「市内の施工業者を利用して」という条件が付されており、地域の経済振興としての意味合いもある。「小規模な改修ニーズにも対応できるよう」という見直し内容については良いと思うので、なるべくなら減額せずに「継続」するのが望ましいと考える。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
340	37	地域農業再生協議 会補助金	見直し。金銭でなく市内の商品券で。半額カット。	本市の耕作放棄地の発生抑制・解消を図る観点から必要な事業と考えております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
341	37	就業奨励金支給事 業補助金 元気な農林漁業者 応援金	これらは「補助対象が限定的となったため、廃止する」となっているが、これらの補助金を廃止するのは反対。 むしろ、これらの補助金を使って農林漁業へ従事する若い力を育てるのが本当ではないかと思う。農林漁業従事者の高齢化が進み後継者等がない所には積極的に斡旋し育成の手助けをすべきである。 また”限定的“という理由は使わない方が良いと思います。もともと農林漁業者はすべての事業についている人から見れば限定的であり少数派ですので、限定的と言ってしまえば、これらの人には支援が届かない事になります。	新規就業者への激励の意味での支給ではありますが、厳しい財政状況の中、やむをえず廃止といたしました。 引き続き、国の制度を利用するなど、新規就業者に対して寄り添った支援を検討してまいります。
342	37	就業奨励金支給事 業補助金 元気な農林漁業者 応援金廃止	就労者が減少し、衰退が著しい農業、漁業者を顕彰したり応援することは、今の笠岡市には必要なことではないか。 農漁業の振興をあきらめず、補助対象が限定的だからやめるのはどうかと思う。 後押しするのが、笠岡市の立場。	新規就業者への激励の意味での支給ではありますが、厳しい財政状況の中、やむをえず廃止といたしました。 引き続き、国の制度を利用するなど、新規就業者に対して寄り添った支援を検討してまいります。
343	38	環境保全型農業直 接支払事業	現在世界規模で地球温暖化への取り組みが行われており、各国々がそれぞれのCo2削減目標へ向けて様々な対策を行っている。 その中で我が日本は削減目標こそ高いものの達成までは長い道のりである。 この国民が一丸となり取り組むべきものに対し笠岡市もCo2削減の一環である化学肥料・化学合成農薬の使用レベルの低い農業者へ支援を行ってきたが、今回のプランでなぜか”廃止”となっている。 この事業の目的は温暖化防止や生物多様性保全だけにとどまらず、安心安全な有機農業への実践にも繋がり未来の宝である今の子どもたちが健康に育てられる農畜産物を生産し、また海外依存の化学肥料の低減も見込まれ国策である農業自給率向上へ向けたものにもなる。 畜産に特化して言えば、有機で飼料生産するにあたり糞尿から良質堆肥の生産が行われ、適正に圃場に還元できそれにより当然ながら笠岡市の課題の1つである臭気も低減される。 現在はこの事業を使う農業者は少ないかもしれないが、今後は増加が見込まれるものであり今実践している農業者の土気や世の中の機運を逃さないためにも必要な事業である。	新たな農業形態を進める上で意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。 意欲ある生産者に対しては、関係省庁と連携してどういった支援ができるか検討してまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
344	38	環境保全型農業直接支払事業	<p>笠岡市内ですでに取り組まれている面積は交付予定金額から見ても近隣市町村の中ではかなり広いほうではないかと考えます。聞くところでは、申請は1団体で、農業法人2社が組織し、多くの農業従事者が関わっているとのこと。それに伴い、農業機械や設備も稼働し、井笠地域の環境保全型農業を牽引する重要な役割を果たしていると想像します。</p> <p>取り組み開始1年目で廃止というのは、農業者にとって大きな負担ではないでしょうか？本事業は国の法律に基づいた交付金制度であり、本事業の継続性を前提に、有機農業への対応に向けた設備投資を行っている可能性もあります。廃止が農業者や関連団体に与える影響について、十分な確認が必要だと考えます。</p> <p>そもそも、補助対象数が少ないことを理由に廃止とするのは合理的ではありません。本事業は国の目標が「面積の拡大」に重点を置いており、交付単価も面積に基づいて計算されています。そのため、事業成果は取組面積を主要な指標として評価すべきです。さらに、「補助対象数が少ない」という基準が示されていない点も問題です。何ををもって「少ない」と判断しているのかが不明確では、廃止の根拠が不十分と言わざるを得ません。</p> <p>地域社会の要望も踏まえた総合的な判断が求められる中で、笠岡市ではたとえばオーガニック給食を求める市民の声があることも承知しております。この事業は、地域内で環境保全型農業を推進する基盤として、農業の発展、市民の健康増進、環境負荷の軽減にも貢献できるものです。</p> <p>補助対象数が課題であれば、取組を広げるための啓発活動や支援体制の充実、もしくは一定期間の凍結など、廃止以外の選択肢があるはず。単なる廃止ではなく、地域の未来を見据えた柔軟で多角的な対応をご検討いただければ幸いです。</p>	<p>新たな農業形態を進める上で意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。</p> <p>意欲ある生産者に対しては、関係省庁と連携してどういった支援ができるか検討してまいります。</p>
345	38	環境保全型農業直接支払事業	<p>国の「みどりの食糧システム戦略」にもあるように、今後笠岡でも有機農業をはじめとした減農薬、減化学肥料の環境や人体に配慮した農業への転換が求められてくると思います。</p> <p>1990年代より使用され現在一番使われているというネオニコチノイド系農薬には、子どもの発達障害の一因になっているという専門家もいます。</p> <p>除草剤のグリホサート、ラウンドアップには発ガン性など多様な毒性が指摘されていて、アメリカ等では訴訟が多発しているそうです。</p> <p>また、農薬などが原因でミツバチが世界的に激減していて、10年後にはミツバチが絶滅するのではないかとわれているそうです。そうなると作物や植物の受粉が上手くいかず食糧難や、山や海の世界環境崩壊が危惧されているそうです。</p> <p>それに対してEUでは2010年代にネオニコチノイド系農薬の販売禁止、屋外での使用禁止など厳しい規制がとられているそうです。</p> <p>このような状況下で慣行農法から有機農法、減農薬農法に転換するための現在の補助制度では上記交付金が唯一の制度だと思います。</p> <p>笠岡の環境保全型農業を推進するため、できる限りこの交付金への予算を残して頂ければありがたいと思っています。</p>	<p>新たな農業形態を進める上で意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。</p> <p>意欲ある生産者に対しては、関係省庁と連携してどういった支援ができるか検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
346	38	FlyOverKASAOK A	<p>国の補助金の終了に合わせて廃止するとなっておりますが、ここまで続いた笠岡市でも大きなイベントを辞めるのは惜しい。</p> <p>コストに対する効果と言いますが何がどうなればこのようなイベントの効果が認められるのでしょうか？</p> <p>その基準を示して下さい。今行われているすべてのイベントの継続基準はなんですか？</p> <p>笠岡市に1.5万人を超える観衆が集まってくるイベントはこれだけの理由だけではいけないのでしょうか？</p> <p>もしそうでないなら、全てのイベントが廃止となってしまいます。</p> <p>そんな寂しい町、活気のない笠岡をめざしているのですか？</p> <p>また、この表の効果額に国の財源が含まれていて、表の集計誤りです。</p>	<p>多くの来場者を伴う最大級のイベントではございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。</p> <p>今後は、農畜生産者等と協働で干拓地全体の活性化を目指した事業を展開し、干拓地に対しての市民の理解の醸成に努めてまいります。</p> <p>なお、特定財源である国の補助金については、令和6年度をもって交付金の終期となり、令和7年度以降は一般財源での実施となります。そのため、効果額については令和6年度の事業費を記載しております。</p>
347	38	FlyOverKASAOK A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果額が2,500では？国の補助金が含まれているのでは？</li> <li>・全国でも稀な市が管理する空港において実施されるイベントの継続を求めます。他のイベントとは違い遠方からの参加者も多いと思われ、笠岡市の特徴（干拓地での農産物を含め）を他に向けて発信できる強み（効果）があると考えます。</li> </ul>	<p>多くの来場者を伴う最大級のイベントではございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。</p> <p>今後は、農畜生産者等と協働で干拓地全体の活性化を目指した事業を展開し、干拓地に対しての市民の理解の醸成に努めてまいります。</p> <p>なお、特定財源である国の補助金については、令和6年度をもって交付金の終期となり、令和7年度以降は一般財源での実施となります。そのため、効果額については令和6年度の事業費を記載しております。</p>
348	38	尾坂池土地改良区 補助金	<p>各設備、水路等の老朽化に伴い、補修箇所は年々増えている。放置は地区住民の生命にかかわることは必定である。</p>	<p>この度の見直しは、主に運営費に当たる事務的経費の削減に重きを置いており、市民に影響を及ぼす恐れのある農業用施設については、必要に応じて対応する予定としています。</p>
349	39	有害鳥獣被害対策 事業	<p>見直し。半額カットで市内の商品券で渡す。</p>	<p>有害鳥獣対策事業につきましては、一部事業を見直し、一般財源の削減を考えております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
350	39	有害鳥獣被害対策事業	<p>瀬戸内海国立公園の目的は、多島海の美しい景観や豊かな生態系を保護し、観光資源として活用しながら地域経済や文化を振興することです。しかし、近年イノシシの増加により、土砂流出や石造物の倒壊といった深刻な被害が発生し、佐柳島では観光地が立ち入り禁止となるなど、公園本来の目的が果たせない状況が生じています。笠岡諸島でも同様の被害が確認されており、害鳥獣対策の予算削減が進む中で、観光資源の衰退や地域住民の生活の安全が脅かされるのではという不安が広がっています。</p> <p>さらに、笠岡諸島には鳥獣保護区に指定されている地域があり、そのため有害獣であるイノシシの狩猟が制限されるという矛盾が生じています。高齢化が進む離島では狩猟者を外部から呼び込む施策が必要とされていますが、鳥獣保護区内ではその取り組みが実現していないのが現状です。また、鳥獣保護区の解除に向けた取り組みも、一部の利害関係者の反対により進まないといった課題が指摘されています。</p> <p>この問題を解決するには、市の委託捕獲員だけに頼らず、外部の狩猟者や地域住民が主体的に駆除を先導する体制を構築することが重要です。さらに、R5年度に実施されたスマートアイランド実証事業で導入された機材を活用することで見回りの労力を軽減し、効率的な捕獲方法を導入するべきです。加えて、鳥獣保護区のあり方についても、国立公園の目的を優先する形で見直しを進め、イノシシ被害を抑えることで、公園本来の役割である自然保護と観光振興の両立を強く求めます。</p>	<p>島しょ部のイノシシ対策については喫緊の課題であると認識しております。現在島しょ部における捕獲は、地域住民組織の方々に主体で行っていただいていることから、組織の皆様の捕獲活動がより一層行いやすくなるよう、新たな取組を考えているところでございます。</p> <p>この度の見直しは、島しょ部を含めて総体的にバランスの取れた制度となるように改善することに主眼を置いています。いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
351	39	有害鳥獣被害対策事業	<p>削減しないでほしい。市民自らが免許を取って活動したいと思う事業に！</p> <p>地区内で組織を立ち上げ捕獲すると確実に減ってきている。捕獲していないと今以上に大変な事になっていると思う。小さな地域内で素人が2年間で40頭以上捕獲している。</p> <p>しかし、その労力（早朝から汗まみれ、筋肉痛、獣を差し止めるのは決して気持ちの良いものではなくトラウマにも、毎日の餌やり餌の確保等）時間、金銭面、免許の取得更新にも自己負担が大きい。</p> <p>業者に依頼しても、間に合わないし高額になるだろう。市長も職員も餌の確保から捕獲処理まで一連の作業をやってみては！</p> <p>せめて捕獲後の処理（軽トラック、重機が必要となる）を市役所で担当してほしい。</p>	<p>地域住民組織の皆様によるイノシシの捕獲は、本市の有害鳥獣被害対策事業に多大な貢献をいただいております。組織の皆様の捕獲活動がより一層行いやすくなるよう、新たな取組を考えているところでございます。</p> <p>この度の見直しは、協力金も含めて総体的にバランスの取れた制度となるように改善することに主眼を置いています。引き続き、有害鳥獣の捕獲従事者の負担軽減になるよう事業を進めてまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
352	39	森林経営管理事業	<p>「当初の事業目的を達成したため、廃止とする。」とあるが、間伐材は幾らでも成長してきます。やめた時点からまたもとの状態に戻ってゆきます。</p> <p>継続して手入れをしなければならない項目を廃止すべきではありません。こんな問題がなぜ廃止になるのでしょうか？</p> <p>もっと事業内容を吟味し必要なものは必要として継続するべきだと思います。</p>	<p>本事業は、市が管理を行う必要がある人工林に限定されています。今後も必要な森林整備事業等は行う予定です。</p>
353	39	漁業安全操業対策事業補助金、豊かな海の再生事業補助金	<p>廃止。ボランティアで海ごみは。自分の保険は自分で。</p>	<p>漁業安全操業対策事業補助金については、県内自治体の補助率に準じて補助率を見直し、継続して本市漁業者を支援してまいります。</p> <p>豊かな海の再生事業補助金については、関係団体が一丸となって海岸の環境美化や水産資源の保護等を行う活動に対し、随時補助額等の見直しを図りつつ支援を継続してまいります。</p>
354	39	水産物流通改善対策事業補助金	<p>「継続的な取り組みにより支援が進んだことから廃止する」とありますが、改善がすでにこれ以後は支援なくても現状の継続ができる見込みなのでしょうか？もし、継続的に支援しなければ効果が上がらなくなるのでしたら廃止すべきではないと思います。</p> <p>もっと事業内容を吟味し必要なものは必要として継続するべきだと思います。</p>	<p>本事業によって水産物の流通改善に係る支援を行った結果、販路拡大などに資する役割を果たしたことで近年の補助金実績額は減少しているため、当該事業については廃止といたしました。</p>
355	40	海辺の教室	<p>海辺の教室がなぜなくなるのか、毎年小人数で継続的に開催されており、参加者全員ほぼ一生に一度の貴重な体験(海での網上げ→魚の選別→セリの体験→三枚おろし→食す)だと思えます。又、今年から地元の人々もセリに参加し、非常に盛り上がった。地元の人々にしてみれば年1回ではあるが子供達の大きな声を聴いて元気を貰ったと喜んでいました。子供の声がほとんど聞こえない地域としては非常に残念。</p>	<p>当該事業は意義のある事業ではございますが、厳しい財政状況や人的負担の面を鑑みただ中で、やむなく廃止といたしました。しかしながら、本市としても事業実施にご協力いただいている関係団体と協議し、民間主体で実施できるよう可能な限り支援・協力を行いたいと考えております。</p>
356	40	企業・雇用情報提供(かきおか夢ワーク)事業	<p>廃止となっておりますが、逆に力を入れれないといけない事業ではないですか？「事業開始時と社会状況が変化していることから廃止する。」としているが、社会状況の変化に市が付いて行けてないだけではないですか？こういう情報発信は市の活性化に重要な項目です。廃止するのではなく、もっとITを学んでITを活用する技術や運営の仕方を学んで貰いたい。</p>	<p>笠岡市内の企業情報を一つのサイトに集約し、求人情報等の情報を発信するという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。今後につきましては、市のホームページにおいて企業情報等の情報発信に努めてまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
357	40	笠岡雇用開発協会 補助金	<p>本会は笠岡公共職業安定所管内（井原市を除く）の産業界における中高年齢者の雇用の安定、新規学卒労働力の確保等に関する事業を行うことにより、管内の住民の福祉の向上と産業の発展に寄与することを目的とした団体であり、井原雇用開発協会並びに井笠地域推進協議会と合同で事業を実施しております。令和元年並びに令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の中止や縮小を余儀なくされましたが、現在は制限なく事業が開催できており、会員数も大きな変更はございません。今後も、企業の存続と若者の地元定着の一助となるよう、高校生企業ガイダンス、企業向けセミナー、新規学卒就職者激励大会の開催など、様々な事業を行いたいと考えておりますが、各自治体からの補助金額は会員数に応じて負担されているため、笠岡市からの補助金が減額されれば、他自治体からの補助金額も減額となることが懸念されます。こうしたことから、前年度同様の支援継続を求めます。</p>	<p>笠岡公共職業安定所管内（井原市を除く）の住民の福祉の向上と産業の発展に寄与することを目的とした団体への補助は、産業界における中高年齢者の雇用の安定、新規学卒労働力の確保等に寄与するという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく一部見直しとし、他市町と同水準に補助額を見直しすることといたしました。</p>
358	41	笠岡市中小企業労務改善推進事業補助金	<p>笠岡市中小企業労務改善協議会は、従業員の労務環境、福利厚生を推進を目的として活動していますが、廃止理由となっている繰越金過多は、コロナ禍での活動縮小による要因が大きく、補助金の廃止が継続すれば、会の存続自体が危ぶまれます。</p>	<p>労働福祉の増進等の労務改善事業を行う同協議会への補助は、中小企業の発展と従業員の福祉向上に寄与するという意義のある事業でございますが、継続的な取組により、一定の成果を達成しているとともに、繰越金が多いという現状も踏まえ、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。</p>
359	41	笠岡祭行事実行委員会補助金	<p>イベントの集約や規模の見直しの必要性は理解しますが、笠岡さくら祭や笠岡港まつり花火大会は、市民が大変楽しみにしている笠岡市を代表するイベントの一つであり、地域の文化と誇りを象徴する行事です。特に花火大会は、昭和27年から70年以上にわたり開催され、市外・県外からも大勢の観客が集まる一大イベントです。中国地方最大級の大王（8号玉）を打ち上げる花火大会は「笠岡夏の風物詩」として、毎年多くの人々に親しまれています。</p> <p>しかし、補助金の減額は、花火代金を含む物価高騰や工事関連費用の増加、警備費用の高騰など、イベント運営にかかる費用に直接的な影響を及ぼします。特に、開催に必要な警備スタッフの確保やイベントの安全管理には十分な資源が必要であり、人的リソースの確保においても配慮が求められます。笠岡市内の職員の協力を得て、危険防止や安全管理が行われている現状を踏まえ、ボランティアのみで対応することは非常に困難です。引き続き、人的な協力についての最大限の配慮をお願いしたいと思います。</p> <p>また、これらのイベントは地域経済に与える影響が非常に大きく、観光客の増加や地元事業者の売上向上に寄与しています。花火大会などの大規模イベントは、宿泊業、飲食業、小売業などの地元経済の活性化に貢献し、イベント期間中の消費活動によって市内経済の循環を促進します。補助金の減額は、こうした経済効果の減少を招く恐れがあり、地域全体の活性化に向けた支援が引き続き必要であると考えます。</p> <p>したがって、これらの市民にとって貴重なイベントの継続的な開催に向けて、補助金の減額を見直し、地域経済への影響を最小限に抑えるための支援をお願いします。</p>	<p>笠岡さくら祭及び笠岡港まつり花火大会は、笠岡を代表するイベントではございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく一部見直しとし、補助額を2分の1に削減しました。</p> <p>また、イベントの実施に関しては、費用のみならず、準備や片付けなど、多くの市職員が関わっており、目に見えない人件費が発生しております。市職員の動員については、現状を踏まえ、検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
360	41	祭行事実行委員会 補助金	スポンサーからの寄附金と商工会議所内の予算でやってもらう。廃止。	笠岡さくら祭及び笠岡港まつり花火大会は、笠岡を代表するイベントでございます。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
361	41	祭行事実行委員会 補助金 よっちゃんれの夜実 行委員会補助金	<p>「原則のとおり、補助額を1/2に削減し、継続する。」となっておりますが、1/2って何ですか？何か意味を持つ数字なのですか？実際に行われているイベントの内容も吟味せずに一様に”原則“の大義名分を振りかざす。横暴極まりないやり方だと思います。</p> <p>各イベントは各種企業に寄付をお願いし、やり繰りをしながらイベントを行い、笠岡の活性化・活力の為に努力しています。その中身も何も分析せずに「原則1/2」はおかしい。</p> <p>また、補助金を1/2にしてどのようにイベントを行い、活性化を継続していくつもりなのか示して欲しい。本来なら市側で費用負担をしてもよいような事業を関係者が必至で寄付を募り、今まで運用を継続してきました。これを今やめたら火の消えたような笠岡市になると思いますがそれでいいのですか？それを目指しているのですか？</p>	<p>よっちゃんれの夜及び笠岡港まつり花火大会は、笠岡の夏の大きなイベントの一つであり、実行委員会が実施するイベントでございます。同イベントは、各種団体等からの寄附金も財源として実施されるイベントであり、協働で行われているものですが、厳しい財政状況の中で、やむなく一部見直しとし、補助額を2分の1に削減し、継続することといたしました。</p> <p>今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため、必要性や公共性に留意したうえで、継続とする場合でも2分の1とすることを原則としました。</p>
362	41	祭行事実行委員会 補助金 よっちゃんれの夜実 行委員会補助金	<p>歳出削減の効果額である6億～8億円は、笠岡市の財政健全化効果を生み出す反面、笠岡市内の事業者にとっては収入減少、市職員にとっては実質賃金の減少という負の効果がある。また、補助金減額とイベント削減によって、その実施や開催に付随する消費拡大効果も無くなるという副作用が発生するため、笠岡市内の経済活動に歳出削減額以上に大きな影響が出ると考えられる。歳入確保と歳出削減は当然努力すべきで理解できるが、市民は少しでも明るい笠岡市の未来が見える具体的な出口を求めている。</p> <p>商業のまちとして発展してきた笠岡市は、特徴ある産業の集積や観光開発が他市と比べ弱く、地政学的にも県境に位置することで近隣の自治体連携もやり辛い環境だと認識しているが、ハンディがあっても交通インフラの充実や道の駅を核とする干拓地の交流人口増加、日本遺産認定、バイオマス発電や風力発電のモノパイル工場など再生可能エネルギー関連企業の集積など様々なチャンスも考えられるので、笠岡市の現状（強み・弱み・環境・機会）をもう一度しっかり分析して、財政再建化の途上であっても、いつどこで何に注力するのかを明確化して、その先にある明るいストーリーが見えるプランにすることが求められているのではないかと。事業見直しの良い機会になっていると思うが、様々なチャンスがあること、笠岡市の歳出予算が市の経済を回している側面があること、またコミュニティを支える側面があることを十分に理解して財政再建を進めて頂きたいと思う。</p>	<p>イベントに対する補助金の減額により、その実施や開催に付随する実行委員会からの支出が減少することになるため、地域経済の活性化の効果が薄くなることに懸念されますが、厳しい財政状況を踏まえ、目的、必要性及び公益性に留意したうえで、やむなく補助を削減し、継続することといたしました。</p> <p>財政健全化の過程においても、市の経済が衰退することのないように努めてまいります。また、いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
363	41	商店街振興事業補助金、よっちゃんれの夜実行委員会補助金、いちょう祭り実施委託料	観光協会の予算とスポンサーからの寄附金でやってもらう。廃止。	<p>よっちゃんれの夜は、笠岡の夏の大きなイベントの一つであり、意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく一部見直しとし、補助額を2分の1に削減し、継続することとしております。</p> <p>商店街振興事業補助金については、商店街振興の観点から、これまでどおり、全額、使途が商店街振興に特定されている財源である商店街振興基金を活用し、実施団体の主体的な取組として、継続することを考えております。</p> <p>いちょう祭り実施委託料については、これまで、使途が特定されている商店街振興基金から事業費の2分の1を充当して実施してはいましたが、今後、財源については全額、基金を活用することとし、実施団体の主体的な取組として、継続することを考えております。</p>
364	41	よっちゃんれの夜実行委員会補助金	港まつりの協賛行事として、花火大会の前夜祭的な位置付けで長年開催しており、市外からの来場者も多く「笠岡の夏を活気づける大きなイベント」の一つとして定着しています。今以上の協賛金の増額も難しく、補助金の減額は、実施運営にとって厳しいものになります。	よっちゃんれの夜は、笠岡の夏の大きなイベントの一つではございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく一部見直しとし、補助額を2分の1に削減しました。
365	42	創業塾支援事業補助金	<p>商工会議所が中心となり、笠岡市、市内に本支店を有する金融機関、日本政策金融公庫と連携し、平成25年12月に「かさおか創業サポートセンター」を立ち上げ、その中で商工会議所が創業塾を実施しています。令和5年度末までの約10年間で、創業塾参加者数は261名、相談来訪者数は延べ3,352件、創業者数は155件となっています。現在では、年間で延べ400回以上の相談があり、定員越えでキャンセル待ちが発生する年もあります。さらに、近隣の商工団体からも紹介を受けるなど、創業支援の相談窓口として定着してきたと感じています。</p> <p>一方で、連携協定に基づく創業サポートセンターの創業サロン管理費の補助金約200万円は令和3年度で廃止され、現在は笠岡信用組合の創業・事業承継部を間借りし、事務費は商工会議所が負担して相談対応を行っています。創業支援は、雇用を生み出し、地域経済の活性化に寄与し、地域が抱える問題解決の糸口となる可能性を秘めています。雇用創出から税収増加につながり、住民の生活向上にも貢献すると考えます。このような創業支援をさらに推進するためにも、補助金の減額は創業支援の意欲に大きな影響を与えることが懸念されます。減額ではなく、創業支援の重要性を踏まえた継続的な支援と、さらなる増額の検討をお願いしたいと考えます。創業支援を継続的に行うことで、地域の発展を後押しするためにも、補助金の維持・増額を視野に入れていただきたいと思います。</p>	創業を目指している人に対して開催する創業塾は、創業の際の知識向上に繋がる重要な事業であり、創業に対する支援は、雇用を生み出し、地域経済の活性化に寄与する意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく一部見直しとし、必要性や公共性に留意したうえで、継続とする場合でも事業費を2分の1とすることを原則といたしました。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
366	42	創業塾支援事業補助金、地域産業魅力づくり応援事業補助金	廃止。商工会議所内の予算でやっていくのが創業イズム。	<p>創業を目指している人に対して開催する創業塾は、創業の際の知識向上に繋がる重要な事業であり、創業に対する支援は、雇用を生み出し、地域経済の活性化に寄与する意義のある事業でございますが、やむなく一部見直しとし、必要性や公共性に留意したうえで、継続とする場合でも事業費を2分の1とすることを原則としました。</p> <p>また、地域産業魅力づくり応援事業補助金については、廃止といたしました。</p>
367	42	地域産業魅力づくり応援事業	<p>「長年の継続により一定の支援が進んだため、廃止する」とあるが、一定の効果を認めながらも廃止の方向はおかしい。廃止には賛成できない。こういった事業は継続して行くことで成果が上がるものです。もっと支援を増やしても良いと思うのに逆行している気がします。廃止するなら今後地域産業をどう応援するのか示して欲しい。</p>	<p>地域産業魅力づくり応援事業補助金については、新商品の開発、販路開拓を行う中小企業者等に対して支援するという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。</p> <p>今後の地域産業に対しては、引き続き商工会議所への補助をはじめ、創業支援、空き店舗等活用事業費の補助を通じて応援してまいります。</p>
368	42	地域産業魅力づくり応援事業	<p>市内中小企業の新事業展開の推進を行うことを目的とした補助金ですが、一定の支援が進んだため廃止とされています。市内企業の投資意欲を後押しし、優れた商品・サービスを広く知っていただく上では廃止するのではなく、形を変えてでも残しておくべきだと思います。例えば展示会は国内に限る、補助率を一律1/2にする等の検討をお願いします。</p>	<p>地域産業魅力づくり応援事業補助金については、新商品の開発、販路開拓を行う中小企業者等に対して支援するという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。</p> <p>展示会への出展に関する支援は他の機関が実施しているものもありますので、支援する他の機関が作成したチラシ等で周知してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
369	42	笠岡ぐるっと博事業	<p>スタンプラリーは現在どの市でも人気イベントである。今までに既に13回行っており、ノウハウもある。今後もっと市内外で認知度が上がり、経済効果が期待できるイベントは、結果を急がず継続していく必要があると考える。</p>	<p>市内経済の活性化の観点において意義のある事業ではございますが、厳しい財政状況の中において、民間で同種の事業が実施されているものや別の制度で民間で実施できる事業については、やむなく廃止といたしました。</p>
370	42	笠岡ぐるっと博事業	<p>「民間にゆだねることとし、廃止する。」とあるが、一定の効果を認めながらも廃止し市政が手を引くと言うのはおかしい。廃止には賛成できない。民間に委ねてこの事業にかかわる費用をどう賄うのか？各店の負担になるなら本末転倒。諸物価が値上がりし、各店の経営も楽ではない中このようなイベントの費用が捻出できると考えているのか。負担が重くのしかかることになり、いずれはやめることになるのだろう。市政の方向として廃止は正しい選択とは思えない。今の物価高が継続すれば、体力のない店から倒産してゆく。笠岡からお店が無くなってゆく可能性がある。特に飲食店の中でも、チェーン店以外の個人商店に対し、何らかの支援を継続しなければいけない時代ではないか？その社会情勢を考えてもらいたい。</p>	<p>市内経済の活性化の観点において意義のある事業ではございますが、厳しい財政状況の中において、民間で同種の事業が実施されているものや別の制度で民間で実施できる事業については、やむなく廃止といたしました。</p>
371	42	笠岡ぐるっと博事業	<p>地域経済循環の一役を担っている事業であり、ぐるっと博をきっかけとしてお店に足を運ぶ方々が多くいる。何らかの形で残るようになれる支援はないのか再検討していただきたい。デジタル地域通貨が導入されていれば、そのシステム上でできていたのにと、新型コロナ予算で行われていなかったことが悔やまれる。財政状況に目途がたった時点で早急にデジタル地域通貨を導入いただきたい。</p>	<p>ぐるっと博事業につきましては、市内経済の活性化の観点において意義のある事業ではございますが、厳しい財政状況の中において、民間で同種の事業が実施されているものや別の制度で民間で実施できる事業については、やむなく廃止といたしました。</p> <p>地域通貨につきましては、導入・運用費用がかなりかかることから、導入に対する可能性を含めて現在研究しているところでございます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
372	42	商工会議所補助金	<p>商工会議所補助金については、平成16年・17年で1割カットされ450万円となり、その後およそ20年間にわたり見直しがされていません。財政健全化プラン（素案）では他の補助金と統合され、実質的には減額となります。</p> <p>商工会議所が実施する「経営支援」では、企業経営の基礎的な相談から、創業、事業承継、デジタル化、経営改善、販路開拓、新規事業の立ち上げなど、多岐に渡る支援を行っています。中小企業相談所の経営指導員や広域サポーターが巡回や窓口相談を通じて事業者の課題を把握し、笠岡市をはじめとする連携先や各種制度の利用を織り交ぜて支援を行っています。笠岡市と笠岡商工会議所が共同で作成し国の認定を受けている「経営発達支援計画」において、『笠岡づくり戦略の柱でもある“経営戦略「稼ぐ」”と“活性化戦略「賑わう」”力の創出のため、小規模事業者個別の「経営状況の分析支援」、「事業計画策定支援」、また事業計画の進捗状況等のフォローアップまで一貫した支援を長期的かつ計画的に実施し、地域経済の活性化に繋がる観光振興事業も推進していくことで、地域の雇用拡大及び交流人口の増加を目指す』としており、笠岡市との連携で中小企業の持続的発展に向けて連続した伴走型支援を実施する内容となっています。既存企業への支援、創業支援、事業承継支援は、笠岡市内の経済を活性化するための必須の取組みであり、その支援現場の最前線に商工会議所の使命と活動があります。商工会議所は、労力がかかりリターンが薄い案件や資金力に乏しく有料での支援を受けられない事業者の相談であっても受け入れ、事業者の皆さんにとって、セーフティネットともいえる支援組織であり、商工会議所の活動は、笠岡市の第7次総合計画後期基本計画における「商工業振興」の基本方針に沿った、地域経済活性化を目指す重要な取り組みです。支援ニーズが高まる中で、更なる支援力の向上と支援体制確保、そして経営発達支援計画の推進のためにも、増額に対する理解と配慮をお願いします。</p>	<p>商工会議所は市内の産業振興をはじめ、事業者への経営支援、創業支援等、さまざまな振興・支援事業を行っており、市内の地域振興、産業振興を図るため、商工会議所への支援は重要であることは承知しておりますが、厳しい財政状況において、他の補助金を統合したうえで、現行と同額で継続することを考えております。</p> <p>なお、経営発達支援をはじめとした中小企業相談所事業の人的費に対する補助金の要望（商工会議所補助金の増額要望）につきましては、その必要性を十分認識しており、財政状況を鑑みながら、別枠として検討してまいります。</p>
373	43	企業コーディネーター配置事業	<p>企業誘致や起業者に関連する民間事業者をサポーターとして連携できるよう、サポーター登録制度を考えてみたらいかがでしょうか？（無報酬でかまわないと思う）</p>	<p>常駐で、すぐに相談ができる企業コーディネーターと、相談に予約が必要な近隣自治体と共同で実施している備後圏域連携事業の「産業支援コーディネーター配置事業」や「福山ビジネスサポートセンター」等を活用して、事業者の支援を進めたいと考えております。</p>
374	43	企業コーディネーター配置事業	<p>成果が出ていないならば廃止すべき。</p>	<p>企業コーディネーターは、企業訪問による企業情報の収集、経営相談、補助金の紹介、取引支援、そして企業誘致など様々な業務を行っております。今回のプランで企業コーディネーターの削減を提案しておりますが、引き続き、関係機関との連携を密にすることで、業務を効率化し事業者の支援を行いたいと考えております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
375	43	企業コーディネーター配置事業 新設工場等設置奨励金 物流施設誘致促進奨励金	<p>令和7年度から8年度にかけて国道2号玉島笠岡道路及び笠岡バイパス開通と篠坂S AスマートICの供用開始が予定されていることから、企業の進出意欲の高まりと道の駅を中心とした交流人口の増加が期待される。このチャンスは、まさに財政再建化の集中取組期間に生じるものだが、民間の未利用地とのマッチングと新たな産業用地確保はしっかりと推進すべきと考える。</p> <p>企業誘致や投資を後押しする新設工場棟設置奨励金の廃止と物流施設誘致促進奨励金の見直し、企業誘致を推進する企業コーディネーター配置事業の見直し、そして道の駅施設拡張事業の凍結は特に残念であり、是非とも優先的に推進する項目として再検討を望みます。</p>	<p>交通インフラの拡充による広域交通の利便性の高さを生かした企業誘致を進めるために、庁内関係部署で構成する土地利用検討チームを設置し、企業への働きかけを行うなど、民間活力による新しい産業団地の誘導を進めているところです。</p> <p>また、道の駅笠岡ベイファーム施設拡張に関するハード事業につきましては一時凍結としておりますが、必要性は認識しており、飲食スペースや観光案内機能等の課題を整理したうえで、一連のインフラ整備の効果が損なわれないように、財源確保・リニューアル内容・スケジュールの調整等の準備を進め、本市の身の丈に合った施設となるように十分な検討を重ねてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、景観作物の適切な栽培管理、道の駅を拠点とした周遊や新たなイベントの企画等のソフト事業につきましては、国道2号笠岡バイパスの完成を控え、今後さらに多くの観光客の来場が見込まれるなかで、来場者に道の駅を楽しんでいただけるよう、来年度以降も継続して取り組んでまいります。</p>
376	44	企業立地促進奨励金	奨励金を半額カットに見直し。	歳入確保と地域に安定した雇用を創出するために、企業誘致は重要であり、今後も企業誘致等による新たな税財源の確保に努めたいと考えております。
377	44	観光コーディネーター配置事業	笠岡市観光協会では、主に地域おこしとなる取り組みや近隣の県からの誘客を目的としたツアーを行っている。笠岡市民や近隣の方にはまず笠岡の良さを知ってもらい、そこから情報発信されて人が流れてくるのを目的としているからである。インバウンドの必要性が増す中、また海外旅行ではなく国内旅行に需要が伸びている今、東京、大阪からの主要都市から人を呼ぶような取り組みも必要不可欠である。その為、マーケティングから始まり、コンサルティング的なプロの目線で新しい観光事業を作り上げてくれる人材は絶対に必要な存在だと考える。外部からのお金が入ってくる取り組みやイベントを多く考える動きは今後ますます時間と労力をかけるべきだと考える。	<p>本市の観光振興につきましては、笠岡市観光協会を主として推進していくこととしているため、当該事業は、市と観光コーディネーターとの雇用期間満了である令和7年度末をもって笠岡市観光協会に委ねることとし廃止といたしました。</p> <p>御懸念の点については、令和8年度以降も本市の観光を推進していくために、観光推進体制が後退することのないよう、笠岡市観光協会がその必要性について引き続き検討していくこととしております。</p>
378	44	観光コーディネーター配置事業	市外から人を集めるポイントだと思うので、活動が萎まないよう留意が必要かと考える。民間のサポーター登録制度で知恵を出し合うのもいいかと考える。	<p>本市の観光振興につきましては、笠岡市観光協会を主として推進していくこととしているため、当該事業は、市と観光コーディネーターとの雇用期間満了である令和7年度末をもって笠岡市観光協会に委ねることとし廃止としました。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
379	44	観光コーディネーター配置事業	国の助成金制度があるものを辞めるのももったいない気がします。この事業費の効果額に国の財源が含まれていて表の集計が間違っているのではないかと。	<p>本市の観光振興につきましては、笠岡市観光協会を主として推進していくこととしているため、当該事業は、市と観光コーディネーターとの雇用期間満了である令和7年度末をもって笠岡市観光協会に委ねることとし廃止としました。</p> <p>特定財源である国の補助金については、令和6年度をもって交付金の終期となり、令和7年度以降の財源については一般財源のみとなることから効果額については令和6年度の事業費を記載しています。</p>
380	44	観光イベント補助金	観光協会が補助金を出すべきで、廃止。	いただいた御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
381	44	ラーメンのまち笠岡全国展開プロジェクト推進事業補助金	<p>「費用対効果が出ていない」との理由で「ラーメンのまち笠岡全国展開プロジェクト」への補助金が商工会議所補助金450万円に統合され、本事業への補助が廃止とされています。しかしながら、笠岡ラーメンの知名度拡大は、平成15年に笠岡商工会議所青年部がゼロベースから取り組んだ街おこし事業が発点であり、これまで20年以上にわたり、市民や関係者が情熱を注いできた結果である。平成15年の取り組み開始以降、数々の地域イベントへPR出店し、平成17年度には「笠岡らーめん屋台プロジェクト」（岡山県補助金を活用）の実施を通じて知名度を徐々に高めてきました。また、平成21年には「ラーメンのまち笠岡全国展開プロジェクト推進委員会」が設立され、地域内外で以下のような取り組みを実施し、実績を上げてきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ラーメンパラダイス笠岡」開催（平成21年～23年）</li> <li>・「東京ラーメンショー2013」出展（平成25年）</li> <li>・セブンイレブンレンチン笠岡ラーメン発売（平成28年）</li> <li>・地域団体商標登録（令和元年）</li> <li>・「備中備後麺パラダイス」開催、寿がきやカップ麺全国発売（令和3年）</li> </ul> <p>これらの取り組みが、笠岡市そのものの認知度向上に大きく貢献し、市内の飲食業や観光業に少なからず寄与してきたと考えます。さらに、財団法人岡山経済研究所が2010年に実施した「ご当地グルメ経済効果調査事業」によれば、笠岡市における「笠岡ラーメン」の経済効果は、岡山県全体で6億1,400万円、笠岡市内では3億3,200万円という結果が示されており、笠岡ラーメンが地域経済に与えるポジティブな影響は明確です。地域ブランドを育て、持続可能な形で発展させるには長期的な視野で効果を見極めることが必要であり、本プロジェクトは、これまでの地道な活動の積み重ねによって得られた成果であることから、今後も継続的な支援が不可欠です。補助金廃止の決定について再考いただき、地域の活性化に向けた支援を引き続きご検討いただきますよう、強く要望します。</p>	笠岡の貴重な観光資源といえる「笠岡ラーメン」の情報発信・PR等の観点において意義のある事業であり、本プロジェクト推進委員会への支援は、大変重要であることは承知しております。しかし、厳しい財政状況の中において、商工会議所補助金に統合しても、実施していただくことができるものと判断したため、やむなく廃止といたしました。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
382	44	ラーメンのまち笠岡全国展開プロジェクト推進事業補助金	笠岡ラーメンは昨今、TVなどでも取り上げられていて、少しずつ知名度が上がってきている。県外のお客様も多く、TVを見て九州などから来られる方もおり、有名なグルメがあるのは大きな武器である。旅行でも美味しい物、好きな物を食べるのが目的で旅行先を決める方が多い。そういった中で、せっかく有名になりだした笠岡ラーメンのPR機会を失い、メディアからのオファー等がなくなるのは死活問題かと考える。今後よりPRに時間もお金をかけていかなければいけない分野と考える。	笠岡の貴重な観光資源といえる「笠岡ラーメン」の情報発信・PR等の観点において意義のある事業であり、本プロジェクト推進委員会への支援は、大変重要であることは承知しております。しかし、厳しい財政状況の中において、商工会議所補助金に統合しても、実施していただくことができるものと判断したため、やむなく廃止といたしました。
383	45	周遊型観光ツアー造成事業補助金	夏場は比較的海水浴目的などお客様が多いためツアーは行わないが、閑散期となる冬季の2～3月に人の流れが滞らないためにも笠岡諸島などを紹介するツアーを組むことが多い。過疎化が進む島は関係人口を増やす必要があり、こういったツアーが無くなると島の孤立化が増すばかりである。観光協会では、現在、島の方達が自主的に考えたおもてなしをツアーやイベントとして販売している。このツアー作成も数年行っているが、少しずつ島民の自主性が高まり、出来ることなどが見えてきた。このタイミングで支援がなくなると、ツアー作成自体の事業が少なくなり、今まで前向きだった島民の方達の士気も下がってしまう懸念が大いにある。人が動くような事業は続けていくべきかと考える。	旅行業者のツアー催行のきっかけや地域経済の活性化に繋がる意義のある事業でコロナ禍を契機に開始しましたが、コロナ禍が終息し、従来の経済活動に戻りつつあります。また、近年は実績も少ないことから、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。
384	45	周遊型観光ツアー造成事業補助金	これからの笠岡の観光振興を考えたとき、周遊型、他市との連携・周遊は必要。旅行会社にとっても、大きな励みとなるのではないかと。笠岡市、周辺市町、旅行会社、地域の連携強化を期待する。	旅行業者のツアー催行のきっかけや地域経済の活性化に繋がる意義のある事業でコロナ禍を契機に開始しましたが、コロナ禍が終息し、従来の経済活動に戻りつつあります。また、近年は実績も少ないことから、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。
385	45	観光振興事業補助金	観光協会への補助もかなりの額がいつているように思います。「みなとこばなし」があるのに税金を使いながら貸しビルに入っているのは無駄なように思います。	笠岡市観光協会は島しょ部を含む市内全域の観光振興事業を推進しているため、少しでも多くの方が観光協会を訪れやすいよう、駅前の現在の場所に観光案内所を設けています。
386	45	観光振興事業補助金	廃止。観光協会が補助金を出すのが道理。	いただいた御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
387	45	日本遺産推進事業	廃止。管理等はボランティアですべき。	日本遺産「石の島」ストーリーを共同申請した市町（笠岡市・丸亀市・土庄町・小豆島町）で構成する協議会による事業に加えて、各エリアにおいて情報発信、普及啓発、環境整備など単市単町の事業としても、連携して継続的に実施する必要性があることから、事業の内容の一部見直すなどの方法で事業を継続します。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
388	45	日本遺産推進事業	<p>現在、船代キャッシュバックを市民（子供）対象に行っているが、これにより市内の子供達も沢山島に出かけて自由研究などしてもらえるようになり、島へのハードルが下がったと感じている。今後は、市内の子供が市外の学校の友達と一緒に出掛けていけるような流れになれば、益々人の流動性も上がると考えていた。市内の方が色々な人を誘い合って使ってもらい、一度行った人が人を誘って来島するような流れを作りだすのが、この事業の目的であったと思う。まだこの事業も市民には認知されていないので、もっと使いやすい内容に改善して、是非続けていきたいと考えるので、是非継続していただきたい。</p>	<p>御意見いただいた内容については、笠岡市観光協会の独自事業として行われていますので、実施団体と共有するとともに、今度の取組の参考とさせていただきます。</p>
389	45	日本遺産推進事業	<p>一部見直しですが、減額するのではなくむしろ増額するべき事業では？日本遺産に認定されてから何か有効な施策が実行できましたか？市の観光行政として知恵もなくせつかくの日本遺産の認定が生かされていないと感じています。</p>	<p>今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるため、日本遺産に係る2市2町の連携の必要性に留意したうえで継続とする場合でも事業費を2分の1とすることを原則としました。</p>
390	44,45	観光に関する「当初の事業目的を達成」、「廃止」、「見直し」全般	<p>一般社団法人笠岡市観光協会は、「第7次笠岡市総合計画」及び「笠岡市産業振興ビジョン」等の他計画と連動させた「笠岡市観光振興ビジョン」が策定され、より効果的な観光施策を実施する団体として、令和3年4月に設立されました。</p> <p>当ビジョンの計画期間は、令和3年度～令和12年度の10年間となっており、具体的な施策を示すアクションプランについては、前期5年間、後期5年間とし、前期が終了する令和7年度に前期アクションプランの実施内容を総括・検証した上で後期アクションプランの策定を行うとなっている。設立当初は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、インバウンド需要は一時的に消滅し、日本人の国内旅行も半減するなど、観光は未曾有の深刻な影響を受けたことは御承知のとおりだと思います。現在、当協会は、地域の観光資源発掘のため地域へ足を運び、地域住民との関係性を深め、資源の磨き上げが出来つつありますが、効果が直ぐに実を結ぶものではありません。そうしたことから、アクションプランのとおり実施したのちに、素案にある観光に関する「当初の事業目的を達成」、「廃止」、「見直し」をされることを御一考いただきたい。国では、平成19年1月に施行された観光立国推進基本法の規定に基づき、観光立国の実現に関する基本的な計画として新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定された（令和5年3月31日閣議決定）。この基本計画においては、観光立国の持続可能な形での復活に向け、観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つをキーワードに、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の3つの戦略に取り組むこととしています。持続可能な形での観光立国の復活に向けて、本計画を政府一丸、官民一体となって着実に実施。また、岡山県は、瀬戸内海を囲む7県（兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県）と連携して観光の振興に取り組んでいます。笠岡市も、国・県が進める施策を推進し、地域経済や地域社会、地域文化の成長と発展を促されますようお願いいたします。</p>	<p>財政健全化プラン中の観光関連事業で「廃止」・「一部見直し」となっている事業は、どの事業も本市の観光振興に繋がる重要な事業であることは承知しておりますが、厳しい財政状況の中で、やむなく「廃止」・「一部見直し」といたしました。</p> <p>現在と同様に各種許可や財源確保に係る申請などについては、引き続き市もサポートしてまいります。</p> <p>また、今後笠岡市観光協会が効果的に観光施策を実施していくうえで新たに財政的な支援等が必要となるようでしたら、本市と笠岡市観光協会で協議を重ね検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
391	47	中学生海外派遣事業	廃止。財団から出してもらうべき。	いただいた御意見を財団と共有させていただき、今後の事業のあり方について検討させていただきます。
392	47	教員業務アシスタント配置事業	廃止。ボランティアで。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
393	47	小学校体育連盟補助金、中学校体育連盟補助金	廃止。連盟で運営すべき。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
394	47	市内体育大会等参加船借上補助金	廃止。移住者が来て以来移住者を甘えさせすぎ。	いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
395	47	一貫教育推進事業	廃止。ボランティアで。	学校教育におけるニーズや公益性を再度検討した結果、当該事業については従前どおりとして継続したいと考えています。
396	47	手親会補助金	廃止。ボランティアで。	手をつなぐ親の会の長年の活動の重要性を考慮し、一部見直しをしながらの支援の継続を考えています。
397	48	かさおか夏チャレンジ事業	廃止理由として「他事業と統合」となっていますが、他事業とは？	補充学習についてのすべての事業を岡山県の事業である「主体的な学びの基盤づくり事業」に統合することとしています。事業に係る経費には県からの委託金を財源として活用しており、個別の学習支援を効果的に支援できる新しい形での学習サポートをしていきたいと考えています。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
398	48	かさおか夏チャレンジ事業 学期末学習チャレンジ	「廃止：他事業と統合し、廃止する。」とあるがどの事業と統合するのかわからない。他の事業と統合した場合財源0円では事業ができず、だとしたら統合先の費用はどれぐらい増えるのか示されていないのでわからない。削減ばかり効果的にうたっているが一方、増える側ものもあると思う。	補充学習についてのすべての事業を岡山県の事業である「主体的な学びの基盤づくり事業」に統合することとしています。事業に係る経費には県からの委託金を財源として活用しており、個別の学習支援を効果的に支援できる新しい形での学習サポートをしていきたいと考えています。
399	48	かさおか夏チャレンジ事業 学期末学習チャレンジ	他事業と統合し廃止となっていますが、希望者が困ることのないようしっかりと新たな形でサポートをお願いします。	補充学習についてのすべての事業を岡山県の事業である「主体的な学びの基盤づくり事業」に統合することとしています。事業に係る経費には県からの委託金を財源として活用しており、個別の学習支援を効果的に支援できる新しい形での学習サポートをしていきたいと考えています。
400	48	外国語指導助手配置事業	廃止。ボランティアで。	子どもたちがグローバル化の一層進展する社会を生き抜くため、各学校に外国語指導助手（ALT）を派遣し、授業支援をすることで生きた英語を提供し、豊かな語学力、コミュニケーション能力、異文化理解の精神などを身につける必要性から事業内容を見直した上で、継続したいと考えております。
401	48	ひろがる未来応援事業	廃止。寄附金で。	本事業予算については全額ご寄付で事業実施しています。様々な交流活動や地域探究学習等を通して、自分で考え判断したり、他者と協働して身近な課題を解決しようとしたりする、笠岡市の未来を創る子どもの育成のため、当該事業については従前どおりとして継続したいと考えております。
402	48	中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	<p>「市内に在住の生徒を対象に、笠岡市教育委員会が指定する検定を受検するための検定料を、各検定につき年度内1回に限り補助する。」、「年度内に英語・数学・漢字全ての検定において3級以上に合格した生徒、または各検定において準2級以上に合格した生徒に対して別途表彰を行う。」に関しては、廃止に賛成です。</p> <p>しかし、これに伴って、「英語検定・数学検定・漢字検定の笠岡市内統一会場受験」は下記の理由により廃止しないで欲しいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.公立中学校で検定の実施をしていない学校が多いため</li> <li>2.塾に通っている生徒は塾の準会場で受験できるが、通っていない生徒は一般会場（倉敷や福山）で受験しないといけないため</li> <li>3.高校受験において検定は重要視されているため</li> </ol> <p>各公立中学校で英検、漢検、数検の実施が平等にあれば笠岡市の統一会場の実施は無くてもいいと思います。</p>	当該事業において、補助金申請を行う数は年々減少しており、対象者が少数に限定され学力向上という本事業の目的を達成できていないとは言えず廃止したいと考えています。「英語検定・数学検定・漢字検定の笠岡市内統一会場受験」実施については今後検討してまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
403	48	中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	「廃止」が提示されているが、むしろ、小学生まで広げて継続すべきではないか。英検や漢検のほかに、国連英検やTOEICなど、国際的なコミュニケーション力を身に付けるための指標となるような検定試験を加えることで、子どもたちの学習の動機づけになるのではないか。	当該事業において、補助金申請を行う数は年々減少しており、対象者が少数に限定されているため、学力向上という本事業の目的を達成できているとは言えず廃止したいと考えています。いただいた御意見につきましては、学校教育における今後の取組の参考とさせていただきます。
404	49	教育活動支援事業	廃止。ボランティアで。	特別な支援が必要な児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行うなど学校教育におけるニーズや公益性を再度検討した結果、当該事業については従前どおりとして継続したいと考えております。
405	49	いじめ・不登校対策総合推進事業	廃止。ボランティアで。	笠岡市総合教育相談支援センターの巡回カウンセラーによる学校訪問や不登校対策支援員等の支援により、いじめ・不登校等の問題行動に対しての未然防止、早期発見、早期対応等、学校教育におけるニーズや公益性を再度検討した結果、当該事業については従前どおりとして継続したいと考えています。
406	49	こころのプロジェクト「夢の教室」事業	廃止しないでほしい。「子どもは宝」。笠岡の子ども達5年生全員にアスリートの夢を聞かせたい。夢は持ってほしい。とてもいい思い出になると思う。	直接アスリートから話を聞けるという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、対象者が少数に限定されている事業は原則として廃止したいと考えています。今後、違った形での、自分の将来への夢や希望をもって可能性に挑戦する力を養う事業を検討してまいります。
407	49	こころのプロジェクト「夢の教室」事業	廃止。ボランティアで。	直接アスリートから話を聞けるという意義のある事業でございますが、厳しい財政状況の中で、対象者が少数に限定されている事業は原則として廃止したいと考えています。今後、違った形での、自分の将来への夢や希望をもって可能性に挑戦する力を養う事業を検討してまいります。
408	49	主体的な学びの基盤づくり事業	現在週1回程度で実施されていますが、一定の成果が得られているのではないのでしょうか。これが、回数が減ると今までのような成果が得られるか疑問に思います。「継続は力なり」、決まった時間に継続して学習することによって、集中して学習ができ、学力向上の効果が得られると思います。	補充学習についてのすべての事業を「主体的な学びの基盤づくり事業」に統合することとしています。個別の学習支援を効果的に支援できる新しい形での学習サポートをしていきたいと考えています。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
409	49	小中一貫教育コー ディネーター配置 事業	「廃止：他事業と統合し、廃止する。」とあるがどの事業と統合するのかわからない。他の事業と統合した場合財源0円では事業ができず、だとしたら統合先の費用はどれぐらい増えるのか示されていないのでわからない。廃止なのに効果額が0円となっているが、他事業へ全部の財源が付加されるから削減効果0円となっているのか？	すでに令和6年度中に、一貫教育推進事業へ移管し、事業を実施していることから、本事業は廃止したいと考えています。
410	50	市人権教育研究協 議会補助金	廃止。寄附金で。	人権教育のための教職員の資質や能力向上のための研修は必要だと考えています。その研修等にかかる費用の補助額を一部見直ししながらも、継続して支援したいと考えています。
411	50	教育相談事業	廃止。ボランティアで。	教育相談員を配置し、学校生活または社会生活において悩みを持つ児童生徒及び保護者等に対して専門性を維持した相談、助言及び援助等行っているところです。学校教育におけるニーズや公益性を再度検討した結果、当該事業については従前どおりとして継続したいと考えています。
412	50	離島留学応援事業	見直し。寄附金で。	地域プロジェクトマネージャーの任期が終わり、一定の成果が得られたことから廃止したいと考えています。
413	50	離島留学応援事業	「廃止：新たな事業の再検討を行うこととして一旦廃止とする。」とあるが新しい事業がどうなるのかわからないので判断できかねる。新しい取り組みを始める気があるのならその規模がどれくらいでいつからという見当はできているのか。もし、早い段階で新しい事業に変えるのなら毎年の削減額(効果額)6,600千円はおかしいだろう。どこかで新事業の財源が必要になる。	「笠岡市長期欠席不登校総合対策」の推進について、新たな事業を現在検討しています。予算規模等については現時点ではお答えすることができませんが、誰一人取り残さず、すべての子どもが社会的自立に向けた基礎を身につけられるような取組を展開していきたいと考えています。
414	50	離島留学応援事業	不登校児童にとっては島での自然体験や交流活動は意義深かった。他市町ではできない笠岡市だからこそその取組にも意味があった。地域プロジェクトマネージャーの任期終了により廃止となることは残念。主旨を尊重して、進めてほしい。	飛鳥相談室を設置し、（一社）飛鳥学園の協力を得ながら、自然体験や交流活動をとおして、笠岡市内の不登校・ひきこもり等、学校に行きづらさを感じている児童生徒の心身の健康を回復する取組は引き続き継続したいと考えています。いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
415	50	生涯学習諸学級事業補助金	<p>「廃止：他事業と目的の重複が見られることから、廃止する。」とあるが他事業がどれなのかわからないので判断できかねる。</p> <p>この事業の廃止は生涯学習を排除することにならないか？</p> <p>高齢者においては生きがいの意味もあり生涯学習の果たす役割も大きいのではないかと思う。</p> <p>廃止でなく、一部見直しではないか？</p>	<p>本市では、各種諸学級を通じて生涯学習の推進に努めてまいりました。ご指摘のとおり、各団体の活動内容には特色があり、重複が見られない活動も存在しています。しかしながら、財政健全化に向けた事業見直しにおいて、生涯学習の果たす役割の重要性を重々認識しつつも、やむを得ず本事業を廃止することといたしました。今後も、地域社会の発展と多くの市民が参加しやすい生涯学習の機会を提供するため、他の施策を通じて支援を続けてまいります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
416	50	生涯学習諸学級事業補助金	<p>重複事業ではない団体もあるので継続（届出の書類で決定する）</p>	<p>本市では、各種諸学級を通じて生涯学習の推進に努めてまいりました。ご指摘のとおり、各団体の活動内容には特色があり、重複が見られない活動も存在しています。しかしながら、財政健全化に向けた事業見直しにおいて、生涯学習の果たす役割の重要性を重々認識しつつも、やむを得ず本事業を廃止することといたしました。今後も、地域社会の発展と多くの市民が参加しやすい生涯学習の機会を提供するため、他の施策を通じて支援を続けてまいります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
417	51	家庭教育推進事業委託料	<p>廃止。ボランティアで。</p>	<p>本事業では、保護者を対象とした講演会や児童・生徒を対象とした奨励賞表彰などを実施しており、これをボランティアや寄附金のみで行うことは困難です。そのため、事業内容を見直して経費を削減しつつ、引き続き事業を継続してまいりたいと考えております。</p>
418	51	坂本音一育英会交付金	<p>市からの補助金なしで運営し、なくなり次第終了でいいのではないのでしょうか。</p>	<p>本市の財政健全化に向けた事業見直しの結果、いただいたご意見と同様の方向で検討しております。ご意見ありがとうございました。</p>
419	51	藤井育英会交付金	<p>「基金内で事業を継続する」となっているが効果額に特定財源・その他が計上されていない。</p> <p>効果額434千円→1,200千円の間違いではないか？</p> <p>この上の坂本育英会の分は全額が効果額に計上されている。</p>	<p>藤井育英会の事業費については、これまで笠岡市と育英会で折半していましたが、今回の見直しにより笠岡市負担分を育英会基金からの支出に変更します。その結果、「効果額（一般財源）」として計上している金額は、笠岡市の負担がなくなる分を反映したものであり、記載に誤りはありません。特定財源（その他）として計上される766千円は、育英会基金からの取り崩し分です。</p> <p>一方、坂本音一育英会については運営形態が異なり、公益財団法人の基金から支出されるため、特定財源（その他）は計上されておりません。この違いにより、計上方法が異なる点をご理解ください。</p> <p>引き続き、両育英会の運営が円滑に行われるよう努めてまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
420	51	婦人団体育成補助金	廃止。ボランティアで。	婦人会は、生涯学習や環境美化活動のほか、地域行事の運営をボランティアとして支えるなど、市政に重要な役割を果たしています。これらの活動を持続的に支援するため、補助額を見直しつつ、引き続き支援してまいりたいと考えています。
421	51	生涯学習フェスティバル実施委託料	廃止。市民として当たり前のことをしているのだから寄附金で。	本市の財政健全化に向けた事業見直しの中で、生涯学習関連予算についても見直しを進めております。「笠岡市生涯学習フェスティバル」は「生涯学習宣言都市」としての本市の象徴的な事業であり、市民の学びと交流の場として重要な役割を果たしていると考えています。今後も寄附金なども含めた財源確保の工夫を行いつつ、事業費の見直しを通じて効率的な運営を図りながら継続してまいります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
422	52	たくましい笠岡っ子育成事業報償費	特に貧困家庭では体験活動の機会が少ないとアンケートでもわかっています。地域ぐるみで子どもの体験機会を後押しする取り組みに移行するとありますが、こちらの予算はどこに追加となるのでしょうか。	ご意見のとおり、体験活動の機会格差は近年の社会課題として認識されています。市内では、地区公民館、放課後子ども教室、NPO法人などが主催する多様な体験活動の場がありますが、周知不足や参加者が限定的な状況が課題となっています。今後は情報発信を強化し、より多くの子どもたちが体験活動に参加できるよう努めてまいります。 なお、地域への費用補助の予定はありませんが、体験活動の広報や情報共有を通じて、地域ぐるみで子どもの体験機会を広げる取り組みを支援してまいります。
423	52	たくましい笠岡っ子育成事業報償費	地域ぐるみで子どもの体験機会を後押しする取組に移行するため、廃止するのであれば、地域にその費用の補助をするのか。	市内では、地区公民館、放課後子ども教室、NPO法人などが主催する様々な体験活動の場がありますが、周知が十分ではなく、参加者が限定的である現状が課題です。今後は情報発信を強化し、より多くの青少年がこれらの活動に参加できるよう努めてまいります。 地域への費用補助の予定はありませんが、広報や情報共有を通じて、地域が主導する体験活動を支援してまいります。
424	52	文化振興事業委託料	たかが趣味の世界の取るに足らないイベントだと思われていませんか。打ち込める趣味を持つことは大切なことです。特に高齢者にとっては尚更です。三度三度の食事が体の健康を維持するためのものであれば、趣味は心の健康を保つための欠かせないアイテムなのです。委託料が半減することで、いくつかの発表機会を見送らざるを得ない状況です。為政者は、汗をかくこともせず一律に半額カットするという安易な手法をとってはなりません。99万円の委託料を、今後とも堅持されることを要望します。	文化・芸術は人々の感性を育て、心を豊かにし、文化振興を継続的に行うことは、地域社会の発展と市民生活の質の向上に欠かせないものであるということは重々承知しておりますが、厳しい財政状況の中で、やむなく見直し対象となりました。見直しにあたっては、岡山県下（近隣市町）の事業実施状況を調査、比較を行い、事業の統廃合や見直しをすることとしています。継続事業に関しても、他市町と比べ手厚くなっている部分の経費については削減を行い、費用のかからない方法でより一層の事業内容充実に努めてまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
425	52	文化振興事業委託料	一部の人の自己満足にすぎない展覧会などは、一部見直しではなく廃止を望む。	文化・芸術は人々の感性を育て、心を豊かにし、文化振興を継続的に行うことは、地域社会の発展と市民生活の質の向上に欠かせないものです。見直しにあたっては、岡山県下（近隣市町）の事業実施状況を調査、比較を行い、事業の統廃合や見直しをすることとしています。継続事業に関しても、他市町と比べ手厚くなっている部分の経費については削減を行い、費用のかからない方法でより一層の事業内容充実に努めてまいります。
426	52	文化振興事業委託料	一部の人の自己満足にすぎない展覧会などは、一部見直しではなく廃止を望む。	文化・芸術は人々の感性を育て、心を豊かにし、文化振興を継続的に行うことは、地域社会の発展と市民生活の質の向上に欠かせないものです。見直しにあたっては、岡山県下（近隣市町）の事業実施状況を調査、比較を行い、事業の統廃合や見直しをすることとしています。継続事業に関しても、他市町と比べ手厚くなっている部分の経費については削減を行い、費用のかからない方法でより一層の事業内容充実に努めてまいります。
427	52	文化振興事業委託料	合同で開催し、ボランティアと各財団、企業等からの寄附金で。	文化・芸術は人々の感性を育て、心を豊かにし、文化振興を継続的に行うことは、地域社会の発展と市民生活の質の向上に欠かせないものです。見直しにあたっては、岡山県下（近隣市町）の事業実施状況を調査、比較を行い、事業の統廃合や見直しをすることとしています。継続事業に関しても、他市町と比べ手厚くなっている部分の経費については削減を行い、費用のかからない方法でより一層の事業内容充実に努めてまいります。
428	52	文化振興事業委託料	「事業費を1/2程度に削減する。」とあるが1/2になんの意味があるのか？委託をどうする必要な費用はいくらなのか確認の上調整が必要と思う。1/2で事業の継続ができないと事業そのものが無くなれば、市の文化的な活動が無くなることにならないか。 今回の素案では文化的なものはぶつ潰す考えなのか？	文化・芸術は人々の感性を育て、心を豊かにし、文化振興を継続的に行うことは、地域社会の発展と市民生活の質の向上に欠かせないものであるということは重々承知しておりますが、厳しい財政状況の中で、やむなく見直し対象となりました。見直しにあたっては、岡山県下（近隣市町）の事業実施状況を調査、比較を行い、事業の統廃合や見直しをすることとしています。継続事業に関しても、他市町と比べ手厚くなっている部分の経費については削減を行い、費用のかからない方法でより一層の事業内容充実に努めてまいります。
429	52	放課後子ども教室	廃止。ボランティアと寄附金で。	本事業は、地域のボランティアの協力を得ることで、地域社会全体の教育力向上と地域の活性化を目的としています。しかし、すべての経費を寄附金で賄うことは現実的ではありません。また、本事業は国や県が推進し、事業費の2/3が助成されていることから、引き続き継続して実施してまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
430	53	木山捷平文学選奨	廃止。ボランティアと寄附金で。	<p>木山捷平文学選奨は、笠岡市出身の詩人・小説家木山捷平の優れた業績を顕彰するとともに、短編小説を全国公募にすることで全国に笠岡と捷平を発信する機会となっています。また、市民等を対象に随筆・詩・短歌・川柳・俳句の作品募集を行うことで、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上の一助となっており、子どもたちからも素晴らしい作品の応募が多数あります。そこで、厳しい財政状況の中ではありますが、当該事業については内容の見直しを行い、経費を削減したうえで、引き続き継続することといたしました。</p>
431	53	木山捷平文学選奨	木山捷平文学選奨は、まず全国公募の短編小説賞をやめるべきだと思います。小学生に俳句・短歌も違和感があります。	<p>木山捷平文学選奨は、笠岡市出身の詩人・小説家木山捷平の優れた業績を顕彰するとともに、短編小説を全国公募にすることで全国に笠岡と捷平を発信する機会となっています。また、市民等を対象に随筆・詩・短歌・川柳・俳句の作品募集を行うことで、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上の一助となっており、子どもたちからも素晴らしい作品の応募が多数あります。そこで、厳しい財政状況の中ではありますが、当該事業については内容の見直しを行い、経費を削減したうえで、引き続き継続することといたしました。</p>
432	53	文化事業各種講演会	廃止。ボランティアと寄附金で。	<p>本事業は一般的な文化講演会とは異なり、笠岡市教育委員会として明確な目的をもって、その都度特定のテーマの講演会を行うものです。各事業の目的に沿った講師をお呼びしておりますので、ボランティアで行うことは難しいものと思われます。事業内容を見直し、経費節減に努めながら継続してまいりたいと考えております。</p>
433	53	文化事業各種講演会	<p>「一部見直し」となっているが効果額が大きすぎないか？  効果額が元の526千円から400千円削減は76%カットとなっている。従来より1/4の予算で一部見直しで継続できると考えているとしたら事業内容を見ていない。各後援会事業の必要経費はいくらか検討したのか？  笠岡市の文化的事業は必要ないとの判断をされているのか？</p>	<p>本事業は一般的な文化講演会のことではなく、笠岡市教育委員会として明確な目的をもって、その都度特定のテーマの講演会を行うものです。令和6年度に実施する津雲貝塚追加指定記念講演会、茅原基治顕彰講演会、木山捷平文学選奨20周年講演会などは、元々毎年実施しているものではなく、その意義を皆様に広くお伝えする機会を得たり、あるいは将来の取組みにつなげるための一つのステップとして必要と考える場合に実施しているものです。今後も機会があれば計画してまいりたいと考えております。</p> <p>森田思軒顕彰講演会は、笠岡市出身の先人・森田思軒を顕彰する目的で毎年開催しておりますが、小野竹喬や木山捷平と異なり、地元笠岡において森田思軒とその功績を周知する機会はこの取組み以外にないため、事業内容を一部見直し、経費節減に努めながら、継続してまいりたいと考えております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
434	53	青少年スピーチコンテスト	廃止。ボランティアと寄附金で。	本事業は、生徒に貴重な発表の場を提供し、表現力や自信を育むことを目的としており、市が引き続き主催していく予定ですが、事業内容を見直して経費を削減しつつ、より効果的な運営を目指してまいります。
435	53	青少年育成推進大会	廃止。ボランティアと寄附金で。	本大会は、青少年健全育成を市民総ぐるみで推進するための重要な取り組みであり、長年活動いただいている方々に感謝を示す場でもあります。また、育成活動への市民意識を高めることは、長期的に地域社会の安定や活性化につながると考えています。今後も経費節減に努めつつ、大会を継続して実施してまいります。
436	53	青少年健全育成推進大会 青少年育成地区活動推進事業補助金	この活動が、青少年の健全育成に効果を発揮しているのか疑問。活動しているメンバーも、公民館関係者といった、いろいろな委員の面々と大きく変わらない。また、コロナ禍以降、大した活動もしていない。	本大会は、長年活動いただいている方々への感謝を示す場であり、市民総ぐるみで青少年健全育成に取り組む気運を醸成する重要な取り組みです。この活動が地域社会の安定や活性化に寄与するものと考えております。経費節減に努めつつ、引き続き大会を実施してまいります。 一方で、青少年育成地区活動推進事業補助金についてもご意見をいただいておりますが、地域ごとに活動の状況はさまざまであり、一律に評価することは難しい面がございます。現在も地道に取り組んでおられる方々には深く感謝しております。ただ、厳しい財政状況の中で持続可能な事業運営を図るため、補助金の削減という苦渋の選択をいたしました。今後も地域の実情を踏まえつつ、青少年育成活動の効果的な推進に努めてまいります。
437	53	市民大学教養講座	「廃止：他事業と事業目的.効果が重複していることから廃止する。」となっているが他の事業が何かわからないので判断できない。 ひょっとして相手になる他の事業も廃止してはいないでしょうか？ こういった文化的な活動や市民の生きがいにつながるような事業はこれからの高齢化社会においては重要になってくるのではないですか。	笠岡市社会福祉協議会では、高齢者の生きがいと健康づくり推進事業として「ことぶき大学」を開講しております。この事業は、主に高齢者を対象にした生涯学習の場を提供するものであり、市民大学教養講座の目的と一部重複する内容となっています。また、各部署においても目的に応じて講演会や講座を実施し、多様な市民ニーズに応える取り組みを行っております。さらに、笠岡市中央公民館では主催・自主講座の充実を図り、誰もが学びたいことを学べる環境を整えて参ります。市民の皆さまの生涯学習への関心の高さを真摯に受け止め、高齢化社会においても市民が学び、生きがいを見つける場を提供できるよう、これからも努力してまいります。
438	54	公民館活動助成事業等補助金	廃止。ボランティアと寄附金で。	公民館活動助成事業等補助金は、多くの地域住民が参加できる事業や地域活性化を支える重要な役割を果たしています。「ボランティアや寄附金で」というご提案については真摯に受け止めつつ、こうした活動は地域全体で支えるべき公共性の高い事業と考えております。今後も限られた補助金の中で事業の有効性を精査し、創意工夫を図りながら充実した活動を目指して参ります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
439	54	公民館活動助成事業等補助金	<p>公民館活動助成事業等補助金の件ですが補助金削減に反対します。10%削減は多すぎます。公民館は地域の活性化を支える重要な拠点です。数々の行事をこの補助金でまかなっています。これを削減するということは、地域住民の行事参加の機会が減少し、地区民の活動意欲が低下する可能性があります。</p> <p>補助金の削減は短期的には財政節減になりますが、地域社会の発展にとって長期的に不利益を生む恐れがあります。</p> <p>現状、毎年、補助金だけでは足りず、地元費を十数万円注ぎ込んでいます。公民館への支援は、最も重要な公共投資の一つであると考えます。</p>	<p>公民館活動助成事業等補助金は、多くの地域住民が参加できる事業や地域を活性化する事業として重要であると認識しております。いただいたご意見についても真摯に受け止めております。他の事業では50%削減案も検討される中、公民館活動助成事業については、その重要性を考慮し、削減幅を10%に抑えた形での見直し案としております。この決定は、地域活動の意欲や機会をできる限り守りながら、財政健全化に努めるための苦渋の選択であることをご理解いただければ幸いです。</p> <p>今後も、限られた補助金の中で事業の有効性を精査し、地域住民の創意工夫を活かしながら、さらに充実した事業を展開していきたいと考えております。</p>
440	54	公民館活動助成事業等補助金	<p>「一部見直し：10%削減」となっているが10%に何の意味があるのか？昔の公民館活動に対しては100万円の補助が出ていたがだんだん削減されて40万円更に削減されて30万程度になろうとしている。</p> <p>公民館活動は市民の活性化や文化的な教養を身に着けたりと多岐にわたって活動できている唯一の活動団体です。</p> <p>こういった文化的な活動や市民の生きがいにつながるような事業はこれからの高齢化社会においては重要になってくるのではないですか。</p> <p>笠岡の主力の活動団体の補助を減らすのは分かりませんが、反対です。</p> <p>もし、公民館の事業を縮小するなら市民活動の活性化の代替案はあるのですか？それを示してもらいたい。</p>	<p>ご意見をいただきましたとおり、公民館活動助成補助金は、多くの地域住民が参加できる事業や地域を活性化する事業を支える重要な役割を果たしてきました。市としても、公民館活動が市民の活性化や文化的教養の向上、生きがいづくりに大きく寄与していることを十分に認識しております。補助金の削減については、全市的な財政健全化の取り組みの中で、他事業とのバランスや公民館活動の重要性を考慮し、10%という削減幅を設定しました。この削減幅は、財政状況を反映しつつ、公民館活動を維持し続けるための苦渋の選択であることをご理解いただければ幸いです。また、いただいた「市民活動の活性化の代替案」についてのご意見は真摯に受け止めております。現時点では具体的な代替案をご提示するには至っておりませんが、市民の皆さまの声を踏まえ、地域社会の活性化に向けた支援の在り方を今後も慎重に検討して参ります。今後も、限られた補助金の中で事業の有効性を精査し、創意工夫を行いながら、地域活動を維持・充実させていきたいと考えております。市民の皆さまの声を大切にしながら、地域社会の活性化に努めて参ります。</p>
441	54	市民会館自主事業委託料	<p>市民会館自主事業における自主講座は、一過性のイベントとは違い、主に高齢者の生涯学習の場として機能している側面がある。学生や若者と違い、定期的に通える場が整えられているわけではなく居場所を自ら探さなければならない高齢者にとって、定期的に社会生活に参加できる、引きこもり予防、認知症予防にもなっている貴重な講座。高齢者の学びにつながる、社会参加できる場所はなるべく残していただきたい。</p>	<p>市民会館自主事業委託料の大半はホールを活用した事業に充当されています。自主講座が生涯学習の場も兼ねた居場所のひとつとして大変重要であることは承知しておりますが、厳しい財政状況の中で、やむなく廃止といたしました。しかしながら、受講者も多く、講座として収支が成り立っているものについて、市民会館指定管理者において事業継続ができないか要望してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
442	54	図書館開館日拡充事業	見直し。月曜日が休みの市民もいると思いますので第2・4火曜日を休館に	<p>仰る通り、特定の曜日を休館日になると、一部の利用者の方にご不便をおかけすることになるかもしれません。しかし、現状では月曜日の来館者数や貸出冊数が最も少なく、休館の影響も少ないと考えております。</p> <p>また、図書館の巡回業務や相互貸借などの業務は火曜日から金曜日に集中しており、他の曜日を休館日になるとこれらのサービスに影響が出る可能性があります。特に巡回業務は、図書館に来館できない方々への重要なサービスであり、市内どこにお住まいの方でも利用できることを目指しています。</p> <p>休館日数は増えますが、現状のサービスを維持できるよう職員一同努めてまいります。</p>
443	54	図書館開館日拡充事業	毎週月曜日を休館日にするという案ですが、まずもって、①市民からボランティアを募る(図書館係員の一部を市民が担当する)、②管理方法の簡素化(必要最小限の業務とし、少ない職員体制で運営する)といった工夫により、これまでの開館日を維持する方法を検討すべきではないでしょうか。こうした可能性の検討がまず必要と考える。	<p>ボランティアによる図書館業務の一部担当については、今後の取り組みの参考として検討させていただきます。</p> <p>管理方法の簡素化については、仰る通り重要な課題であり、職員も業務の見直しを日々進めております。幸い、コロナ禍を除けば、来館者数や貸出冊数は毎年増加しており、それに伴い業務量も増加しています。これまでは業務改善や職員の工夫で対応してきましたが、厳しい財政状況の中、現状の開館日数を維持することが難しい状況です。今後も引き続き、効率的な運営方法を検討してまいります。</p>
444	54	図書館開館日拡充事業	P54図書館の月曜休館に賛成します。そのための人件費削減に努めるべきです。	月曜日を休館日とすることで、今後も効率的な運営を目指し、運営体制の見直しを行ってまいります。
445	54	図書館開館日拡充事業	現在行われている第4月曜を除く月曜開館を止めることには、反対である。スマホやテレビで遊ぶのではなく、大人も子どもも読書する習慣を身につけることは大切だ。知識を得るだけでなく心を豊かにするような本をたくさん読みたいし、子どもたちにも読ませたい。	<p>仰るとおり、読書の習慣を身につけることは、子どもたちを含むすべての世代にとって非常に大切なことです。また、心を豊かにする本に触れることは、知識を得るだけでなく、人生を豊かにする手助けにもなります。できるだけ多くの開館日数を確保できればと私たちも考えておりますが、厳しい財政状況の中、現在の開館日数を維持することが難しい状況となっています。とはいえ、開館日が減少しても、引き続き読書の楽しさを広め、すべての世代の皆様にご覧の本と出会っていただけるよう、より効果的な図書館利用システムの構築など様々な形で努めてまいります。今後も図書館をご利用いただき、読書の楽しさを感じていただけることを心より願っております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
446	54	ブックスタート事業	この事業がスタートする時は絵本2冊だったと思います。現在は、3冊となっているのではないかと思います。赤ちゃんと保護者が豊かな言葉を交わし、気持ちを通わせながら楽しい時間を過ごすことで、赤ちゃんの心健やかな成長を応援する絵本が選考されており、冊数が減っても、乳児健診で赤ちゃんに保護者が豊かな言葉で気持ちを通わせながら心触れ合うことができるよう司書が読み聞かせを実施する時間が大切だと思います。冊数は減っても構いませんが、司書の読み聞かせは残してください。乳児健診を受けないご家庭には、赤ちゃん訪問の機会を利用して、保健師がブックスタートの絵本を1～2頁でもよいので、読み聞かせ例を示すのもよいかもしれません。	本事業は、近隣市町と比較して手厚い内容となっており、厳しい財政状況を踏まえ、配布基準を見直したいと考えております。絵本の配布冊数は減りますが、事業の主旨は変更せず、引き続き司書による読み聞かせなどを実施いたします。また、乳児健診を受けないご家庭に対しては、子育て支援課と連携し、対応してまいります。なお、絵本の配布冊数は、当初から現在まで3冊で、変更は行っておりません。
447	54	カプトガニ保護少年団補助金	廃止。博物館は入場料upと節約俟約始末で	カプトガニ保護少年団は、カプトガニ生息地近隣の市内5中学校で組織され、各学校は年間2万円の補助金を受けて活動しています。団体は、カプトガニ博物館での保護啓発活動にも積極的に参加しており、次世代にカプトガニ保護の重要性や自然環境への意識を伝える役割を果たしています。この活動は、郷土愛の育成にもつながる重要な取り組みであると考えています。今後も引き続き、少年団の活動を支援してまいります。
448	54	竹喬美術館特別展・テーマ展	・竹喬美術館のテーマ展の開催回数を削減するよりも、注目度の高い展示を増やして特別展の入館者を増やしたり入館料を柔軟に設定したりして、収入を増やす企画を検討すべき。美術館の知名度を上げて市外からの来館者を呼び込み、市内の回遊性を高めると経済効果が期待できる。	特別展の削減により経費の節減に加え、館蔵品の整理による作品の保存環境の向上及び効率的な管理にも注力する計画としております。これにより、美術館内外の研究者による研究が深化し、美術館の信頼性や評価の向上が期待されます。また、いただいたご提案を参考に、集客力の高い注目度のある展覧会を企画し、知名度を高め、収入の増加に努めてまいります。
449	54	竹喬美術館特別展・テーマ展	廃止。美術館の職員の人脉と各財団、企業からの寄附金で。入場料upし金のかからない特別展、テーマ展を行う。	特別展の削減により経費の節減に加え、館蔵品の整理による作品の保存環境の向上及び効率的な管理にも注力する計画としております。これにより、美術館内外の研究者による研究が深化し、美術館の信頼性や評価の向上が期待されます。また、いただいたご提案を参考に、集客力の高い注目度のある展覧会を企画し、知名度を高め、収入の増加に努めてまいります。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
450	54	竹喬美術館特別展・テーマ展	竹喬美術館の特別展テーマ展削減に賛成します。特別展を減らし、竹喬作品をある程度展示することが必要だと思います。	竹喬作品の展示を充実させることは重要な取り組みであり、今後も竹喬作品を中心に、より多くの来館者にご覧いただけるよう努力してまいります
451	55	スポーツ少年団補助金	廃止。ボランティアと寄附金で。	いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
452	55	スポーツ推進委員活動報酬	廃止。ボランティアと寄附金で。	いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
453	55	スポーツ推進委員活動報酬	幼児から高齢者対象のニュースポーツ派遣活動に差別をつける事となる。活動の規制はよくない。	スポーツ推進委員の活動により、近年ニュースポーツが市内で普及し、派遣依頼も増加してきていることは重々承知しております。 大変厳しい財政状況の中、事業費の削減とはなりますが、限られた予算の中での実施方法を考え、ニュースポーツの普及を図って参ります。
454	55	スポーツ奨励金制度について (スポーツ少年団活動補助金?)	現在、県大会、全国大会、世界大会出場者に奨励金を渡していますが、少数人数のスポーツにあたっては、誰でも世界大会に出れるレベルであって、家族で1年に100,000円程度受け取っています。これこそ税金の無駄だと思います。全国大会レベルで入賞した方に支給するのはわかりますが、大会に参加するにあたっての支給は、個人の習い事のため支給する必要はないです。他の市町村もここまで支給してる市はないです。毎年100,000円程度非課税でもらえるなら、スポーツ奨励金制度は、市民の公平になっていない。 利用は限られた競技に、偏っているので、財政が厳しい笠岡市は、来年度から早急に廃止するべきです。	スポーツ賞揚につきましては、公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団により、全国大会等へ出場された方へ賞揚しているものとなります。 笠岡市の事業見直しと同様に、公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団の事業につきましても、継続的な事業運営を行うため、事業の見直しを行うこととしております。
455	55	ファミリーウォーキング大会補助金	「他に類似事業があることから廃止する。」とありますが、類似事業とはなんですか？ 市民が集うスポーツ大会を廃止し、このようなスポーツ大会は意味がないとお考えですか？	現在、笠岡市では、オリエンテーリング大会やマラソン大会等を開催しております。 ファミリーウォーキング大会につきましては、商工会議所の主催事業であるため、事業の廃止ではなく補助金の廃止とし、事業の継続については関連団体に委ねたいと考えております。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
456	55	ベイファーム駅伝大会	<p>「実業団に委ねることとし、廃止する。」とありますが運営費用は実業団の参加費だけで賄えと言う事ですか？</p> <p>P55では各スポーツ大会が廃止になっていますが、笠岡市ではこういったスポーツ大会は開催されなくても良いと言う姿勢でしょうか？</p>	<p>大変厳しい財政状況の中、事業費については廃止としておりますが、実業団が中心となり、大会開催が可能か検討して参ります。</p>
457	56	プロスポーツ団体連携協定事業委託料	<p>「一定の成果が得られたことから、委託事業について再度検討するため、廃止する。」とありますが再度検討し何らかの形で事業を行う事は無いのでしょうか？シーガルズはもう応援しないというのか？</p> <p>もし、まだ違った形でも笠岡市出身の監督を応援するような気持があるなら削減効果が毎年続く事は無く新たな事業費が計上されるはずである。</p> <p>こういった増えるかもしれない金額(または効果額が少なくなる)が検討されず効果だけうたっている。</p> <p>全額が効果額に組み入れられるのは削減しか見ていなくて、事業内容の検討がされていない事を示している。</p>	<p>岡山シーガルズにつきましては、笠岡市飛鳥出身の河本監督とのご縁で長年にわたり応援してきております。</p> <p>委託料につきましては、令和5年度から開始しておりますが、今後も岡山シーガルズを応援していくことには変わりはなく、トップアスリートの試合を間近で見られる機会を提供することは、子どもたちや市民にとって非常に有益であると考えております。引き続き当市で公式戦を開催していただけるよう協議をしていきたいと考えております。</p>
458	57	イベント事業	<p>笠岡は何もない町です。イベントは縮小していかざるを得ないのかもしれませんが、空と大地のカーニバルのように他にはないインパクトのある何かを行ってもよいのではないのでしょうか。</p> <p>何事もいったん辞めてしまうと再開することは難しいものです。事業に関してもそうならないようにして行って下さい。</p>	<p>イベントは費用面、人的な面においても大きな負担となりますが、必要なイベントについては、形を変えながら、実施していきたいと考えております。</p>
459	57	イベント事業	<p>地域人口の減少のため必要なのは、新しい形での人々の共同です。</p> <p>市役所職員さんの手間にかかるイベント費用は減少するのに賛成ですが、地域の自主自治にまかす費用として切り替えてはいかがでしょうか。防災のためにも日々の生活のためにも地域住民が話し合っって作るいろいろのものが大切です。</p>	<p>地域活動の活性化は非常に重要だと考えておりますので、地域組織のあり方や効果的な支援方法を検討してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
460	57	イベント事業	一定の成果があったもので継続の必要性の小さいもの（費用対効果の低いもの）や肥大化したイベント事業など廃止・縮小など含めて見直しすべきものと思います。時期的なものもあるでしょうが、市主催イベントの同日開催が多いように感じます。	今回の見直しでイベント等についても統合などにより廃止や一部見直しを行うこととしています。実施する時期についても検討してまいります。
461	57	イベント事業	全体の行事やイベントの中止について 市長の公約を実現するために、それぞれの分野でみんなが楽しみにしていることをやめてしまうのはおかしいと思います。それが市民の笑顔につながるのでしょうか？ 市長は、もともと市議会議員を経験されているので、選挙の前から市の財政のことはあらかじめ分かっていたはずだと思います。ここにきて急に、公約を実現するためのお金がないなんて言わないはずだと思います。みんなが笑顔で暮らせるよう、市はもっと親身になって市長の想いを汲んであげてほしいと思います。 行事やイベントの廃止については、一方的に決めるのではなく、関係者との対話により再度見直しをお願いします。	今回は非常に大きな財源不足が生じる見込みとなったことから、やむを得ずイベント等についても見直しを行いました。イベントは費用面、人的な面においても大きな負担となりますが、真に必要なイベントについては、形を変えながら、実施していきたいと考えております。
462		イベント事業	市民が参加する各種イベントを廃止、一部見直し等は市民の楽しみをうばうこととなる。銭が無いから子供の誕生日祝いをなくしたら、子供は親に対していかに思うか考えてほしい。	今回は非常に大きな財源不足が生じる見込みとなったことから、やむを得ずイベント等についても見直しを行いました。イベントは費用面、人的な面においても大きな負担となりますが、真に必要なイベントについては、形を変えながら、実施していきたいと思います。
463	57	イベント事業	ここでの事業廃止や一部見直し統合の一覧を見ると、笠岡市の文化的事業は一体どうなるのかと心配になる。 見直した後のどうなるというイメージが示されていないので判断できないが、あまりにも廃止や統合などが多すぎる気がする。 笠岡市の文化・スポーツが衰退してしまうのではないかと？市民の「笑顔が広がるまちづくり」のビジョンからかけ離れて行っているのではないかと思う。 事業廃止や見直しは新しい事業のイメージを示して事業費を削減してもこうなりますよという新しい形を示してもらわなければ、一方的に削除しますよだけでは賛成できない。	今回は非常に大きな財源不足が生じる見込みとなったことから、やむを得ず見直しを行いました。文化やスポーツの振興も市の重要な役割のひとつですので、引き続き形を変えながら、施策の推進を図ってまいります。
464	56	白石島オリエン テーリング事業	廃止。ボランティアと寄附金で。	いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
465	57	笠岡市青少年柔剣 道大会	廃止。ボランティアと寄附金で。	いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
466	59	カブトガニ駅伝大会	<p>カブトガニ駅伝大会の前身は、御嶽山1周リレー、マラソン大会です。その後、カブトガニ保護地沿岸を走るコースに変更した際に名称も「カブトガニ」を用いた駅伝大会になりました。御嶽山1周リレー、マラソン大会から名称を変えて今年で第38回を迎えることができました。笠岡市内外の小学生、中学生、高校生、一般選手の「駅伝」という日本発祥の競技を襟によって繋いで走る競技として師走の風物詩として根付いています。今年の代表者会議におきましても、参加者から来年から「カブトガニ駅伝」大会が廃止になるかもしれないという不安の声が上がり継続実施を望む声が多く上がりました。スポーツ協会、笠岡市陸上協会、学校関係者、チームの指導者、選手から存続の声が強くあがりました。今まで笠岡市より補助金をいただき大会運営がスムーズにいきましたことには感謝しています。運営に伴う費用が多額となっていたことは承知しております。この問題を解決しないと来年の大会は開催できない判断しました。</p> <p>以下、「解決策」について</p> <p>(1) 太陽の広場のコースをアグリスポーツ公園内に変更</p> <p>①スタート、ゴール(中継所)が1か所できる。</p> <p>②中継審判員、走路員が少なくすむ。</p> <p>(2) 経費の削減</p> <p>①テントの設営がいらない(レンタル料がかからない)</p> <p>②記録の集計が短時間で終わる</p> <p>③うどんの提供の廃止</p> <p>(3) 賞品代等の節約</p> <p>①参加費の値上げ</p> <p>②スポンサーを募集</p> <p>(4) 既存の用具、備品の有効活用</p> <p>①新規に必要な物品は入札等をして購入、もしくは他者から借りる関係各位に以上意見を述べ取り組みを実施することを前提に協会としても検討を加えるので、「廃止」ではなく「継続」を慎重に審議していただきますようよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>カブトガニ駅伝につきましては、非常に歴史ある大会であり、毎年多くの市民に参加頂いている年末の風物詩といえる大会となっております。</p> <p>しかしながら、人口減少や少子化の影響もあり、近年参加チームの減少や市内チームの減少傾向が続いております。そのため、大変厳しい財政状況の中、事業費については削減となっておりますが、ご提案していただいているように会場を変更するなど見直しを行い、笠岡市スポーツ協会が中心となり開催が可能か検討して参ります。</p>
467	61	大規模ハード事業	<p>たちまち大規模ハード事業は凍結させざるを得ないと思うが学校統合をなるべく早期に実施して、人件費、維持管理費等も減らしていけるようになると思う。</p>	<p>児童・生徒数が想定以上に減少している中で、学校の「適正規模・適正配置」について改めて検討していく必要があり、現在、小中学校の学校規模適正化計画の見直しをしているところです。大規模ハード事業につきましては、学校規模適正化計画の改訂版策定後に、事業内容・規模・時期などを再度検討した上で実施してまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
468	61	本庁舎建設事業	<p>本庁舎建設事業は“前倒しを検討”と記述されているのみで内容が不明である。</p> <p>当該庁舎は竣工が昭和30年のRC構造物で現行の新耐震基準に適合するものではなく全面的な建て替えが必要であり、笠岡市においても令和元年度に発出した新庁舎建設検討プロジェクトチームが検討を進めていると聞き及んでいる。</p> <p>新庁舎完成までに万が一対象規模の地震発生があった場合の代替え機能は準備されているとは思いますがこれまで一般市民に対する情報提供は無い。</p> <p>“前倒しを検討”についての具体策の公表が求められる。</p>	<p>現在の市役所本庁舎は耐震化ができない状態であり、震度6以上の地震により倒壊又は崩壊する危険性が高い状況にあります。災害等により、本庁舎の機能が失われた場合は、笠岡市業務継続計画に基づき、耐震性能を満たしている分庁舎第1(中央公民館)の建物に、本庁舎の中枢機能を移転することとし、教育委員会会議室に災害対策本部を設置して、災害対応にあたる予定としています。</p> <p>建替えの時期は、現在のところ決定していませんが、まずは財政健全化プランを確実に実行することで財源を確保するとともに、国に対しても財政措置の要望を行うことで、可能な限り早期に実現したいと考えています。</p>
469	61	本庁舎建設事業	<p>市役所の建て替えについてはいいと思う。市役所を建て替えるタイミングで市役所と消防署を合同庁舎として建て替えるべきだと思う。(もし災害が発生した際に防災拠点にもなるし情報をいち早く知ることできる)別々に建て替えるよりもコストが浮く。</p>	<p>消防署は、笠岡市、浅口市、里庄町で事務を共同処理する一部事務組合の所管であるため、本市だけの判断で決めることはできませんが、本庁舎建替えにあたっては様々な可能性を排除せず、検討していきたいと考えています。</p>
470	61	本庁舎建設事業	<p>予算に相当の余裕が出来てからにして下さい。多額の費用をかけて市庁舎を立て替えてもほぼ歳入増は見込めません。多くの市民もお金がない中での前倒しの建設など望んでいませんから。</p>	<p>現在の市役所本庁舎は耐震化ができない状態であり、震度6以上の地震により倒壊又は崩壊する危険性が高い状況にあります。市役所庁舎は、災害等の発生時においても必要な行政サービスを提供できるよう、市民や職員が安心して利用できる安全性を備えるとともに、情報収集や迅速な復旧活動を行う防災拠点施設としての役割を果たせる、安心・安全な庁舎である必要があります。まずは財政健全化プランを確実に実行することで財源を確保するとともに、国に対しても財政措置の要望を行うことで、可能な限り早期に建替えを実現したいと考えています。</p>
471	61	本庁舎建設事業	<p>本庁舎建築の前倒しに賛成します。一刻も早く南海トラフに備えるべきです。</p>	<p>現在の市役所本庁舎は耐震化ができない状態であり、震度6以上の地震により倒壊又は崩壊する危険性が高い状況にあります。災害時に防災拠点施設としての役割を果たすためにも、まずは財政健全化プランを確実に実行することで財源を確保するとともに、国に対しても財政措置の要望を行うことで、可能な限り早期に建替えを実現したいと考えています。</p>
472	61	道の駅施設拡張事業	<p>歳出の削減については、令和7年度から8年度にかけて国道2号玉島笠岡道路及び笠岡バイパス開通と篠坂SAスマートICの供用開始が予定されていることから、企業の進出意欲の高まりと道の駅を中心とした交流人口の増加が期待される。このチャンスは、まさに財政再建の集中取組期間に生じるものだが、民間の未利用地とのマッチングと新たな産業用地確保はしっかりと推進すべきと考える。</p> <p>企業誘致や投資を後押しする新設工場等設置奨励金の廃止と物流施設誘致促進奨励金の見直し、企業誘致を推進する企業コーディネーター配置事業の見直し、そして道の駅施設拡張事業の凍結は特に残念であり、是非とも優先的に推進する項目として再検討を望みます。</p>	<p>交通インフラの拡充による広域交通の利便性の高さを生かした企業誘致を進めるために、庁内関係部署で構成する土地利用検討チームを設置し、企業への働きかけを行うなど、民間活力による新しい産業団地の誘導を進めているところです。</p> <p>また、道の駅笠岡ベイファーム施設拡張に関するハード事業につきましては一時凍結としておりますが、必要性は認識しており、飲食スペースや観光案内機能等の課題を整理したうえで、一連のインフラ整備の効果が損なわれないように、財源確保・リニューアル内容・スケジュールの調整等の準備を進め、本市の身の丈に合った施設となるように十分な検討を重ねてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、景観作物の適切な栽培管理、道の駅を拠点とした周遊や新たなイベントの企画等のソフト事業につきましては、国道2号笠岡バイパスの完成を控え、今後さらに多くの観光客の来場が見込まれるなかで、来場者に道の駅を楽しんでいただけるよう、来年度以降も継続して取り組んでまいります。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
473	61	道の駅施設拡張事業	凍結しないで下さい。素案では歳出がこれだけ減りますとありますが、投資をすることで観光収入増が見込まれます。	道の駅笠岡ベイファーム施設拡張に関するハード事業につきましては一時凍結としておりますが、必要性は認識しており、飲食スペースや観光案内機能等の課題を整理したうえで、一連のインフラ整備の効果が損なわれないように、財源確保・リニューアル内容・スケジュールの調整等の準備を進め、本市の身の丈に合った施設となるように十分な検討を重ねてまいりたいと考えております。
474	61	篠坂スマートインターチェンジ整備事業	篠坂スマートI.C.の設立は延期を。市が財政難な時に篠坂スマートI.C.は必要ありません。そもそも地元住民は反対しています。	篠坂PAスマートIC整備事業は、国、県及び西日本高速道路（株）と連携して行っている事業であり、笠岡市単独の判断で中止、延期することは、極めて困難な事業です。 できるだけ市の単独経費を節減して実施してまいりたいと考えており、地元の皆さまにもご協力をお願いしてまいります。
475	61	J R 笠岡駅南周辺整備事業（南改札等）	この事業は、笠岡の顔「J R 笠岡駅周辺」を中心とする市街地の活性化を目的として取り纏められた「J R 笠岡駅周辺整備基本構想（平成30年3月）」の具体化を目指して、以降「J R 笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会」で何度かの協議を重ねられて来たことと承知している。地元の住吉地区住民はもとより、笠岡市民の多くがこの事業に大きな期待を掛けている中において、今回の健全化プランでは“凍結”とされていることに対して大いなる疑問を抱かざるを得ない。 確かに、一般財源約3億円の支出を含めて笠岡市負担事業費が約38億余円と言う大きな財政負担を伴うものではあるが、今や低迷の一途を辿りつつある笠岡市の経済活動の再生において欠くことの出来ない事業であることは明白であろう。J R 笠岡駅南周辺は国道2号線により南北に分断されていることが大きな要因となり一体としての開発が妨げられてきたが、国道2号線が笠岡干拓地内通過に切り替わることにより長距離大型トラック類の通過交通は大半がバイパス化され、現道は生活道路としての機能が中心となる。笠岡市発展の将来展望を考える時、“有人7島”と笠岡港及びJ R 笠岡駅の物理的・心理的距離が近づくことが如何に大きな武器となることかは言わずもがなである。 “事業見直しの視点（別冊）”では「原則未着手のハード事業については計画を一時凍結とし、単年度に経費負担が集中しないよう今後の方針や整備期間を検討します」とあるが、この事業の重要性に鑑み「第8次笠岡市総合計画」（不明）では重要施策と位置付けて頂きたい。	J R 笠岡駅南周辺整備事業につきましては、今後の方針や整備時期などを検討することとし、計画の一時凍結を行っております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
476	61	J R 笠岡駅南周辺整備事業（南改札等）	<p>凍結されるとのことですが、今まで検討されてきた駅南周辺整備の検討内容を教えていただくことはできませんか？</p> <p>笠岡市には笠岡諸島という素晴らしい観光資源があります。市には離島航路維持、離島魅力発信事業、日本遺産推進事業、学生の修学支援、交通費支援と多くの離島関係の事業があります。それらの事業により魅力的な笠岡諸島になり、島民が暮らしやすい、また多くの観光客に来ていただける島になればと思います。</p> <p>気になるのが、笠岡駅から笠岡港へのアクセスの悪さです。駅から港までは直線距離で150メートルしかありません。しかし、先日歩いたら6分かかりました。駅から地下道を通して、国道2号線は横断歩道橋で渡り、港まで歩きました。地下道、歩道橋とアップダウンがあるので疲れます。今までの笠岡駅南周辺整備事業で笠岡駅と笠岡港のアクセスをどのようにしようと検討されているのが気になります。個人的には笠岡駅を橋上化し、南側に歩道橋を笠岡港ターミナルに向け国道2号線をまたぐまで設置する。笠岡駅を出て南へまっすぐ150メートル歩けば港ターミナルに到着するようになればと思います。これを中心にした周辺整備計画であってほしいと思います。</p> <p>笠岡駅から笠岡港へのアクセスが良くなれば笠岡諸島への観光客が増えることが期待できます。それに笠岡港ターミナルには「みなと・こばなし」という立派な交流施設があります。この施設が笠岡駅から簡単にアクセスできることで、笠岡駅を利用している高校生の交流の場となることも期待できます。電車待ちの高校生が、学校が違って、学年が違って、性別が違って交流できる場があれば素晴らしいと思います。</p> <p>全面凍結の前に今までの検討内容を市民に提示し、市民の意見を聞いてもらえたらと思います。当方は人で賑わう笠岡駅や笠岡港が早く見たいです。検討のほど、よろしく願います。</p> <p>笠岡駅から笠岡港まで150メートル。 笠岡駅から歩道橋は80メートル（国道2号線をまたぐまで） 参考：橋上化した鴨方駅改札階から延びる歩道橋（国道2号線をまたいでいる） 笠岡港ターミナル「みなと・こばなし」交流スペース 窓の外には海が見え気分は最高。笠岡駅南周辺整備後は駅から徒歩2分ぐらいか・・・</p>	<p>JR笠岡駅南周辺整備事業につきましては、今後の方針や整備時期などを検討することとし、計画の一時凍結を行っております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
477	61	J R 笠岡駅南周辺整備事業（南改札等）	<p>JR笠岡駅は笠岡市の顔であり、中心です。多くの市民が整備されることを願っています。今すぐには無理としても凍結を見直していただきたいです。遅れば遅れるほど、市の発展も遅れ、街の魅力が失われ市民が減少します。</p>	<p>JR笠岡駅南周辺整備事業につきましては、今後の方針や整備時期などを検討することとし、計画の一時凍結を行っております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
478	61	J R 笠岡駅南周辺整備事業（南改札等）	<p>凍結しないで下さい。素案では歳出がこれだけ減りますとありますが、この2事業（道の駅、JR周辺整備）に投資をすることで観光収入増が見込まれるのです。</p>	<p>JR笠岡駅南周辺整備事業につきましては、今後の方針や整備時期などを検討することとし、計画の一時凍結を行っております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
479	61	公営住宅（富岡） 建替事業	<p>県の土地は無償譲渡が決まっています。空き地となる市営住宅跡地を宅地として売り出せば売却収入プラス固定資産税増、移住による人口増が見込まれます。当然建替えた後の家賃収入増も見込めます。先行投資をして後の歳入を増やすという民間の経営感覚が無ければ自治体の未来は拓けないと思います。</p>	<p>公営住宅の建替事業につきましては、今後の方針や整備時期などを検討することとし、計画の一時凍結を行っております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
480	61	小中一貫校整備事業（金浦）	<p>計画通り実行してください。近隣市町村に先駆けて学校教育の改革に取り組む事で、教育に関心のある世帯の笠岡への移住が見込まれます。他の2小中一貫校も計画を実行してください。</p>	<p>学校規模適正化計画については、令和2年度に小中一貫校整備を含めた内容に改訂を行いました。令和6年度にその後の出生数等の減少を踏まえて、将来の児童生徒数を再評価した結果、これまでの予想を大きく下回る見込みとなりました。そのため、現在、学校規模適正化計画の改訂の準備を進めており、計画改訂後に小中一貫校の整備については、再度検討してまいります。</p>
481	61	小中一貫校整備事業	<p>上記について、巨額の市債が減ることは良いことですが、このことで子供の教育にしわ寄せがいくのはあってはならないことです。私の子供は同級生が5人です。統合されて人数が増えて多様性が増す環境を同級生の親御さんみんなと期待していましたが、統合は凍結されました。</p> <p>同級生の人数が増えないことは決まりました。子供達の学びの場で多様性のある環境はもう諦めるしかないのでしょうか？</p> <p>「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月中央教育審議会）においては、全ての子どもたちの可能性を引き出す、“個別最適な学び”と“協働的な学び”の一体的な充実に向けて取り組むこととされています。この流れは、0歳～18歳までの、小学校就学前の保育園・幼稚園・こども園から高等学校段階までの子どもを、切れ目なく総合的に支援する施策へと広がりを見せています。全国を見渡すと、幼小中混在の「軽井沢風越学園」、0歳から15歳のシームレス教育の福島県大熊町「学び舎ゆめのもり」、イエナプランの福山市「常石ともに学園」、全校縦割りチーム制をとる小中一貫の本巣市立「根尾学園」など、これまでの学年学級制をとらない実践校も増えてきています。</p> <p>大規模な学校を新設して子供の人数が増やせないのなら、今ある学校でこういった事例のように、少人数だからこそできる新しい学びの形にすることで、今の時代にあったよりよい教育環境をつくれるのではないのでしょうか。</p> <p>この教育環境の実現は下記の笠岡市の目指すビジョンに合致しますし、子どもたちによりあった教育環境が整備されることで不登校の数も減る可能性があると思います。</p>	<p>児童・生徒数が想定以上に減少している中で、学校の「適正規模・適正配置」について改めて検討していく必要があり、現在、学校規模適正化計画の改訂の準備を進めています。その中で小学校では「複式学級の解消に努める」、中学校では「クラス替えが可能な規模の学校を複数維持する」という方針を掲げており、一定規模の集団を確保し、効果的な教育活動を展開することが必要と考えています。</p> <p>こうした取り組みに加え、「小規模の特性を生かして特色のある教育を行う特認校を維持する」という方針も掲げており、特認校を存続することで、少人数ならではの良さを活かした教育環境の整備にも併せて努めていきたいと考えます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
482	61	小中一貫校整備事業（凍結）	小中一貫校の建築凍結に賛成します。小学校に関しては、先ず複式教育の解消（陸地部）を急ぐべきだと思います。	児童・生徒数が想定以上に減少している中で、学校の「適正規模・適正配置」について改めて検討していく必要があり、現在、学校規模適正化計画の改訂に向けて準備を進めており、小学校については、「複式学級の解消に努める」という方針のもと、保護者・地域の方に丁寧な説明や意見交換会を行ったうえで、計画的に統廃合を進めていきたいと考えています。また、学校規模適正化計画の改訂版策定後、小中一貫校の在り方や設置等についても、再度検討を進めてまいります。
483	なし	市民病院	笠岡市民病院の建て替えについては反対。必ずしも建て替え必要があるのか。市民病院を持たない考えはないのか。（浅口市は市民病院を持っていないが特段困っていないと思う）市民病院を持たなければ、病院の維持管理代、職員の人件費が浮く。職員などは笠岡第一病院や笠岡中央病院などへ移籍するように斡旋し笠岡市は人件費の補助や建物や設備への補助をするほうがコストが浮くのではないかと。もし、建て替えるのであれば産婦人科を入れてほしい。（栗尾市長公約）	市民病院のあり方については、これまで市民、関係機関、有識者等から意見聴取や協議を行い、将来の医療ニーズを見越した規模や地域の医療機関等との連携等も踏まえた新病院基本計画や経営強化プランを策定しています。 経営形態については、将来を見据え、より柔軟に、また働き方改革等医療環境の変化に対応するため、指定管理者制度や一般地方独立行政法人等への移行を、引き続き検討していきます。 また、新病院における診療科目については、現在の診療科目を維持する予定としています。産婦人科については、市民病院における出産再開を目指し、まずは福山市民病院との連携による産科セミオープンシステムの実施により、妊婦の方が安心して出産できるための環境整備に努めていきます。 ※産科セミオープンシステム…妊婦健診は近くの医療機関（市民病院）で受け、分娩は取扱病院や周産期母子医療センター（福山市民病院）で行うことにより、分娩の安全性と妊産婦の利便性を保ち、それぞれの医療機関の特性を生かした役割分担が可能となるシステム。
484	なし	救急艇	救急艇はいつまで運用する予定なのか。年間の維持費、運用費がどれほどなのか。笠岡市自体が人口が減少していき財政が厳しい中、高齢化が著しい島嶼部のために財源を使うのはどうなのか。それも、前市長の公約の代替え案で建造された救急艇。島嶼部にも安心して暮らしてもらいたいというのは綺麗事すぎる。島嶼部に住むなら、それなりの覚悟を持って住んでもらいたい。今すぐにでも廃止するべき。	島しょ部は高齢化率が高く救急需要も高まっており、陸地部と同様の救急搬送医療体制は必要と考えております。一方、島しょ部人口は年々著しく減少しておりますので、救急艇運航体制については、今後、検討する必要があると考えております。 なお、運行事業費については令和5年度決算で26,860千円です。

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
485		NPO補助金全体 に対して	<p>NPOの事業は多岐にわたっていますが、福祉関連が多いです。</p> <p>事業内容を見ていると、確かに、困窮している方々に、きめ細かな事業を展開されていると感心しています。</p> <p>しかしながら、事業のいくつかは、NPO自体が多岐にわたり多くの事業に手を付け、NPO自身で事業見直しを行わず、NPOの事業維持のために自立を考えず補助金を申請してまですべきことなのか、という事業が見受けられます。</p> <p>また、運営方法において、補助金頼みで自立にほど遠いものが多く見受けられます。例えば、利用者負担が、ゼロや格安で、本来そのサービスのコストと見合っていないと思われるものが多いと感じています。</p> <p>運営については、利用者負担の見直しや、賛同してくれる企業を探し、会社名の入った事業名にしたりする努力をもう少しして、自立という感覚を育ててもらいたく思います。その不足分を補助金として頂きたいし、不要と思われる事業に、補助しないでいただきたい。</p> <p>また、食の提供サービスにおいては、一部の地域だけが恩恵にあずかる。また、それも回数として適性なのか、という疑問を感じざるを得ない。</p> <p>食は一日3食、毎日必要な物で、まちづくり協議会に実態を調べてもらい、市全体の課題解決に取り組んでいただき、地域間の不公平が無いようみ、まちづくり協議会に地域の課題解決として行って頂くのも一つの解決方法ではないかと考える。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。補助対象事業の必要性や効果について十分検討しながら、補助対象事業者と協議を行った上で、適切な補助金交付を行ってまいります。また、地域の実情を把握する地域の各種団体等とも連携しながら福祉を推進してまいります。</p>
486		その他	<p>事業見直しについては、福祉関係、福利厚生的な事業が多く削られている。これは仕方がない面もあるが、今の状況をしっかり理解してもらった上でないと不満が募るので十分な理解が得られるよう説明が必要である。</p>	<p>福祉、子育て、教育など、市民生活に大きな影響があるような事業については、配慮を行っています。今後も関係者としっかり対話しながら、相互理解の上で施策を進めてまいります。</p>
487		その他	<p>財政が厳しいので味気ない笠岡市となるが、早く希望が持てるように大鉈を適切に振るうことも良しとしたい。</p>	<p>今回は非常に大きな財源不足が生じる見込みとなったことから、やむを得ず大きな見直しを行いました。今回の健全化の取組により財政構造を転換させ、新たな施策を展開してまいります。</p>
488		その他	<p>各部・課の項目に優先順位市民に見やすくわかりやすくと思います。まずは市が見直しをする前に市民の声を聞いた上で、仕分した上で見直し案を作成した方が市民も理解協力支援してくれると思います。</p> <p>財政難になって一番切られるのが弱者（親切的な女性臨時職員や障がい者、低所得者、老人等）です。弱者へのしわ寄せです。今回のような財政難になったのは市職員や市民も補助金が自分の財布から出てない（税金を払って使われてる）ことの認識不足からだと思います。予算は全部使いきるのが当たり前だと思いますので予算を余る部・課へ臨時ボーナス（笠岡市内の商品券）を渡してみてもどうでしょうか。もちろん人事評価にもです。</p> <p>一番改善しなければいけないのが人事課の指導不足です。稼ぐ力から儲ける力（市と市民が”信”じる”者”）を身につけられるよう頑張ってください。</p>	<p>今回は来年度に大きな財源不足が発生する見込みとなったことから、当初予算に間に合わせるため、非常に短期間での対応となってしまいました。しかし、まずは素案として提案し、パブリックコメントで皆様から意見をいただいてから最終案を作成することといたしました。</p> <p>予算に余りが出た場合には、最終の補正予算で減額して補正予算の財源としたり、不用残として処理することを基本としています。余った予算は地方財政法に基づきその半分以上を基金に積み立て、残りは次年度に繰り越し、補正予算のための財源としております。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
489		その他	<p>本編P4「必要性や妥当性を鑑みて見直しを行いました」とあるが、この見直しについて、本当にそうなのでしょうか？</p> <p>まず、原則二分の一のカットや他団体との統合を視野に他事業と統合しとなっているのが本当に「必要性や妥当性を鑑みて」いるのか？</p> <p>①廃止について廃止した時にあるものについてはその後のサービスがどうなるか知りたいところではあるが何も示されていない</p> <p>②原則二分の一のカットは「必要性や妥当性を何も鑑みていない」という事ではないのか？</p> <p>③対象者が少数に限定される事業は原則廃止は十分検討されているのか疑問？であり、公平性は考慮されているか？</p> <p>④いずれの案件も当該団体や受益者などとの調整が少しも行われずに一方的に削減案として計上されている。これで本当に“必要性や妥当性を鑑みて”と言えるのでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民生活に直接大きな影響がある社会保障サービスや子育て支援、学校教育については配慮した上で見直しを行いました。引き続きサービス低下を招かないように確認を行ってまいります。</li> <li>・今回の大きな財源不足を解消していくためには、大きく踏み込んだ見直しが必要であるための目安として1/2を設定しております。しかし、事業の見直しにあたっては一つ一つ内訳を確認しながら見直しましたので、単純に1/2に削減した事業は限られています。特に福祉、子育て、教育など、市民生活に大きな影響があるようなものは十分に議論をしたうえで継続としています。</li> <li>・命や生活に影響がないもので、利用者が固定化しているなど広がりや効果が限定的なものを廃止や一部見直すこととしました。</li> <li>・短期間での対応となってしまいました。まずは素案として提案し、パブリックコメントで皆様から意見をいただき、関係者と協議したうえで最終案を作成することといたしました。</li> </ul>
490		その他	<p>別冊の表には誤りがあり国からの特定財源を削減効果に入れているものがある。金額的にも1千万円以上になるがもしそうならそのマイナス分はまだ各事業を削減するのか、これ以上の削減ができるのか？</p> <p>この誤り分は、この資料に記載の事業費以外の物をカットするのか、今の分をさらに1/2を2/3とかして更に削るのか？</p>	<p>令和6年度で国庫補助金が終了し、令和7年度では全額一般財源での対応となる事業については、令和7年度以降必要となる予定であった一般財源の額を効果額としています。</p>
491		その他	<p>「継続」は、効果額が「0」、「廃止」は、効果額が一般財源全額であり、内容がはっきりしているので問題がないが、「一部見直し」については、効果額がほぼ全額に近いものから、ほんの一部しか効果額が出ていないものもある。全額に近いものは、「全面見直し」としてはどうか。</p>	<p>費用の内訳を見直し、事業費を削減したものについては、一部見直しにしておき、おっしゃるとおり見直しの幅が広がっております。しかし、その中をさらに種類で分けることが困難であるため、御理解をお願いいたします。</p>
492		その他	<p>表記として「一部見直し」と「廃止」「継続」,がばらばらしているので,それぞれにまとめて表記した方が分かりやすく感じる。</p>	<p>この度は、部・課ごとにその中で事業の費目（目的）等の順番で事業を並べております。御意見について、今後の参考にさせていただきます。</p>

No	別冊 ページ	項目	ご意見	市の考え方
493		その他	<p>見直し内容に記載されている内容が、事業内容のどの部分を削減しようとしているのか、一般市民は分からないので、パブリックコメントで意見を求められても難しいのではと思います。</p> <p>1 / 2削減, 1 / 3削減等の文言があるが、「なぜ」という理由はない項目が多いと思います。単純に一律カットするようにはしか見ることができないので、各担当課でもう少し事業内容に沿った丁寧なコメントが必要ではないかと思います。</p>	<p>非常に多くの事業が対象となるため、簡潔な内容といたしました。来年度予算の概要の中でもう少し詳しい概要を記載したいと思います。</p> <p>1/2削減等については、ひとつの目安として設定していますが、事業の見直しにあたっては一つ一つ内訳を確認しながら見直しましたので、単純にすべての補助金について一律の対応は行っていません。関係団体と協議しながら、適宜見直してまいります。</p>
494		年配者の健康活動 全般	<p>老人大学を始め、各種活動は元気で時間と金の有る人の活動化している。補助金だけ出し、後は各活動団体で自主運営すべし。</p> <p>EX.老人大学；入学式/卒業式（大勢の市職員、社協の職員の支援あり）…市長、市議会の売名行為にしか思えない。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
495		廃止項目全般	<p>原案通りに廃止するのではなく、窓口だけは残しておくべき！！発足当時は必要だから議会承認後許可された貴重なことを銭がないから廃止するとは先人をバカにしているのでは？予算をつけなくても知恵と工夫で残せるのではないか？</p>	<p>パブリックコメントでの御意見や関係団体との協議の中で素案から修正を行いました。これまでも、その時々社会課題やニーズに沿って施策を立案し、見直しやスクラップ&amp;ビルドにより事業を実施してまいりました。先人の知恵と努力があってこそこの今であると考えておりますので、これまでの施策を引き継ぎながら将来に向けて新たな施策を展開してまいります。</p>